

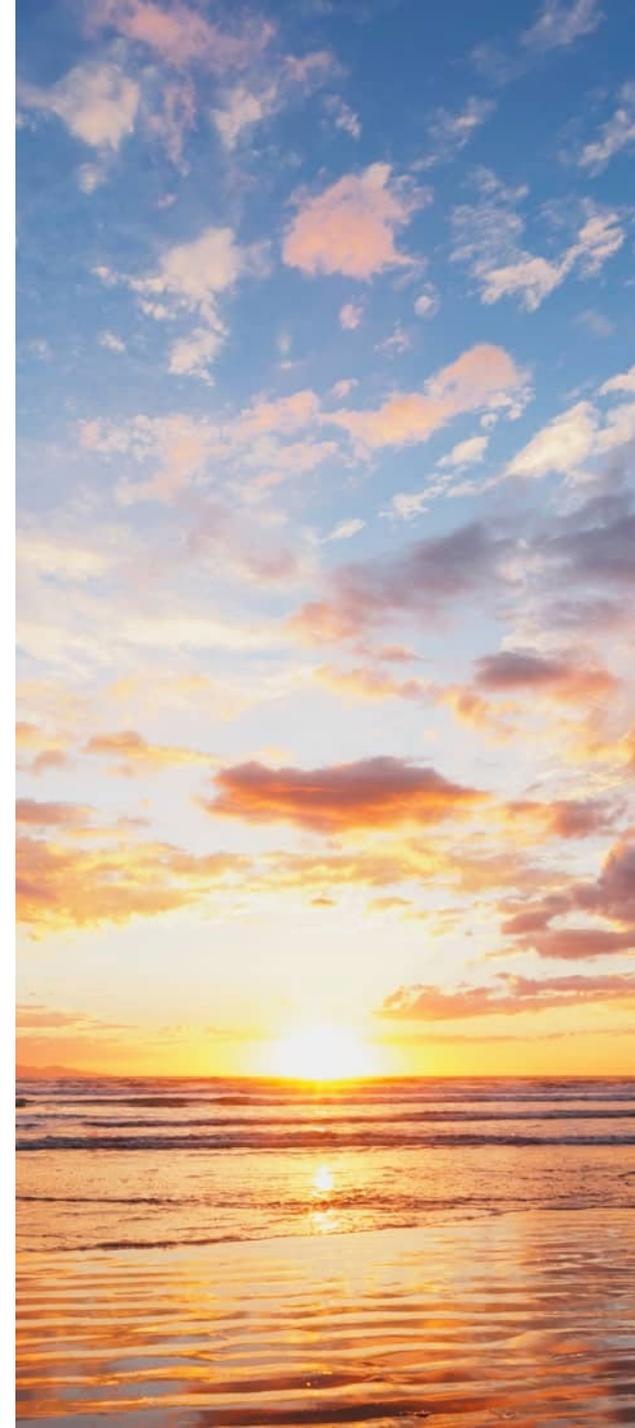
調査研究報告書

# 令和6年度経済安全保障上の共同研究における パートナーシップ等から生じるリスクのマネジメントに必要な諸外国の研究開発プログラムの公募要領に係る調査研究

Nomura Research institute Consulting & Solutions India Pvt. Ltd.

7th Floor, Tower A, Building No.5, DLF Cyber City,  
Phase III, Gurgaon, Haryana 122 002 India

2025年3月



## 1. 調査概要 P. 2

---

- 1) 本調査の背景・目的
- 2) 調査内容
- 3) 調査実施方法
- 4) 対象技術の選定方法
- 5) ヒアリング調査先の選定方法
- 6) 研究プログラムの選定方法
- 7) 比較方法
- 8) 比較項目

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 P. 10

---

- 1) ヒアリング対象の概説
- 2) ヒアリング項目
- 3) ヒアリング結果

## 3. 各国公募要領の整理・比較 P. 16

---

- 1) 各国の公募要領調査結果
  - 1) 人工知能（AI）
  - 2) バイオテクノロジー
  - 3) 量子関連技術
- 2) 比較結果
  - 1) 人工知能（AI）
  - 2) バイオテクノロジー
  - 3) 量子関連技術

# 1. 調査概要

## 1. 調査概要 | 1) 本調査の背景・目的

諸外国における研究開発プログラムの公募要領を整理・分析することにより、将来日本が研究セキュリティ・インテグリティを確保するためのリスクマネジメントの資とすることを目的とする。

### 背景

- 研究活動のオープン化及び国際化の進展により、研究の不正利用や技術流出のリスクが問題視され、対処が求められている。
- G7等の主要国において、研究セキュリティ・インテグリティに係る検討が加速しており、2021年にグローバルな研究エコシステムのセキュリティとインテグリティ作業部会が設立され、2022年にはG7共通の原則、2024年にはG7共通のベストプラクティスの公表が行われた。
- 日本政府は2020年から公文書にて研究インテグリティの言及を始め、2021年には対策方針を打ち出しており、2024年には統合イノベーション戦略等の政府文書でも研究インテグリティ・セキュリティの確保に取り組む旨を記載するなど具体的な取組を進めている。
- 研究セキュリティの確保は、経済安全保障上の重要技術に係る国際共同研究を推進する上でも不可欠となる。

### 目的

- 本事業では、諸外国における研究開発プログラムの公募要領を整理・分析することにより、将来日本が研究セキュリティ・インテグリティを確保するためのリスクマネジメントの資とすることを目的とする。

## 実施内容

- 本事業では対象国における研究開発プログラムに関する調査の実施
- タスクA、C、Dについては主にデスクトップ調査にて実施し、タスクBはヒアリング調査にて実施

### 本事業の全体像

A. 調査対象国における対象技術分野の研究開発プログラムの調査

B. 国内の研究機関へのヒアリングにより、調査対象とする研究開発プログラムの選定

C. 調査対象とする研究開発プログラムの公募要領の調査

D. 研究開発プログラムの調査結果を整理

情報の取りまとめ

## 全体方針

### 調査概要：

G7等の諸外国における政府が資金支援する学術研究に係る研究開発プログラムの公募要領の整理・比較

### 調査対象：

G7等の諸外国における政府が資金支援する学術研究に係る研究開発プログラムの公募スキーム、公募の応募様式の項目、リスク特定・緩和措置

### 対象ジオグラフィ：

G7（米・英・伊・加・独・仏・EU）・蘭・豪

	タスク	実施内容
諸外国の研究開発プログラムの公募要領の整理・比較	1： 先端技術の決定	・内閣府と協議の上、決定する。
	2： 公募要領の調査	・対象技術の選定後、調査対象国の研究開発プログラムの公募要領の調査を行い、ロングリストを作成する（各対象技術において各国2件以上リストアップする。）。
	3-1： ヒアリング候補選定	・ヒアリング調査目的を明確にした上で、ヒアリング項目を作成後、対象となる候補者の調査を行いショートリストを作成する。
	3-2： ヒアリング実施	・ショートリスト上のヒアリング候補者へのアポ取りおよびヒアリングを実施する。
	4： 公募要領の詳細調査	・ヒアリング結果を踏まえ、調査対象とする研究開発プログラムを決定後、各公募要領の詳細を調査し、整理する。
	5： 公募要領の整理・比較	・公募要領の調査・整理結果について、共同研究におけるリスクマネジメントに資する比較を実施、及び比較結果を取りまとめる。

## 対象技術及びヒアリング調査先の選定プロセス

### 調査対象とする対象技術の選定のプロセス

- 内閣府との協議の上、以下3技術を選定

量子関連技術

人工知能 (AI)

バイオテクノロジー

### 調査対象とするヒアリング調査先の選定のプロセス

- 以下の3つのプロセスを経て、ヒアリング候補者のリストアップを行った。
- ヒアリング調査は、国内研究機関の研究者へのヒアリングを通して、研究開発プログラムの選定に関するアドバイス並びに公募要領調査に係るアドバイスを伺うことを目的と設定した。
- ヒアリング項目については、「2. 国内研究機関へのヒアリング調査」にて後程詳述する。

(1) ヒアリング趣旨・目的の設定

(2) ヒアリング項目案の作成

(3) ヒアリング候補者の  
リストアップ

ヒアリング候補者のリストアップは以下の軸を用いて行った。

- 各技術毎にそれぞれ5件程度の候補者をリストアップ
- リストアップ時には以下の項目も調査の上記載した。
  - ① 国が投資した研究開発プログラムを受託した経験の有無 (公表ベース)
  - ② 国際共同研究の経験の有無 (公表ベース)
  - ③ 海外研究者との共著論文の有無 (公表ベース)
  - ④ 研究略歴
  - ⑤ 弊社のコンタクト経験の有無

# 1. 調査概要 | 6)研究プログラムの選定方法

## 調査対象とする研究開発プログラムの選定プロセス

### 調査対象とする研究開発プログラムの選定のプロセス

- ヒアリング調査の候補者の選定と並行し、各技術における各国の研究開発プログラムのリストアップを行った。
- ヒアリング調査にて研究開発プログラムをお見せし、研究セキュリティがより高いと考えられるプログラムのアドバイスを伺い、その調査結果を基に対象を決定した。

(1) 研究開発プログラムの  
ロングリストの作成

(2) ヒアリング調査にてアドバイスを伺う

(3) ヒアリング調査結果を基に対象を  
決定

### 研究開発プログラムのロングリスト

国名	プログラム名	所轄機関	国費の投入有無	公告年	対象	プログラム概要
英国	Keystone Project Call	- 所轄：英国研究・イノベーション機構(UKRI) - 資金提供：Responsible Artificial Intelligence (RAI UK)	Yes Innovate UKとRAI (サウサンプトン大学のベンチャー企業) による資金提供	2023	- 英国の高等教育機関 - 公的研究機関 - 研究評議会の研究機関 - UKRI 認定の独立研究機関および研究能力を有する NHS) 機関	- 目的：この募集は、AI技術が社会の中で責任を持って設計され、展開され、使用されることを確実にするために、責任ある人工知能 (RAI) に関するコンソーシアム主導の研究を支援するものであり、あらゆる分野の世界トップレベルの研究者が、1つの戦略的研究テーマに焦点を当てた様々な研究を行うことを目的としている。また、研究者のネットワークを拡大し、UKRIがすでに資金提供している他の重要な連携プログラム (アラン・チューリング研究所、エイダ・ラブレス研究所、AIハブ、博士課程研修センターなど) や、AI技術の開発・展開を検討している英国の他の機関を補完するものと見なされる。 - 目的：資金提供の目的は、人文科学主導のAI研究における米英研究者間の協力関係の構築・強化。英米チームによる質の高い人文科学研究の支援することにより、AIに関する英米の人文科学主導の共同研究を促進することである。
英国	AHRC BRAID DOT: responsible AI collaborations with US researchers	- 所轄：英国研究・イノベーション機構(UKRI) - 資金提供：(対英国) 芸術・人文科学研究会議 (AHRC) (対米国) 全米人文科学基金 (NEH)	Yes 芸術・人文科学研究会議 (AHRC) (UKRI傘下の研究評議会) による資金提供	2025	- 高等教育機関 - 研究機関 - 公共部門の研究機関 - NHS機関 - 独立系研究機関 - カタパルトセンター (※イギリスの政府機関である、イノベーションが創出したイノベーションを推進する賞状判別) 学術分野の専門家	- 背景：人文・芸術研究評議会 (AHRC) と全米人文科学基金 (NEH) は、人工知能 (AI) の倫理的、法的、社会的な意味を理解し、それに取り組む研究を支援するために提携した。人文科学的アプローチを用いて、AI技術と社会との関係、およびこれらの技術がもたらす影響を探る研究プロジェクトが行われる。 - 目的：資金提供の目的は、人文科学主導のAI研究における米英研究者間の協力関係の構築・強化。英米チームによる質の高い人文科学研究の支援することにより、AIに関する英米の人文科学主導の共同研究を促進することである。
英国	The Role of AI in Transforming Online Criminality: Research Services Call specification and guidelines or submission	アラン・チューリング研究所	Yes アラン・チューリング研究所 (英国の国立研究所) による資金提供	2024	- 英国の高等教育機関 - 公的研究機関 - 研究評議会機関	- 目的：英国の国家安全保障と法執行コミュニティに、AIシステムの広範な普及が高レベルのオンライン犯罪の状況をどのように再構築しているかについて、根拠に基づく理解をもたらすこと。またこの研究により、政策立案者や安全保障の実務者は、新たな犯罪ユースケースを計画し、今後5年間の新たな脅威に対応するためのより良いポジションを確立するためのツールを身につけられることを目指す。 - 実施内容：AIが犯罪手口特定の領域でどの程度必要不可欠になっているのか、犯罪集団がAIに対応するためにどのようにその構造を適応させているのか、AIツールの普及が犯罪市場における経済 - 背景：AI/バイオサイエンス分野のツールやリソースを支援するため、第1回パイロット研究助成金募集を開始 - 目的：既存のモデルやデータ解析アプローチを、生物科学コミュニティにとってより利用しやすいものにする。コミュニティにリソースやデータセットの使い方を教えるためのトレーニング教材を開発する。リサーチソフトウェアエンジニアの時間を、ツール、リソース、データセットをより広範なコミュニティの標準に合わせて開発する時間に統合する。ツールやデータセットの開発に焦点を当てたコミュニティ活動やワークショップを運営することを目指す。
英国	AIBIO - UK Pilot Funding Call	AIBIO - UK (バイオテクノロジー・生物科学研究会議：BBSRC) ※AIBIO-UKは、英国研究・イノベーション機構の一部であるBBSRCから資金提供を受けている組織	Yes バイオテクノロジー・生物科学研究会議 (BBSRC) (UKRIの傘下) による資金提供	2024	- 英国の高等教育機関 - 公的研究機関 - 研究評議会機関	- 背景：世界レベルのフランスの企業活動の位置づけを維持し、戦略的な各分野の競争力を上げ、国の経済組織に構造的な影響を与える投資によって将来に備えることの重要性が、フランスのAIに係る戦略を通じた、経済・学術関係者による大規模な協議の結果明らかになった。 - 目的：上記背景のもと、本事業は経済的なチャンスを探り、革新的で重要性を持つ新たなテーマを支援することを目的としている。 - 実施内容：人工知能と電気通信コミュニティの研究協力を促進することを目的とした「将来のネットワークのための下準備」(公助型AI セミナー開催を目的としたAI) 。
フランス	Call for proposals on Specific Topics in Artificial Intelligence - TSIA 2024	French National Research Agency (ANR)	Yes フランス国立研究機関 (ANR) (フランスの公的機関) による資金提供	2024	- フランスの研究に携わる公的研究者 (ANRからの資金提供を受けることができる組織の研究室・研究施設) - フランス国立研究機関 (ANR) (フランスの公的機関) による資金提供	- 背景：世界レベルのフランスの企業活動の位置づけを維持し、戦略的な各分野の競争力を上げ、国の経済組織に構造的な影響を与える投資によって将来に備えることの重要性が、フランスのAIに係る戦略を通じた、経済・学術関係者による大規模な協議の結果明らかになった。 - 目的：上記背景のもと、本事業は経済的なチャンスを探り、革新的で重要性を持つ新たなテーマを支援することを目的としている。 - 実施内容：人工知能と電気通信コミュニティの研究協力を促進することを目的とした「将来のネットワークのための下準備」(公助型AI セミナー開催を目的としたAI) 。
フランス	Canada-France call for proposals on artificial intelligence	- フランス国立研究機関 (ANR) - カナダ自然科学・工学研究会議 (NSERC) - カナダ社会・人文科学研究会議 (SSHRC) - カナダ保健研究機関 (CIHR) - Institute for Data Valorisation (IVADO) ※IVADOはカナダのセントリオールのAI研究協議体	Yes フランス国立研究機関 (ANR) (フランスの公的機関) による資金提供	2024	- カナダの大学の研究者 - フランスの大学の研究者	- 目的：この公募は、生成AIと組み合わせたAIのセキュリティと安全性に取り組み、複数かつ学際的な共同研究プロジェクトを支援するためのものである。理論的・実践的アプローチを取り入れた新しい手法や革新的な概念に基づく、複合的・学際的プロジェクトが強く奨励される。 - 予算：フランスを拠点とする参加者・組織は2025年の公募要領 (AAPG 2025) に概説された規則に対応する (5つの助成金があり、プロジェクト申請時に、目的と体制に最も適した助成金を選択できる。フランスを拠点とする参加者はANRから資金提供を受けられることができる。

## 比較方法プロセス

### 比較方法の詳細

- 研究開発プログラムの公募要領は、「公募スキーム」「公募の応募様式の項目」「リスク特定・緩和措置に係る事項」を調査観点とし整理を行う。
- それぞれの調査観点から公募要領を整理し、研究セキュリティ及びリスクマネジメントに係る項目を取りまとめた。

#### a. 公募スキーム

- 公募要領に掲載されている各項目
- プログラムの資金提供・企画機関・実施主体などの構成

#### b. 公募の応募様式の項目

- プログラムへ応募を行う団体や研究者が作成・記入する書類
- プログラム実施主体へ提出を行う書類

#### c. リスク特定・緩和措置に係る事項

- リスク評価やリスク管理計画などの国際共同研究におけるリスクマネジメントの重要事項

対象技術の公募要領を整理後、比較を実施

- 各公募要領から「参加制限事項・審査」及び「管理体制（情報・財務・知財）」がリスクマネジメントに係る項目であると認識し、項目ごとの比較を行った。

#### 参加制限事項・審査

参加者、所属機関、履歴書、研究場所、対象技術、デューデリジエンス

#### 管理体制（情報・財務・知財）

情報、財務、知財、体制変更、年数、違反時

各国・地域の共通事項と当該国に特有の事項を分析

## 1. 調査概要 | 8) 比較項目

### 比較分析項目の詳細

#### 参加制限事項・審査

参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>主任研究員の要件</li><li>主任研究員以外の要件</li></ul>
所属機関	<ul style="list-style-type: none"><li>参加者の所属機関の要件</li></ul>
履歴書	<ul style="list-style-type: none"><li>参加研究者の履歴書の提出の有無</li></ul>
研究場所	<ul style="list-style-type: none"><li>研究実施場所に関する制限の有無</li></ul>
対象技術	<ul style="list-style-type: none"><li>研究対象技術に対する制限の有無</li></ul>
デューデリ ジェンス	<ul style="list-style-type: none"><li>デューデリジェンスの有無</li></ul>

#### 管理体制（情報・財務・知財）

情報	<ul style="list-style-type: none"><li>AIの取扱いに関する制限の有無</li><li>個人情報の取扱い制限の有無</li><li>配置すべき役職や役割に関する指定</li><li>研究に使用するサーバーの設置場所などの規定</li></ul>
財務	<ul style="list-style-type: none"><li>応募組織の中に財務管理部門が存在するなどの要件</li></ul>
知財	<ul style="list-style-type: none"><li>研究成果の帰属に関する規定</li></ul>
体制変更	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクト実施中の体制変更に関する報告義務</li></ul>
年数	<ul style="list-style-type: none"><li>プロジェクトに関する文書等の保管年数の規定の有無</li></ul>
違反時	<ul style="list-style-type: none"><li>受注者が実施事項に違反した場合の規定</li></ul>

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 | 1)ヒアリング対象の概説

### ヒアリング調査を実施した研究者等

- ヒアリング調査の候補者としてショートリストした研究者に依頼メールを送付し、以下の研究者の方に調査へのご協力をいただいた。
- 人工知能（AI）分野では3名、バイオテクノロジー分野では2名、量子関連技術分野では3名へのヒアリング調査を実施した。
- また、個別分野の研究者だけではなく、分野横断的な観点で研究機関へのヒアリングも実施した。

#### 人工知能（AI）

#	所属
1	東京大学
2	京都大学
3	筑波大学

#### バイオテクノロジー

#	所属
1	東京大学
2	東京農工大学

#### 量子関連技術

#	所属
1	東京大学
2	大阪大学
3	筑波大学

#### その他（研究機関）

#	所属
1	産業技術総合研究所

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 | 2)ヒアリング項目

### ヒアリング調査項目

- 以下はヒアリング項目に沿って、研究開発プログラム選定に係るアドバイスや分野における研究セキュリティの動向を伺った。

分類	ヒアリング項目	意図・目的・視点
1. 調査対象とする研究開発プログラムの選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該分野において注目度の高いプログラム               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 注目度については以下の詳細項目を伺う：                   <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 該当分野において注目度が高い国や機関（その理由）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>公募プロセス等に特徴のあるプログラムのヒアリング</li> <li>調査対象とする研究開発プログラムの優先順位の付け方に係るアドバイス（研究開発プログラムの候補一覧を提示したうえでヒアリング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究者視点から注目度の高い研究プログラムを伺うことで調査対象となるプログラムを選定する。</li> <li>注目度の高いプログラムとは研究セキュリティ・インテグリティにおける観点から伺う。例えば共同研究においてリスク要件が厳しい国やノウハウを有していく国等、インタビューが過去に共同研究を行った経験を現在有している知見等を参考に意見を伺う。</li> <li>ヒアリングする研究者によって研究分野詳細は異なる可能性があるため、同じ技術において複数異なる注目プロジェクトの言及があった場合は、最も注目が高かったプロジェクトを選定する。</li> <li>公募プロセス等に特徴のあるプログラムのヒアリングについては、ヒアリング対象の研究科や研究者に応じて伺う。（経験を基に詳細を伺う）</li> </ul>
2. 公募要領調査に関するアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>公募要領確認の際の着眼して欲しい/すべき点や留意点に関するアドバイス（着眼すべき理由も併せて伺う。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で公募要領を作成するときの留意点を伺うことで、日本が注視している項目を洗いだし、海外の公募要領調査で着眼する項目とする。</li> <li>参加制限事項、リスク評価、管理体制の3点を整理観点としたが、この他に着眼する観点が無いかどうか確認する。</li> </ul>
3. 研究セキュリティの動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該分野における研究セキュリティに係る近年の議論やトレンド（あれば）</li> <li>共同研究を実施する際に留意している点（応募時や研究実施時に特に留意している点があれば伺う）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究機関・大学組織視点から意見を伺い議論やトレンドを把握し、分野・技術毎の違いを比較に活かす。</li> </ul>

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 | 3)ヒアリング結果

## 人工知能 (AI) | ヒアリング調査結果に基づく調査対象研究開発プログラム

国	プログラム名
米国	Smart Health and Biomedical Research in the Era of Artificial Intelligence and Advanced Data Science (SCH)
米国	Collaborations in Artificial Intelligence and Geosciences (CAIG)
英国	Keystone Project Call
英国	AHRC BRAID DOT: responsible AI collaborations with US researchers
英国	The Role of AI in Transforming Online Criminality: Research Services Call specification and guidelines or submission
イタリア	NSF-Italian Ministry of Universities and Research Lead Agency Opportunity on Artificial Intelligence
イタリア	Italy – China science and technology cooperation call for submission of joint project proposals for the years 2023-2024
カナダ	Regional Artificial Intelligence Initiative (RAII) program
カナダ	Canada-France call for proposals on artificial intelligence
ドイツ	German-French joint call for proposals on “Artificial Intelligence”
ドイツ	Helmholtz AI projects 2024 call
フランス	Call for proposals on Specific Topics in Artificial Intelligence - TSIA 2024
フランス	Canada-France call for proposals on artificial intelligence
EU	Call for proposals on advancing the adoption of artificial intelligence in health - EU4H-2024-PJ-03-6
EU	Collaborative intelligence – combining the best of machine and human (AI Data and Robotics Partnership) (RIA) HORIZON-CL4-2024-HUMAN-01-07
オランダ	NGF AiNed ELSA Labs
オランダ	NGF AiNed XS Europe
オーストラリア	Australia-India Strategic Research Fund (AISRF) – Collaborative Research Projects Round 15
オーストラリア	Collaboration Opportunities in Responsible and Equitable AI

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 | 3)ヒアリング結果

## バイオテクノロジー | ヒアリング調査結果に基づく調査対象研究開発プログラム

国	プログラム名
米国	Building Synthetic Microbial Communities for Biology, Mitigating Climate Change, Sustainability and Biotechnology (Synthetic Communities)
米国	Molecular Foundations for Biotechnology (MFB)
英国	Molecular and cellular medicine: research grant: responsive mode
英国	Infections and immunity: new investigator: responsive mode
イタリア	Twenty-first Call for Proposals for Joint Industrial R&D Projects (“INDUSTRIAL TRACK”)
イタリア	Italy-India Joint Science and Technology Cooperation call for joint project proposals for the years 2025-2027
カナダ	National Science Foundation Global Centres, Call for proposals: Bioeconomy
カナダ	Next Generation Solid Tumour Cell Therapies
ドイツ	Pilot Call on the “Integrative Microbiome”
ドイツ	Ageing Processes in Reproduction – Implications for Fertility and Health (FertilAGE) <sup>2</sup>
ドイツ	FAPESP - BMBF Call for Proposals 2025 on Bioeconomy
フランス	Call for projects: “Clinical investigation networks, medical devices and in vitro diagnostic medical devices”
フランス	Call for projects: “Innovations in biotherapies and bioproduction”
EU	Biotechnology-Driven Low Emission Food and Feed Production Systems
EU	Joint Transnational Call for research proposals (JTC 2023)
オランダ	Value from Biomass: Efficient and responsible production of chemicals, materials and energy from biomass in a societally relevant context
オランダ	Perspectief round 2024/2025
オーストラリア	Indo-Australian Biotechnology Fund Collaborative Research Projects Round 15
オーストラリア	Indo-Australian Biotechnology Fund Collaborative Research Projects Round 14

## 2. 国内研究機関へのヒアリング調査 | 3)ヒアリング結果

## 量子関連技術 | ヒアリング調査結果に基づく調査対象研究開発プログラム

国	プログラム名
米国	Expanding Capacity in Quantum Information Science and Engineering (ExpandQISE)
米国	Quantum Leap Challenge Institutes (QLCI)
英国	EPSRC quantum technologies career acceleration fellowships
英国	Quantum Missions pilot: Quantum Computing and Quantum Networks
英国	Japan-UK Joint call for Quantum Technologies for Innovation
イタリア	Italy-Israel Scientific Research Program CALL FOR JOINT PROJECT PROPOSALS For the Years 2024-2026
イタリア	Atom, molecular platform for quantum technologies
カナダ	NSERC - UKRI call for proposals on quantum technologies
カナダ	NSERC-National Science Foundation – Collaboration on quantum science and artificial intelligence
ドイツ	Japanese-German Joint Call for Proposals on “Quantum Technologies”
ドイツ	Quantum International – International Cooperation in Quantum Technologies
フランス	French Quantum Sensors Call for Projects
フランス	NSF-French National Research Agency (ANR) Quantum Information Science and Engineering
EU	HORIZON-JU-Chips-FPA-QAC-1
EU	Quantum Flagship Program FET Flagship on Quantum Technologies - FETFLAG-03-2018
オランダ	Quantum Delta NL Cross-border projects for Europe
オランダ	Eureka Call Applied Quantum Technologies
オーストラリア	Critical Technologies Challenge Program Round 2
オーストラリア	Australian Centre for Quantum Growth program

### 3. 各国公募要領の整理・比較

## 3-1. 各国の公募要領調査結果



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | 米国 1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Smart Health and Biomedical Research in the Era of Artificial Intelligence and Advanced Data Science (SCH)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)、米国国立衛生研究所 (NIH)
発行年	2023年
予算	1500万～2,000万米ドル
期間	4年間
対象	AI分野の教育や研究に従事する機関、博物館、天文台、研究所、専門家団体

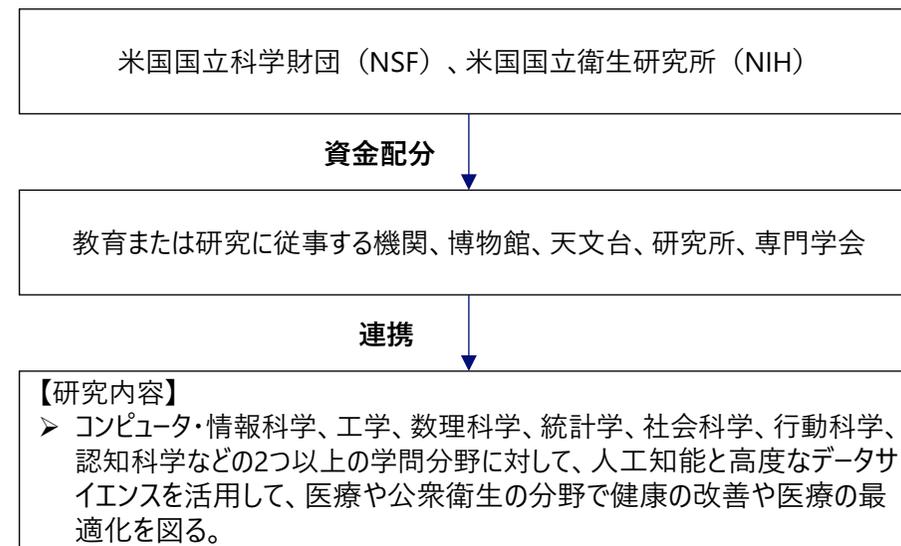
## 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- イントロダクション
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ 提案書作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF向け提案書のプロセスおよび審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

## 概要

- AI/MLモデルが医療データに基づいて正確かつ公平な予測を行うための研究を実施。医療の質を向上させ、患者へのサービスを最適化することを目指しており、AIやデータサイエンスの応用を通じて、医療の未来を形作るための基盤を提供することを目的とする。
- 主な研究対象には、AI/MLの公平性と信頼性、多変量データ分析、センシングシステム、サイバーフィジカルシステム、ロボティクスなどがある。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | 米国 2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Collaborations in Artificial Intelligence and Geosciences (CAIG)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)
発行年	2025年
予算	600万～1,000万米ドル
期間	最長3年間
対象	AI分野の教育や研究に従事する機関、博物館、天文台、研究所、専門家団体

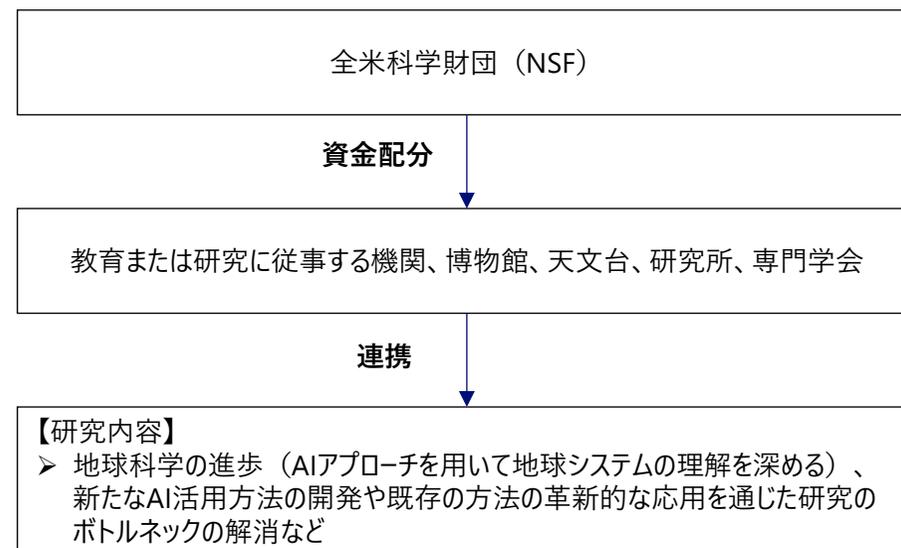
## 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- イントロダクション
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ 提案書作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF向け提案書のプロセスおよび審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

## 概要

- ・ 地球科学研究の進歩を促進するためにAI技術や革新的なAIアプリケーションを活用するプロジェクトに資金を提供。
- ・ AIと地球科学（大気科学、地球科学、海洋科学、極地プログラム）の協力を通じて、複雑なデータを分析し、地球システムの理解を深めることが目標。
- ・ GEOの研究・革新・相乗・教育部門（GEO/RISE）、CISEの情報・知能システム部門（CISE/IIS）および先進サイバー基盤部門（CISE/OAC）、MPSの数理科学部門（MPS/DMS）が関与する共同イニシアチブ。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | 英国 1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	Keystone Project Call
公示機関	英国研究・イノベーション機構(UKRI)
発行年	2023年
予算	1,000万ポンド
期間	最長47か月間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>英国の高等教育機関</li> <li>公的研究機関</li> <li>研究評議会の研究機関</li> <li>UKRI 認定の独立研究機関および研究能力を有する NHS (National Health Service : 国営医療サービス) 機関</li> </ul>

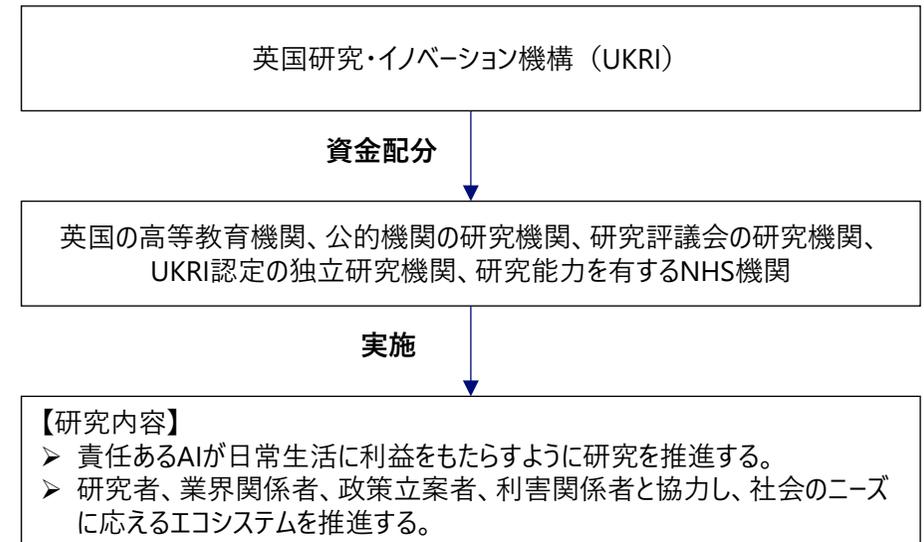
## 【公募要領の項目】

- 応募資格
- 募集対象
- 助成資金
- 申請 4 方法
- 審査方法
- 連絡先
- 追加情報
- 補助金の追加条件 (GACs)

## 概要

- この公募は、AI技術が社会の中で責任を持って設計され、展開され、使用されることを確実にするために、責任ある人工知能 (RAi) に関するコンソーシアム主導の研究を支援するものであり、あらゆる分野の世界トップレベルの研究者が、1つの戦略的研究テーマに焦点を当てた様々な研究を行うことを目的としている。
- また、研究者のネットワークを拡大し、UKRIがすでに資金提供している他の重要な連携プログラム (アラン・チューリング研究所、エイダ・ラブレス研究所、AI ハブ、博士課程研修センターなど) や、AI技術の開発・展開を検討している英国の他の機関をサポートすることを目指す。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | 英国 2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	AHRC BRAID DOT: responsible AI collaborations with US researchers
公示機関	英国側：英国研究・イノベーション機構(UKRI) 米国側：全米人文科学基金 (NEH)
発行年	2025年
予算	108万ポンド
期間	最長2年間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高等教育機関</li> <li>• 研究機関</li> <li>• 公共部門の研究機関</li> <li>• NHS機関</li> <li>• 独立系研究機関</li> <li>• カタパルトセンター（※イギリスの政府機関である、イノバートUKが創設したイノベーションを推進する非営利組織）</li> </ul>

## 【公募要領の項目】

- 募集対象
- 募集内容
- 応募方法
- 審査方法
- 連絡先
- 追加情報

## 概要

- **背景**：人文・芸術研究評議会（AHRC）と全米人文科学基金（NEH）は、人工知能（AI）の倫理的、法的、社会的な意味を理解し、それに取り組む研究を支援するために提携した。人文科学的アプローチを用いて、AI技術と社会との関係、およびこれらの技術がもたらす影響を探る研究プロジェクトが行われる。
- **目的**：資金提供の目的は、人文科学主導のAI研究における米英研究者間の協力関係の構築・強化 英米チームによる質の高い人文科学研究の支援することにより、AIに関する英米の人文科学主導の共同研究を促進することである。

## 構成図



## 【研究内容：少なくとも以下の分野の1つ以上に焦点を当てること】

- AIに関する人文科学主導の英米共同研究
- AIが情報アクセスと分極化に与える影響、ジャーナリズムの完全性、コンテンツと情報源の真実性と信憑性など
- レジリエンスと持続可能性、特にAIの環境持続可能性への影響
- AIのイノベーションに関連する法律と規制



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | 英国 3件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	The Role of AI in Transforming Online Criminality: Research Services Call specification and guidelines or submission
公示機関	アラン・チューリング研究所 (英国の国立研究機関)
発行年	2024年
予算	最大3万ポンド
期間	6か月間
対象	学術分野の専門家

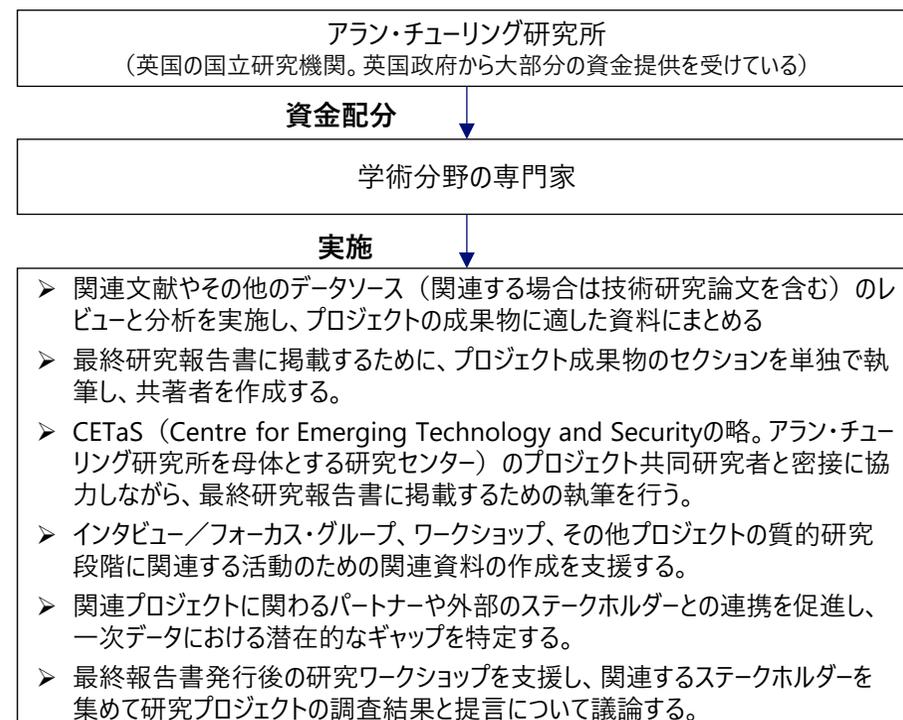
## 【公募要領の項目】

- 背景
- 共同研究募集の概要
- プロジェクトの目的と成果
- 必要条件
- 成果物
- 助成資金
- 申請方
- 評価と審査
- 主要日
- 応募条件
- 連絡
- 我々の価値観

## 概要

- このプロジェクトは、悪意ある行為者によるAIの利用がもたらす被害に関する CETaSの研究ポートフォリオに、オンライン犯罪に特化した研究を加えることを目指すものである。
- 一般市民は、AIツールが日常的に経験する可能性が最も高い犯罪の種類をどのように変容させ、高揚させているかについて、より証拠に基づいた理解を深めることで恩恵を受けると同時に、法執行機関がAIを活用したオンライン犯罪により効果的に対抗できる新たな政策を実施できるようになることで、間接的な恩恵を受けることができるはずである。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | イタリア 1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	イタリア、米国
プログラム名	NSF-Italian Ministry of Universities and Research Lead Agency Opportunity on Artificial Intelligence
公示機関	イタリア側：大学研究省（MUR） 米国側：国立科学財団（NSF）
発行年	2024年
予算	イタリア側で最大 50 万ユーロ、米国側で最大 60万米ドル
期間	最長3年間
対象	大学（国立・私立を問わず、特例高等学校を含む）、主に研究に従事する公的・私的研究機関、イタリアとアメリカの企業、財団、非経済団体

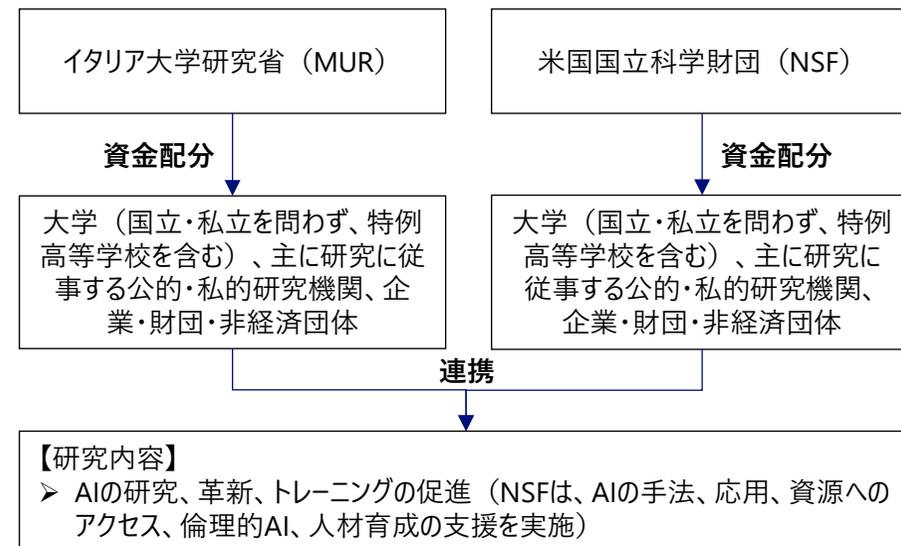
## 【公募要領の項目】

- 対象
- 資金調達の可能性
- 対象となる事業体
- 対象となる活動
- 対象となる費用
- 援助の形態と強度
- 申請書の提出と期限
- 審査方法
- 資金提供
- 調査手続きの責任者

## 概要

- イタリア共和国大学研究省 (MUR) と米国国立科学財団 (NSF) は、人工知能の協力に関する覚書 (MOU) に署名。
- 人工知能分野の研究における米国とイタリアの共同研究提案を推進。
- アルゴリズム基盤 (AF) プログラムなどのコンピューティングおよび通信基盤部門 (CCF)、ネットワークテクノロジーとシステム (NeTS) プログラムなどのコンピュータおよびネットワークシステム部門 (CNS)、ロバストインテリジェンス (RI) プログラムなどの情報知能システム部門 (IIS)、OAC コア リサーチ (OAC コア) プログラムなどの高度サイバーインフラストラクチャなどに関連するプログラムを推進。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | イタリア 2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	イタリア、中国
プログラム名	Italy – China science and technology cooperation call for submission of joint project proposals for the years 2023-2024
公示機関	イタリア側：外務・国際協力省 中国側：科学技術省
発行年	2022年
予算	イタリア側は最大140万ユーロ、中国側は最大2,000万人民币元
期間	2年間
対象	イタリアの公的または私的（営利を目的としない）研究機関と、中国の大学、研究機関、企業（できれば中小企業）

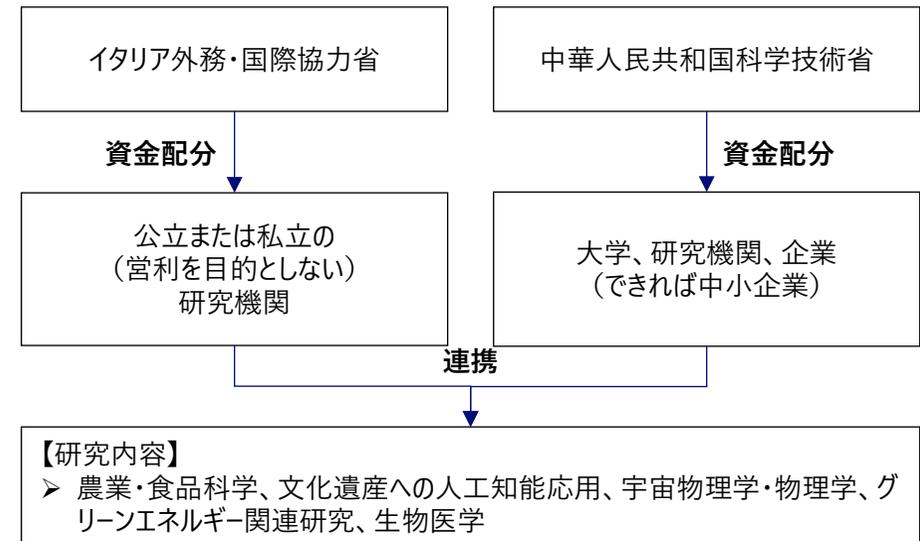
## 【公募要領の項目】

- 対象
- 資金調達の可能性
- 対象となる事業体
- 対象となる活動
- 対象となる費用
- 援助の形態と強度
- 申請書の提出と期限
- 審査方法
- 資金提供
- 調査手続きの責任者

## 概要

- イタリアと中国の科学技術協力共同研究プログラム。両国は最大10件のプロジェクトを共同で資金提供。
- 対象分野は、農業・食品科学、文化遺産への応用における人工知能、天体物理学・物理学、グリーンエネルギー関連研究、生物医学など。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | カナダ 1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	カナダ
プログラム名	Regional Artificial Intelligence Initiative (RAII) program
公示機関	カナダプレーリー経済開発省 (PrairiesCan)
発行年	2024年
予算	3,380万カナダドル
期間	5年間
対象	高等教育後教育機関、ビジネスアクセラレーター、インキュベーター、エンジェルネットワーク、先住民組織、社会的企業、業界団体、コンソーシアム、自治体、州政府または政府系企業、AIベンチャー企業および中小企業。

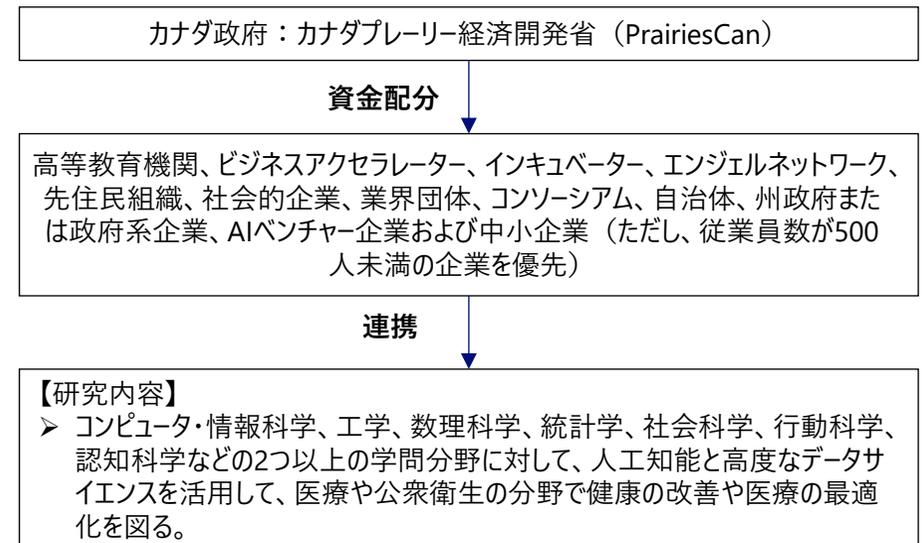
## 【公募要領の項目】

- |                  |                      |                 |
|------------------|----------------------|-----------------|
| ○ 本ガイドの目的        | ○ 強力な提案の特徴           | ○ 資金調達          |
| ○ イニシアチブの目的      | ○ 応募条件               | ○ メリット          |
| ○ 応募資格           | ○ 守秘義務               | ○ プロジェクトのスケジュール |
| ○ 対象となる活動        | ○ 公用語                | ○ 市場            |
| ○ 対象となる優先事項      | ○ 環境アセスメントの遵守        | ○ マネジメント        |
| ○ 資金援助           | ○ 報告要件               | ○ 追加の詳細         |
| ○ 対象となるプロジェクト費用  | ○ よくある質問 (FAQ)       | ○ 書類            |
| ○ 不適格プロジェクト費用    | ○ 用語集                | ○ 署名権者          |
| ○ 現物支給／寄付のガイドライン | ○ 申し込み方法             | ○ 多様性とインクルージョン  |
| ○ 期待される成果        | ○ 組織情報               | ○ 検証            |
| ○ 評価プロセス         | ○ プロジェクトの主要および副次的連絡先 | ○ 認証            |
|                  | ○ プロジェクト情報           |                 |

## 概要

- 人工知能 (AI) 技術における最前線の研究を助長するため、カナダ政府は AI を活用した企業に 2 億ドルの資金提供を発表。地域開発機関 (RDA) がこの資金を提供し、国内の各地域で利用可能とした。
- カナダ政府は、新しい AI 技術を市場投入し、農業、クリーンテクノロジー、ヘルスケア、製造業などの主要セクターで AI の導入を加速することを目指す。
- PrairiesCan は、地域人工知能イニシアチブを実行するため、5 年間のプログラム資金として3,380万カナダドルを受領し、本プログラムの実行に当たる。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | カナダ 2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	カナダ、フランス
プログラム名	Canada-France call for proposals on artificial intelligence
公示機関	カナダ側：カナダ自然科学・工学研究評議会（NSERC） カナダ社会科学・人文科学研究評議会（SSHRC） カナダ保健研究機構（CIHR） IVADO ※IVADOはカナダのモントリオールのAI研究協議体 フランス側：フランス国立研究庁（ANR）
発行年	2024年
予算	NSERC、SSHRC、CIHRから合わせて年間10万カナダドルを上限、IVADOから年間2万カナダドルを上限とする追加資金を提供
期間	2～3年間
対象	カナダを拠点とする研究者、フランスを拠点とする研究者

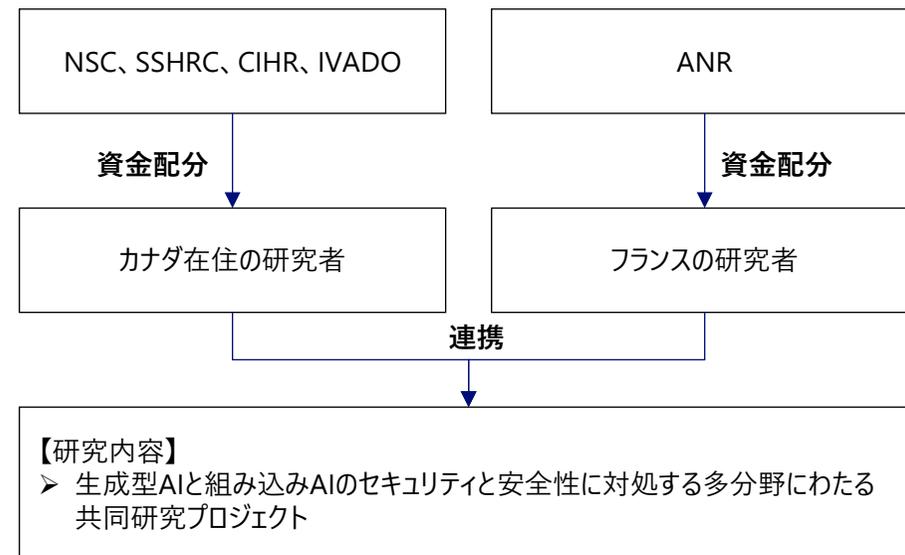
## 【公募要領の項目】

- 概要
- 研究 セキュリティ
- 機密技術研究と懸念される提携に関する方針
- 研究パートナーシップのための国家安全保障ガイドライン
- 応募可能な人物

## 概要

- カナダとフランスは科学、技術、イノベーションの分野で長年にわたる協力関係を築いてきている。
- カナダ・フランス科学技術革新合同委員会が特定した優先分野を支援するため、NSERC はカナダ社会科学人文科学研究会議（SSHRC）と、カナダ保健研究機構（CIHR）はIVADOと連携してフランス国立研究機関（ANR）と提携し、人工知能（AI）に関する共同研究プロジェクトに資金を提供。
- カナダとフランスの最先端の研究者間の科学的コラボレーションと知識の交換を促進し、急速に進化する人工知能分野の進歩を促進することを目的とする。

## 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | ドイツ 1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ、フランス
プログラム名	German-French Joint Call for Proposals on "Artificial Intelligence"
公示機関	ドイツ側：連邦教育研究省（BMBF） フランス側：フランス共和国高等教育・研究・イノベーション省（MESRI）
発行年	2022年
予算	1400万ユーロ（各省庁から700万ユーロ）
期間	4年間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究プロジェクトのための個々の大学または研究機関</li> <li>研究開発プロジェクトのための大学または研究機関および営利企業の団体</li> </ul>

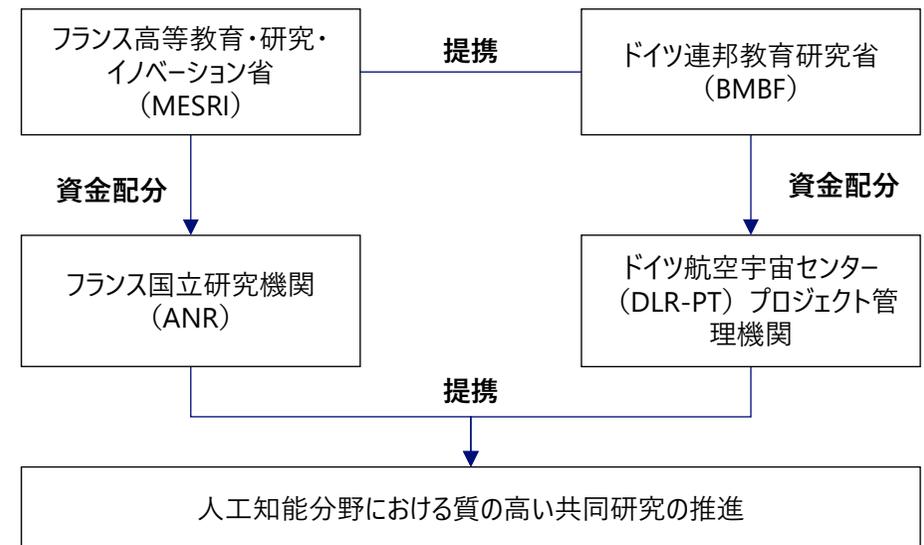
#### 【公募要領の項目】

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ○ 資金調達のための目的、法的根拠 | ○ 手続き                                     |
| ○ 資金調達の目的         | ○ プロジェクト・スポンサーの関与、申請書類、その他の書類、電子申請システムの利用 |
| ○ 助成金の目的          | ○ 二段階の申請プロセス                              |
| ○ 法的根拠            | ○ 遵守すべき規定                                 |
| ○ 助成対象            | ○ 有効期間                                    |
| ○ 助成対象者           | ○ 付録                                      |
| ○ 特別助成の要件         | ○ 一般的な資金要件                                |
| ○ 補助金の種類と範囲、金額    | ○ 補助金の範囲／金額                               |
| ○ その他の補助金規定       | ○ 累積額                                     |

#### 概要

- この募集は、AIにおける現在の課題に関する共同研究を支援することを目的としたもので、以下のトピックの1つ以上を扱うものでなければならない。
  - 分散型AI、持続可能性のためのAI、ハイブリッドAI、AIと数値シミュレーション、組み込みAIとエッジAI

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | ドイツ 2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ
プログラム名	Helmholtz AI projects 2024 call
公示機関	ヘルムホルツ協会AI連携ユニット
発行年	2024年
予算	50万ユーロ/プロジェクト
期間	2～3年
対象	少なくとも2箇所のヘルムホルツ・センターの科学者

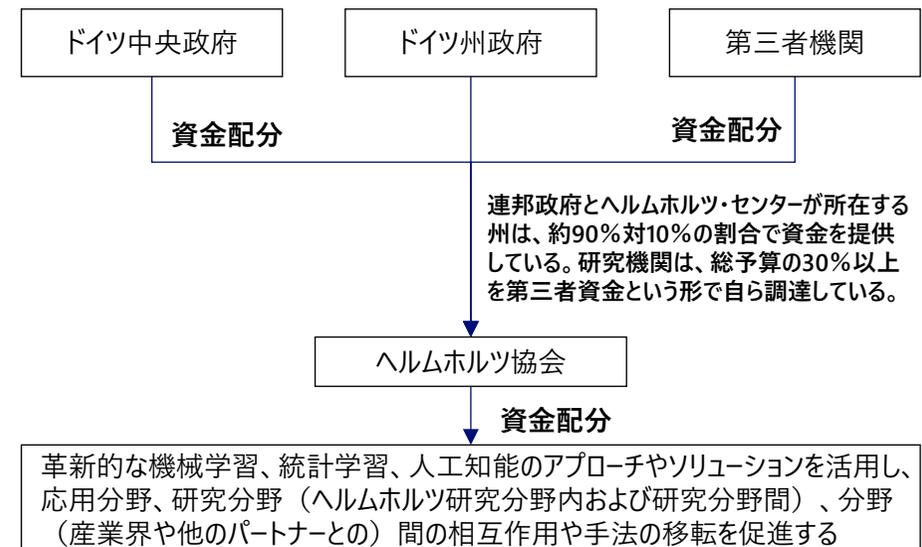
#### 【公募要領の項目】

- 基準
  - ・ 長期的影響と移転の可能性
  - ・ テーマ別基準
  - ・ 実施と管理
  - ・ 志望動機応募者と資格
  - ・ 付録
  - 評価プロセス、選考および表彰基準
  - 付録
  - ・ 予算プロジェクト期間
  - ・ 事業譲渡協力
  - ・ 応募除外基準
  - ・ 再提出に関する方針
- 権利と義務
- 申請
  - ・ Scientific Case
  - ・ 科学的事例
  - ・ ユニークで野心的なアプローチ
  - ・ AI/ML手法および/またはデータセットの有用性

#### 概要

- ・ ヘルムホルツAIプロジェクト募集の目的は、センター間の課題や手法に取り組む活動を開始・促進することである。
- ・ ヘルムホルツのAIプロジェクトは、2つの包括的な目標に取り組んでいる：革新的な機械学習、統計学習、人工知能のアプローチと、申請者の研究分野におけるソリューションを活用する。
- ・ 応用分野、研究分野（ヘルムホルツ研究分野内および研究分野間）、分野（産業界または他のパートナーとの）間の相互作用と手法の移転を促進する。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | フランス 1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	Call for proposals on Specific Topics in Artificial Intelligence - TSIA 2024
公示機関	フランス国立研究機構 (ANR)
発行年	2024年
予算	600万ユーロ
期間	36～48か月間
対象	フランスの研究に関わる公的企業、EUの大企業、中小企業

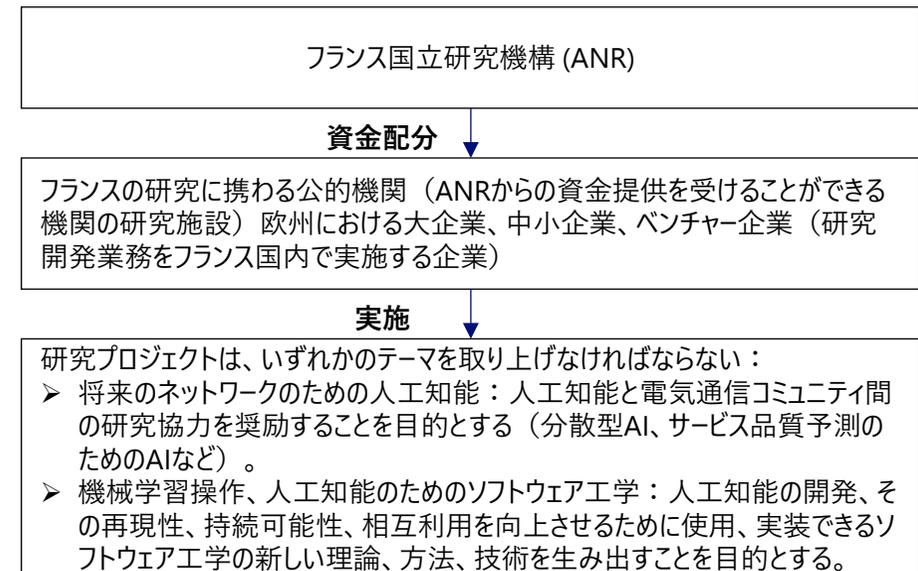
#### 【公募要領の項目】

- 背景と目的
- 期待される提案の特徴
- 選定プロセス
- 資金調達
- 採択されたプロジェクトの科学的モニタリング
- 採択されたプログラムの研究者のコミットメント
- GDPRおよび文書の伝達に関する規定

#### 概要

- 世界レベルのフランスの企業活動の位置づけを維持し、戦略的な各分野の競争力を上げ、国の経済組織に構造的な影響を与える投資によって将来に備えることの重要性が、フランスのAIに係る戦略を通じた、経済・学術関係者による大規模な協議の結果明らかになった。
- 上記背景のもと、本事業は経済的なチャンスをつかみ、革新的で重要性を持つ新たなテーマを支援することを目的としている。
- 人工知能と電気通信コミュニティの研究協力を促進することを目的とした「将来のネットワークのための人工知能」（分散型AI、サービス品質予測のためのAIなど）、または「機械学習オペレーション」、人工知能の開発、その再現性、持続可能性、相互化を改善するために使用・実装できるソフトウェア工学の新しい理論、方法、技術を生み出すことを目的とした「人工知能のためのソフトウェア工学」などの研究を対象とする。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | フランス 2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	Canada-France call for proposals on artificial intelligence
公示機関	フランス側：フランス国立研究機構 (ANR) カナダ側：カナダ自然科学・工学研究会議 (NSERC) カナダ社会・人文科学研究会議 (SSHRC) カナダ保健研究機構 (CIHR) Institute for Data Valorisation (IVADO) ※IVADOはカナダのモントリオールのAI研究協議体
発行年	2025年
予算	(カナダ在住の申請者) ・ NSERC、SSHRC、CIHRより30万カナダドル ・ IVADOより6万カナダドル (フランス在住の申請者) ・ 明記されていないが、ANRはフランスを拠点とする研究者に資金を提供する。また資金提供の上限は、「2025年提案募集要項」の規定に従うとされている。
期間	最長3年間
対象	・ カナダの大学の研究者 ・ フランスの大学の研究者

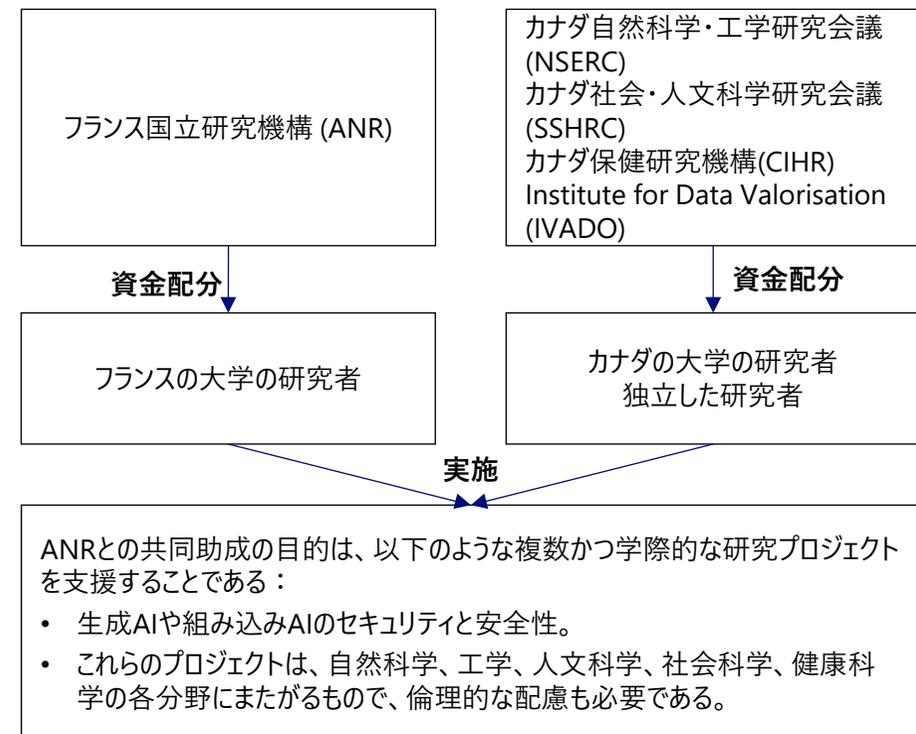
#### 【公募要領の項目】

- 研究概要
- 研究セキュリティ
- 機密技術研究と懸念される提携に関する方針
- 研究パートナーシップに関する国家安全保障ガイドライン
- 申請対象者
- 共同研究者
- 研究テーマ
- 資金調達
- 申請レビュー
- 採択
- 採択後
- リソース

#### 概要

- ・ この公募は、自然科学、工学、人文科学、社会科学、健康科学の各分野にまたがるものであり、E.2の研究分野：人工知能とデータサイエンスに対応している必要がある。
- ・ 本プログラムでは、理論的・実践的アプローチを取り入れた新しい手法や革新的な概念に基づく、複合的・学際的プロジェクトが強く奨励される。

#### 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | EU1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	欧州連合
プログラム名	Call for proposals on advancing the adoption of artificial intelligence in health - EU4H-2024-PJ-03-6
公示機関	欧州委員会
発行年	2024年
予算	450万ユーロ
期間	36～48か月
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>EU加盟国（海外国・地域（OCTs）を含む）</li> <li>対象となる非EU加盟国（リストアップされたEEA加盟国およびEU4Healthプログラム関連国）</li> <li>以下に該当する以下の機関 <ul style="list-style-type: none"> <li>学術・教育機・研究</li> <li>ERN (European Reference Network)を含む専門家ネットワーク</li> <li>市民社会組織：協会、財団、NGO</li> <li>公衆衛生分野の企業、民間団体、公的機関</li> </ul> </li> </ul>

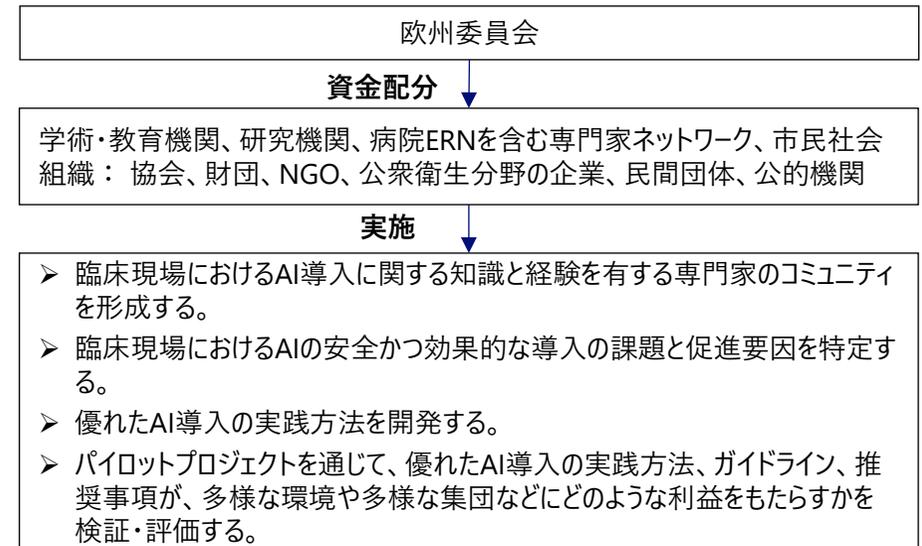
## 【公募要領の項目】

- |                    |             |                    |
|--------------------|-------------|--------------------|
| ○ トピックの説明          | ○ はじめに      | ○ 財政・運営能力および除外     |
| ○ トピックの更新          | ○ 募集の背景     | ○ 評価と授与手続き         |
| ○ トピックの条件と文書       | ○ 募集要項      | ○ 授与基準             |
| ○ 予算概要             | ○ 予算        | ○ 補助金契約の法的および財政的設定 |
| ○ 提出開始             | ○ スケジュールと期限 | ○ 申請書の提出方法         |
| ○ トピックQ&A          | ○ 参加資格と書類   | ○ ヘルプ              |
| ○ EU4H提案募集（文書中の項目） | ○ 参加資格      | ○ 重要               |

## 概要

- 特に臨床現場におけるAIシステムの安全な導入を加速することを目的としたプログラム。
- 医療におけるAIの安全かつ効果的な展開を加速するための優れたAI展開の実践、ガイドライン作成、医療におけるAIの使用に関する知識を拡大し、医療従事者と患者を含む公衆の双方によるAIへの信頼を発展させること、そしてAIの本格的な適用に向けた医療システムの準備を行う為の研究開発などの実施が求められる。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | EU2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	欧州連合
プログラム名	Collaborative intelligence – combining the best of machine and human (AI Data and Robotics Partnership) (RIA) HORIZON-CL4-2024-HUMAN-01-07
公示機関	欧州委員会
発行年	2023年
予算	2,000万ユーロ
期間	(言及なし)
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学・学術機関</li> <li>企業</li> <li>エンドユーザー</li> <li>標準化団体</li> </ul> ※これらの機関であれば、資格のある国からなる国際コンソーシアムに参加することができる

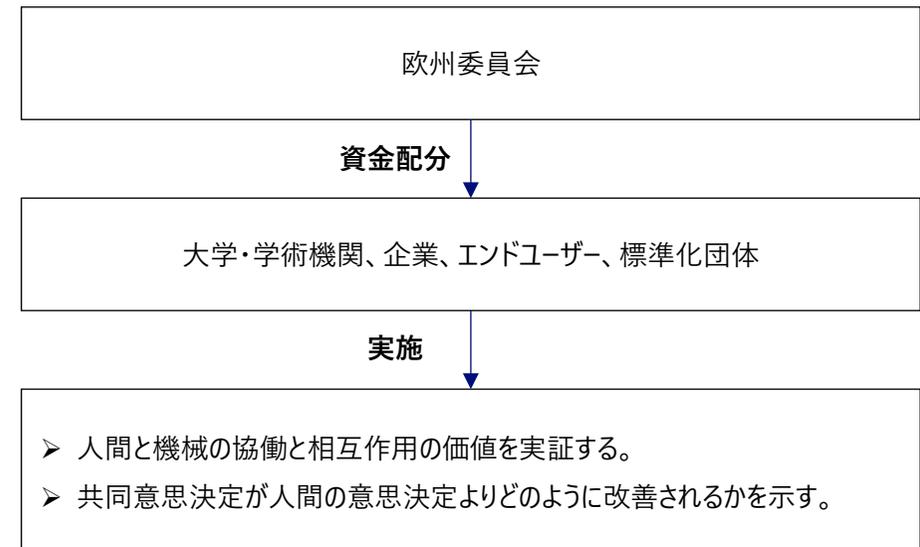
## 【公募要領の項目】

- |                                  |                     |  |
|----------------------------------|---------------------|--|
| ○ トピックの説明                        | ○ 一般的な付属書類 (書類中の項目) | ○ 契約の法的・財務的設定                            |
| ○ トピックの更新                        | ○ 受理可能性             | ○ 事前商業調達または革新的なソリューションの調達を実施する活動のための特定条件 |
| ○ トピックの条件と文書                     | ○ 応募資格              |  |
| ○ 予算                             | ○ 財政・運営能力および除外      |  |
| ○ 概要                             | ○ 採択基準              |  |
| ○ 提案の開始                          | ○ 提出書類              |  |
| ○ トピックスのQ&A                      | ○ 手続き               |  |
| ○ ホライゾンヨーロッパ - ワークプログラム2023-2025 |                     |  |

## 概要

- 人間と機械の協働と相互作用の価値、協働による意思決定が人間の意思決定よりもどのように改善されるかを実証し、以下の成果に貢献することを目的とした、共同研究プログラム。インドからの参加者が優先される。
- 実施内容は次世代の協調型AIに向けた基礎研究。
- 特定のテーマの技術条件として、TRL（技術成熟度）2～3で開始し、プロジェクト終了までにTRL4～5を達成することが期待される。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | オランダ1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	NGF: AiNed ELSA Labs
公示機関	オランダ科学研究機構 (NWO)
発行年	2024年
予算	680万ユーロ
期間	3年間
対象	オランダの指定医療機関で同等の職務に就いている教授、准教授、助教授、研究者

## 【公募要領の項目】

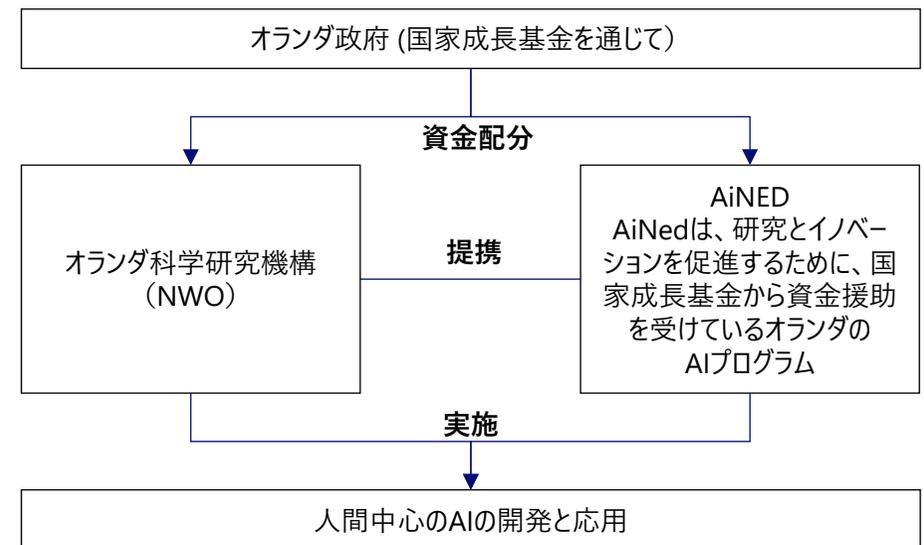
- はじめに
  - ・ 背景
  - ・ 予算
  - ・ 提出期限
- 目的
  - ・ プログラムの目的
  - ・ 実質的な枠組み
  - ・ 革新的な共同研究開発
- 応募条件
  - ・ 応募対象
  - ・ 申請資格
  - ・ 申請書の作成
  - ・ 提出条件
  - ・ 支給条件
- 評価手順
  - ・ サンフランシスコ宣言
  - ・ 評価手順
  - ・ 評価基準
- 助成金受領者の義務
  - 連絡先およびその他の情報
    - ・ 連絡先
    - ・ その他の情報
  - 付録
    - ・ 研究機関のための予算モジュールの説明
    - ・ 企業および市民社会組織のための対象経費の説明
- インテグラル・コスト・システム (IKS) と固定時間給の説明
- AiNed ELSAラボの提案の要素
- AiNed ELSAラボの価値提案キャンパス
- 倫理的AIのガイドライン
- オランダ国家研究アジェンダの人間中心AIプログラム (募集1) で授与された助成金

出所：オランダ科学研究機構 (NWO) よりNRI作成

## 概要

- ・ このプログラムはAiNedプログラムの一部である。
- ・ 国家成長基金 (NGF) AiNedプログラム (2021-2027年) は、オランダAI連合 (NLAIC) のベンチャー事業であり、オランダの産業界と政府における人工知能 (AI) の開発と実装を促進することを目的としている。
- ・ この提案募集の目的は、人間中心のAIの開発と応用のための知識、専門知識、洞察の習得に役立つプロジェクトを募集することである。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | オランダ2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	NGF AiNed XS Europe
公示機関	オランダ科学研究機構 (NWO)
発行年	2023年
予算	320万ユーロ(80万ユーロずつ4つのパッケージに分割)
期間	12か月間
対象	オランダの大学または研究機関で給与を得ている教授、講師、研究者

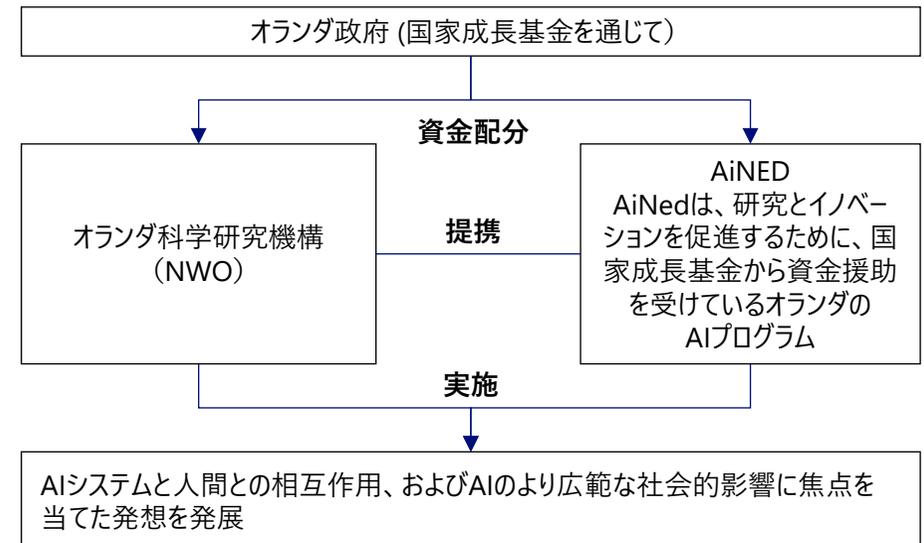
## 【公募要領の項目】

- はじめに
  - ・ 背景
  - ・ 予算
  - ・ 提出期限
- 目的
- 応募条件
  - ・ 応募対象
  - ・ 申請資格
  - ・ 申請書の作成
  - ・ 提出条件
  - ・ 交付条件
- 評価手順
  - ・ サンフランシスコ宣言
  - ・ 評価手順
  - ・ 評価基準
- 助成金受領者の義務
- 連絡先およびその他の情報
  - ・ 連絡先
  - ・ その他の情報
- 附属
  - ・ 人件費予算に関する説明文書
  - ・ 積算システム (ICS) に関する説明文書

## 概要

- ・ 国家成長基金プログラムAiNedは、欧州のパートナーとの共同プロジェクトに資金を提供することで、人工知能 (AI) の革新的かつ思惑的な取り組みを支援している。
- ・ このプログラムは、オランダの企業や政府における人工知能 (AI) の開発と応用を促進することを目的としている。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | オーストラリア1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア
プログラム名	Australia-India Strategic Research Fund (AISRF) – Collaborative Research Projects Round 15
公示機関	オーストラリア側：産業・科学・資源省 インド側：科学技術省（DST）
発行年	2023年
予算	600万ドル
期間	3年間
対象	企業、研究機関、政府機関など、ABNを持つオーストラリア法人で、インドのパートナーがDSTに申請する場合

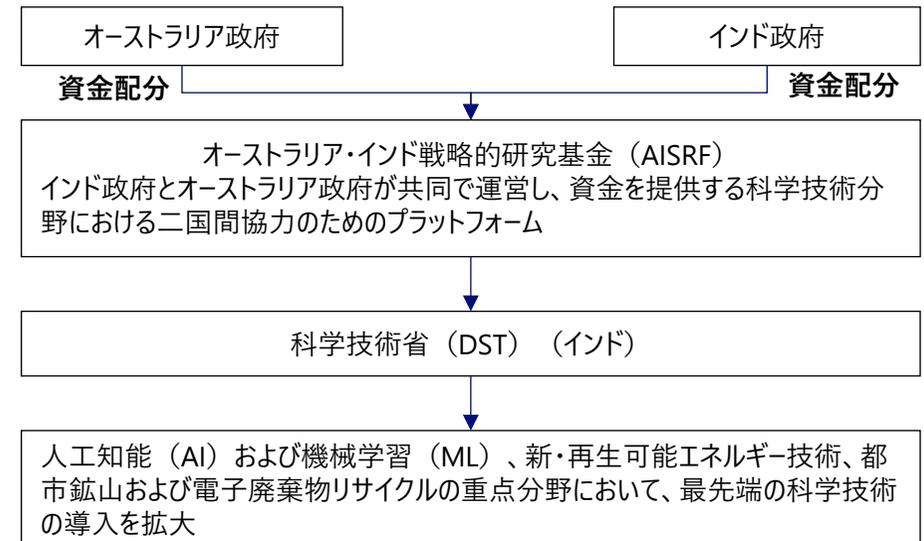
## 【公募要領の項目】

- 豪印戦略研究基金 共同研究プロジェクト第15ラウンドプロセス
  - 助成プログラムについて
  - 助成金額と助成期間
  - 応募資格
  - 助成金の用途
  - 審査基準
  - 申請方法
  - 助成金の選考プロセス
  - 申請結果の通知
  - 採択された補助金申請
  - 助成金の発表
- 助成金活動のモニタリング方法
  - 信頼性
  - 用語集
  - 補足資料A 適格な支出
  - 補足資料B 不適格な支出

## 概要

- 戦略的に焦点を絞った最先端の科学研究・技術プロジェクトにおける豪印研究者間の協働を支援し、豪印研究者間の戦略的提携を強化することにより、最先端の科学技術（S&T）の利用を増加させる。
- インドとオーストラリアのグローバルなS&Tシステムへのアクセスを促進する。

## 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 人工知能 (AI) | オーストラリア2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア、米国
プログラム名	Collaboration Opportunities in Responsible and Equitable AI
公示機関	オーストラリア側：オーストラリア連邦科学産業研究機構 (CSIRO) 米国側：米国国立科学財団 (NSF)
発行年	2022年
予算	最大85万オーストラリアドル
期間	3年間
対象	オーストラリアの大学および非営利の研究機関

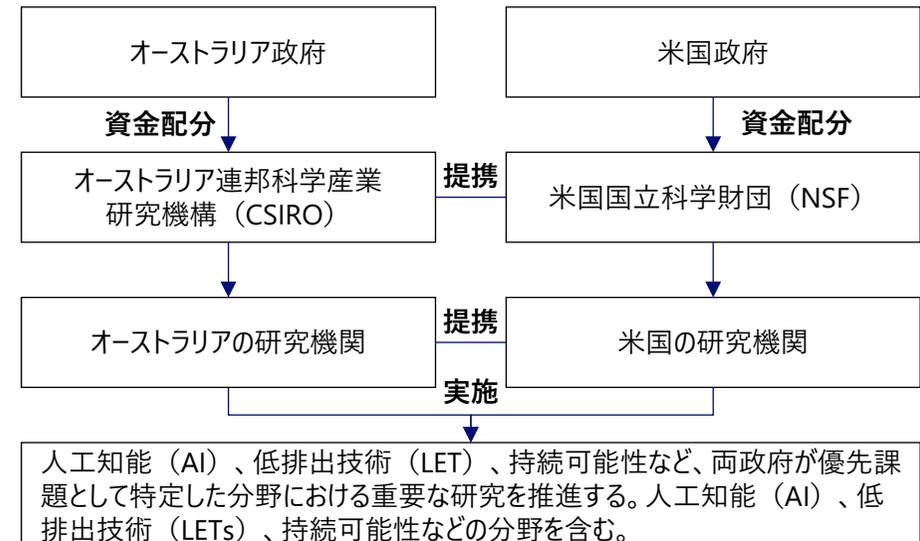
#### 【公募要領の項目】

- プログラム紹介
- プログラム概要
- プログラムの目的
- 重点テーマ 責任あるAIと公平なAI
- CSIROのミッションとの整合性
- 助成金額と助成期間
- 対象となる活動と費用
- CSIRO 助成金受給資格基準
  - ・ダイバーシティ&インクルージョン
  - ・応募制限
- プログラムの期限
- 申請と同意のプロセス
- NSF申請書の提出
- 守秘義務
- 応募審査基準とプロセス
- 助成金受賞後の報告
  - ・各報告書の内容
- その他の情報

#### 概要

- NSFとCSIROの共同プログラムの目的は、差別、悪用、危害を防止しながら、倫理的なAIの開発、公平性、透明性、説明責任、包括性、持続可能性を確保する、責任ある公平なAIに関する米国とオーストラリアのチーム間の共同研究を支援することである。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | 米国1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Building Synthetic Microbial Communities for Biology, Mitigating Climate Change, Sustainability and Biotechnology (Synthetic Communities)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)
発行年	2024年
予算	800万~1,000万米ドル
期間	(言及なし)
対象	バイオ分野の教育や研究に従事する機関、博物館、天文台、研究所、専門家団体

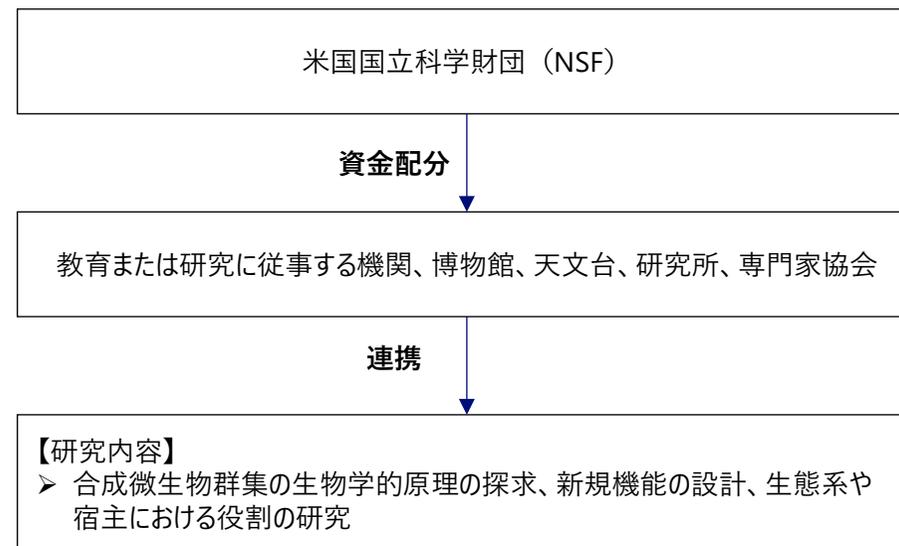
#### 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- はじめに
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ プロポーザル作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF提案書の処理および審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

#### 概要

- 当該プログラムでは、合成微生物群集の生物学的原理の探求、新規機能の設計、生態系や宿主における役割の研究を支援する。プロジェクトの焦点は以下の通り：
  - 自然のコミュニティ形成、ダイナミクス、影響を理解するために合成コミュニティを利用。
  - ユニークな形質を持つ合成コミュニティをデザインし、その背後にある生物学を研究。
  - 合成コミュニティ内での種の役割とその集団特性を特定。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | 米国2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Molecular Foundations for Biotechnology (MFB)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)、米国国立衛生研究所 (NIH)、米国国立ヒトゲノム研究所 (NHGRI)
発行年	2024年
予算	650万米ドル
期間	3年間
対象	バイオ分野の教育や研究に従事する機関、博物館、天文台、研究所、専門家団体

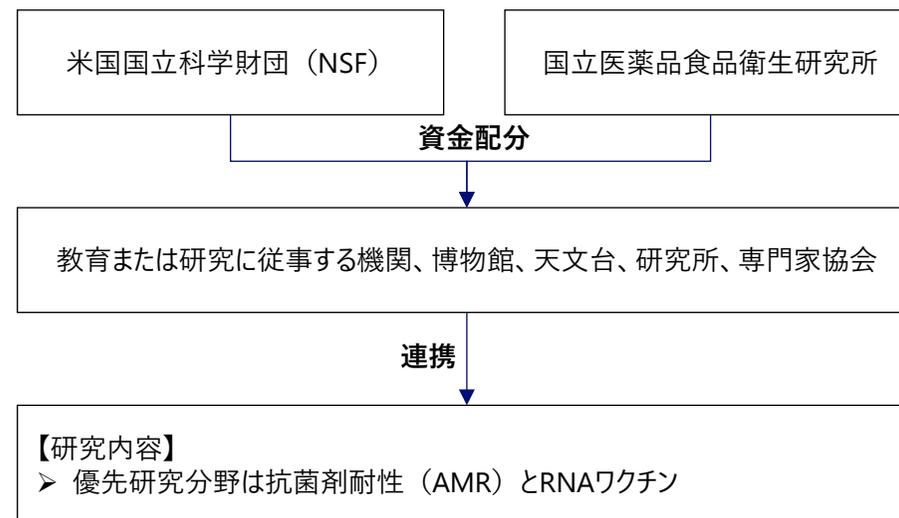
#### 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- はじめに
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ プロポーザル作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF提案書の処理および審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

#### 概要

- 当該プログラムは、各分野（生物学、化学、数学など）の研究者が、RNAとその生物学的システムにおける役割を研究するための革新的なアプローチについて共同研究を行うことを奨励するもの。
- RNAの構造、相互作用、機能に焦点を当て、バイオテクノロジーを発展させることを目的とする。
- 提案は、特に複雑な生物システムにおいて、RNAをより良く理解するためのツールや方法を開発するものでなければならない。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | 英国1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	Molecular and cellular medicine: research grant: responsive mode
公示機関	英国研究・イノベーション機構(UKRI)
発行年	2025年
予算	制限なし
期間	最長5年間
対象	適格な研究機関に勤務する専門家

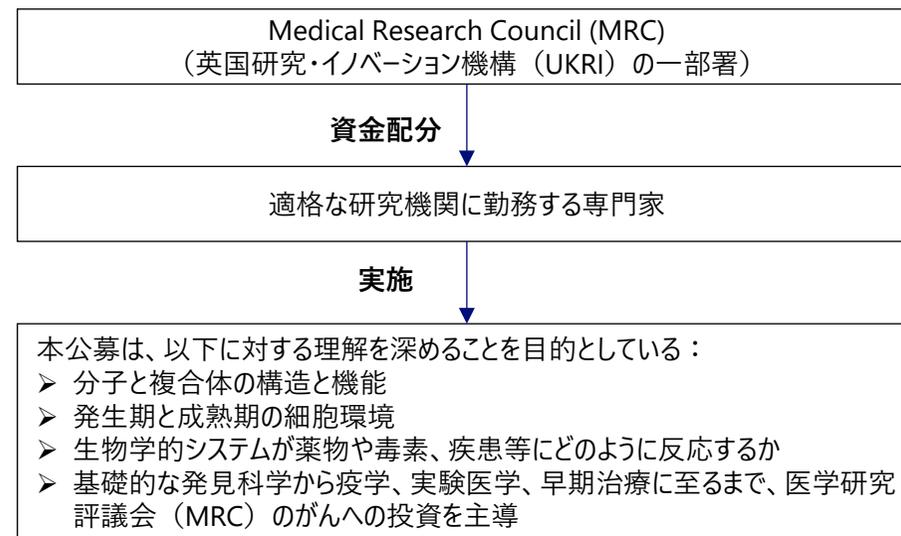
#### 【公募要領の項目】

- 参加条件
  - 応募資格
  - 応募資格のない方
  - 海外からの応募者
  - 平等、多様性、インクルージョン
- 公募対象
  - スコープ
  - 期間
  - 利用可能な資金
  - 助成対象
  - 助成対象外
  - チーム・プロジェクト・パートナー
  - スキルと才能の支援
  - 信頼できる研究とイノベーション
- 申請方法
  - 方法
  - 参考文献
  - 生成AI
- 締め切り
- 個人情報
- 機微情報
- 成果の公表
- 概要
- コアチーム
- 応募に関する質問
- 審査方法
- 審査プロセス
- 評価の原則
- 査読における生成AIの利用
- 評価分野
- 連絡先
- 補足情報
  - 背景
  - 研究とイノベーションへの影響
  - COVID-19期間中の研究中断

#### 概要

- 分子と複合体の構造と機能、発生と成熟状態における細胞環境、生物学的システムが挑戦と病気にとのように対応するか、等についての理解を深めるための分子・細胞医学の開発・進展を目的とする。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | 英国2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	Infections and immunity: new investigator: responsive mode
公示機関	英国研究・イノベーション機構 (UKRI)
発行年	2025年
予算	制限なし
期間	3年間
対象	専門家・研究者

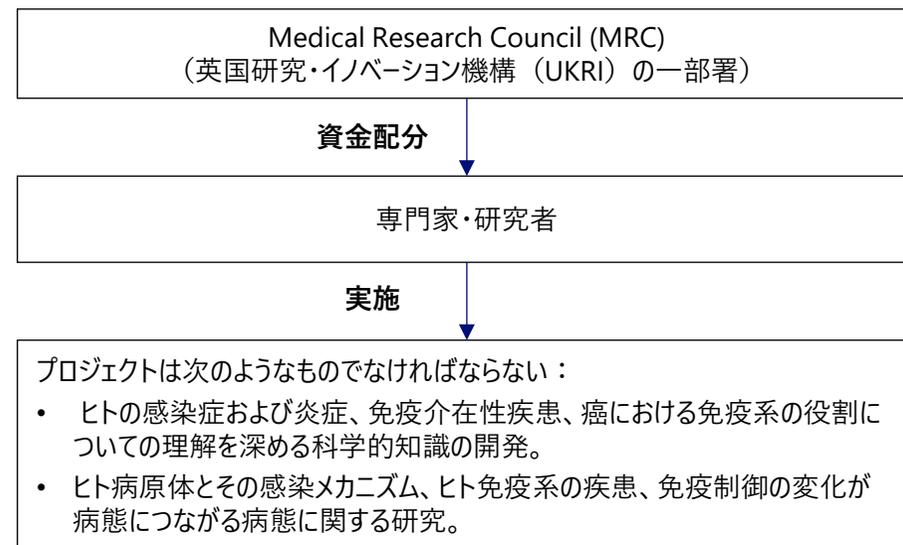
#### 【公募要領の項目】

- 参加条件
  - ・ 応募資格
  - ・ 応募資格のない方
  - ・ プロジェクトの共同リーダーおよびその他のチームメンバー
  - ・ 海外からの応募者
  - ・ 平等、多様性、インクルージョン
- 公募対象
  - ・ スコープ
  - ・ 時間の使い方
  - ・ 期間利用可能な資金
  - ・ 助成対象
  - ・ 資金を提供しないもの
  - ・ チームプロジェクトパートナー
  - ・ 信頼できるリサーチ&イノベーション
- 申請方法
  - ・ 応募方法
  - ・ 参考文献
- ・ 生成AI
- ・ 締め切り
- ・ 個人情報
- ・ 機微情報
- ・ 成果の公表
- ・ 概要
- ・ コアチーム
- ・ 応募に関する質問
- ・ 審査方法
- ・ 審査プロセス
- ・ 評価の原則
- ・ 審査における生成AIの利用
- ・ 評価領域
- ・ 連絡先
- 連絡先
- 補足情報
  - ・ 背景
  - ・ 研究とイノベーションへの影響
  - ・ COVID-19期間中の研究中断

#### 概要

- ・ ヒトの感染症や、炎症、免疫介在性疾患、癌における免疫系の役割についての理解を深める科学的知識を開発することを目指している。これには、ヒト病原体とその感染メカニズム、ヒト免疫系の疾患、免疫制御の変化が病態につながる状態に関する研究が含まれる。
- ・ 対象とする研究内容には、ヒト病原体、免疫介在性疾患および多疾病、ワクチン、その他に関連する探索研究が含まれる。

#### 構成図



### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | イタリア1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	イタリア、イスラエル
プログラム名	Twenty-first Call for Proposals for Joint Industrial R&D Projects (“INDUSTRIAL TRACK”)
公示機関	イタリア側：外務・国際協力省 イスラエル側：イスラエル・イノベーション庁 国際協力課
発行年	2023年
予算	(言及なし)
期間	落札日から24か月以内
対象	バイオテクノロジー、医学、公衆衛生、農業/食品科学、教育/科学研究への情報技術の応用などの分野で、イスラエルの研究開発会社と協力しているイタリアの企業または大学の研究者

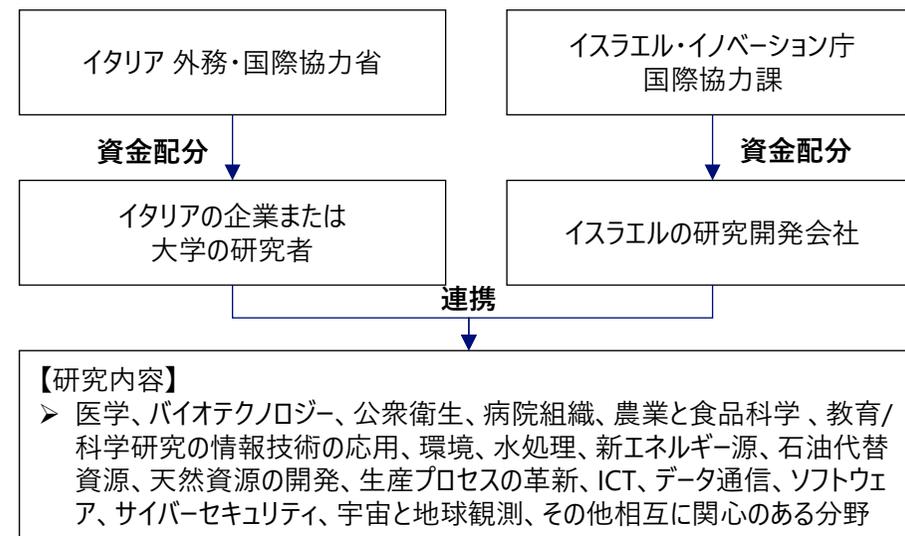
#### 【公募要領の項目】

- 重点研究分野
- 参加資格
- プロジェクト提案書の提出
- 選考方法
- 資金調達手続き
- 結果の通知

#### 概要

- 本プログラムは革新的な製品、プロセス、またはサービスにつながる共同産業研究開発プロジェクトを支援すること。
- 各種分野でイタリアとイスラエルの団体間の協力を促進。

#### 構成図



### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | イタリア2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	イタリア、インド
プログラム名	Italy-India Joint Science and Technology Cooperation call for joint project proposals for the years 2025-2027
公示機関	イタリア側：イタリア外務・国際協力省（MAECI）国別振興総局（Office IX） インド側：インド科学技術省（DST）
発行年	2024年
予算	（言及なし）
期間	3年間
対象	バイオテクノロジー、情報通信技術、人工知能、持続可能な農産物、宇宙物理学、宇宙科学、化学科学、気候変動、地球災害、先端製造業などの分野において、大学、学術機関、国立研究開発研究所／研究所で正規の業務に従事するインド人科学者／教員と協働するイタリアの公的または民間（非営利）研究機関

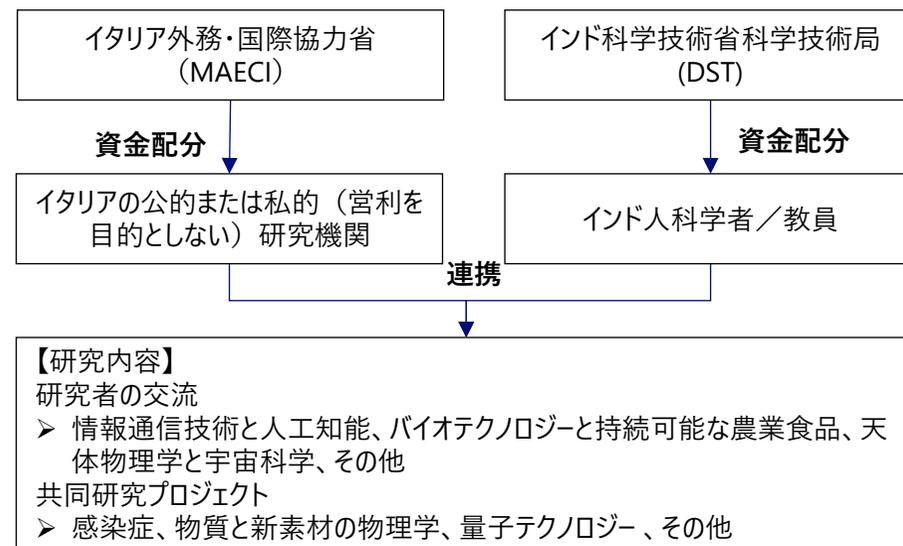
#### 【公募要領の項目】

- 一般情報
- 資金調達スキーム
- 参加資格
- 除外理由
- 重点研究分野
- プロジェクト提案書の提出
- 提出手続き
- 評価手順
- 資金調達手続き
- 成果の公表

#### 概要

- イタリアとインドの主要科学分野での協力を促進を目標とする。
- イタリア・インド共同科学技術協力提案募集（2025～2027年）は、両国間の科学技術協力協定の枠組みの下で共同研究イニシアチブを募集研究者交流と共同研究プロジェクトの2つの資金提供スキームを提供。
- 特にイタリアとインドの研究室間の研究者の移動をサポート。提案は、情報通信技術、人工知能、バイオテクノロジー、持続可能な農業食品、天体物理学、宇宙科学、化学科学、気候変動、地質災害、先進製造業など、指定された研究分野に沿ったものでなければならない。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | カナダ1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	カナダ、米国
プログラム名	National Science Foundation Global Centres, Call for proposals: Bioeconomy
公示機関	カナダ側：カナダ国立科学技術研究評議会 (NSERC) 社会科学・人文科学研究評議会 (SSHRC) 米国側：全米科学財団 (NSF)
発行年	2023年
予算	1,000万カナダドル
期間	5年間
対象	申請者および共同申請者はカナダの研究機関に所属し、カナダ自然科学・工学研究評議会 (NSERC) またはカナダ社会科学・人文科学研究評議会 (SSHRC) の支援を受けている研究分野に従事していなければならない

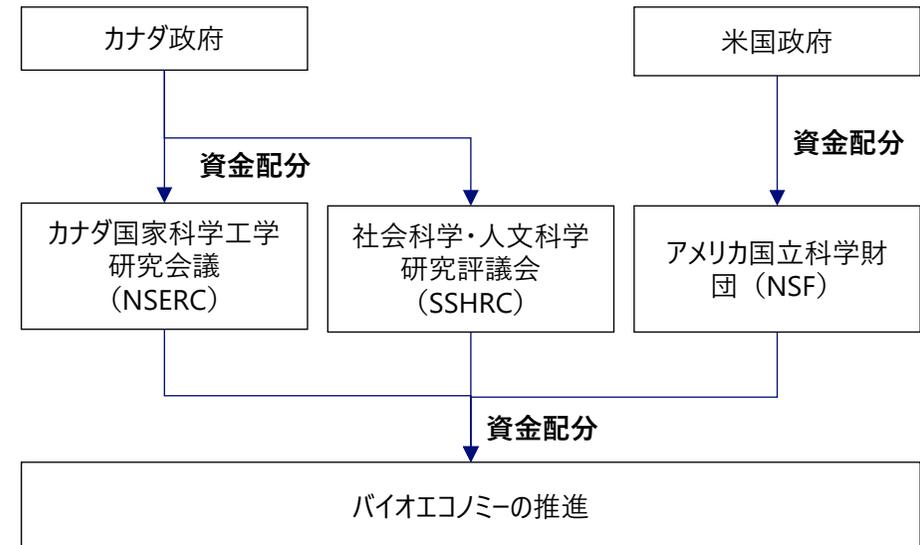
#### 【公募要領の項目】

- 研究トピックス
  - ・ 自然科学・工学分野以外での共同研究
  - 資金調達
    - ・ 資金調達の決定
    - 助成金
      - ・ 資金譲渡とプロジェクト開始日
      - ・ 研究契約と知的財産
      - 助成賞受賞後
        - ・ NSERCとSSHRCへの報告
        - ・ 進捗状況の報告
        - ・ NSERCまたはSSHRCへの変更通知
        - ・ 助成金の延長
      - 資金源
- 資金調達
- ・ 対象経費
- 応募方法
- ・ 締め切り
- ・ 公平性、多様性、インクルージョン
- ・ 先住民やコミュニティが関与する研究
- 審査
  - ・ 参加資格
  - ・ 評価メカニズム
  - ・ 評価基準

#### 概要

- ・ バイオテクノロジーとバイオ製造を基盤とするバイオエコノミーの研究の推進を目的とする。
- ・ 推奨される提案は次の通り：植物ゲノム学、精密農業、バイオテクノロジーにおける AI などの分野を含む生命の樹全体にわたる生物多様性の活用と、合成生物学、代謝工学、設計・構築・テスト・学習プロセスの倫理的および社会的影響を含むバイオファウンドリという2つの主要トピックに焦点を当てること。
- ・ また、NSERC と SSHRC は、複数のアプローチを統合することを目指しており、バイオエコノミーの広範な社会的影響に対処するために自然科学と社会科学の両方を橋渡しする研究を歓迎する。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | カナダ2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	カナダ
プログラム名	Next-Generation Solid Tumour Cell Therapies
公示機関	カナダ国家研究会議（NRC）
発行年	2024年
予算	カナダ 60万ドル（NRCから30万ドル、選ばれた共同研究者からの共同拠出金）
期間	約2年間
対象	学術機関、研究機関、非営利団体、地方・州組織、カナダの中小企業で、NRIのヒト健康・治療研究センターの研究者との共同研究の希望者

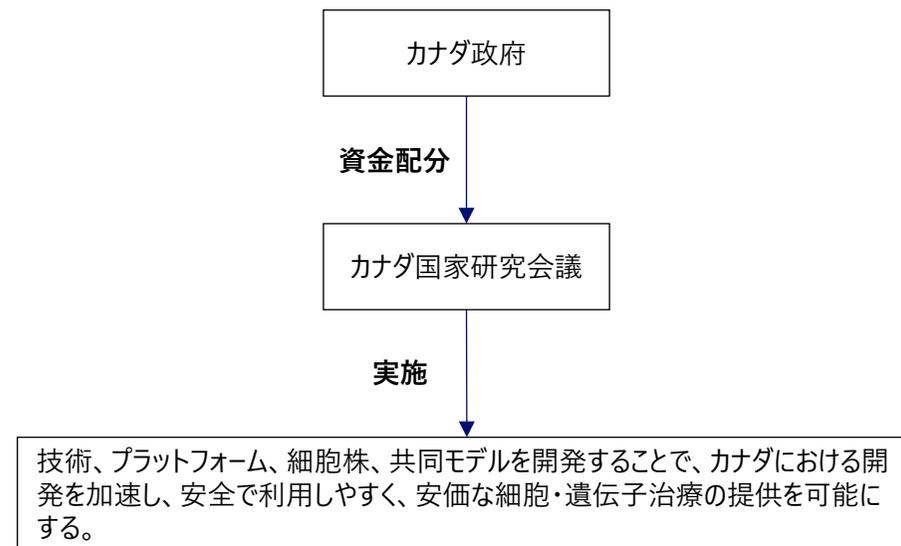
#### 【公募要領の項目】

- プログラム詳細
  - ・ビジョンと使命
  - ・課題への取り組み
- 目的
- 対象となるプロジェクトとチーム
  - ・EDIとGBA+へのコミットメント
- 費用
- 資金調達とサポート
  - ・スタッキング規定
- 申請プロセスとスケジュール
  - ・技術要件
  - ・主な日程と期限
  - ・登録
- プロジェクトおよび資金調達契約
  - 連絡先
  - 附属書A：提案書の評価基準

#### 概要

- 細胞および遺伝子治療における合成生物学の革新を通じて、がんや遺伝性疾患を患うカナダ人の健康状態を改善すること。
- また、カナダで安全で手頃な価格で利用可能な治療法の開発を加速するための技術、プラットフォーム、パートナーシップを構築すること。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | ドイツ1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ、英国
プログラム名	Pilot Call on the “Integrative Microbiome”
公示機関	ドイツ側：ドイツ研究振興財団（DFG） 英国側：生物学・生物科学研究会議（UKRI-BBSRC）
発行年	2023年
予算	（言及なし）
期間	3年間
対象	ドイツ国内の研究者、または海外のドイツの研究機関に勤務する研究者で、学術研修（原則として博士号）を修了した者

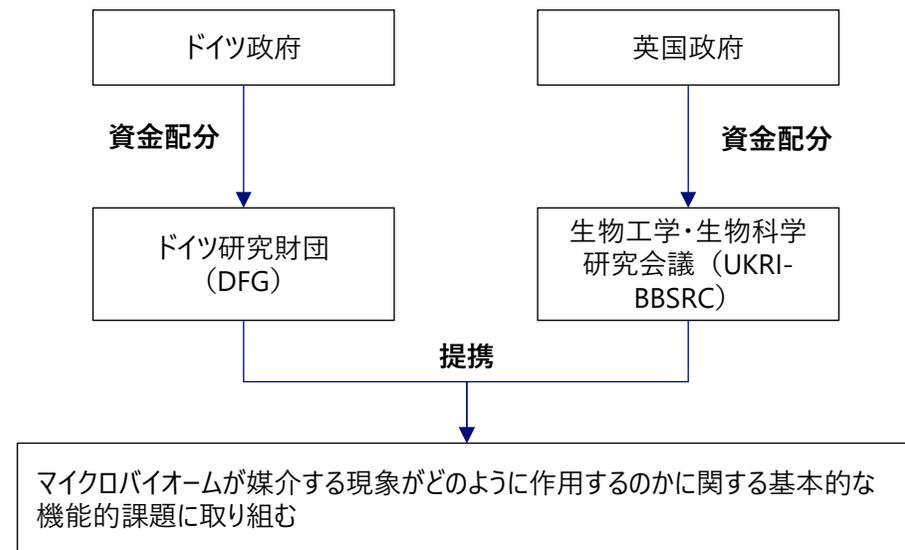
#### 【公募要領の項目】

- 研究テーマ： 統合マイクロバイオーム研究
- 応募資格
- リード機関
- 応募方法
- 第1段階-関心表明書の提出
- 第2段階-提案書の提出
- 審査プロセス
- 結果通知
- スケジュール
- 詳細情報

#### 概要

- BBSRC-UKRI-DFG主導機関協定では、マイクロバイオーム（細菌、真菌、ウイルス、古細菌などの複雑な微生物群集）が様々な環境においてどのように機能するかを探求する「統合的マイクロバイオーム」に焦点を当てた共同研究提案を募集している。
- この研究は、関連研究を超えて、マイクロバイオームと宿主や周囲の生態系との相互作用を支配する機能的メカニズムを明らかにすることを目的としている。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | ドイツ2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ
プログラム名	Aging Processes in Reproduction – Implications for Fertility and Health (FertilAGE)
公示機関	ドイツ研究財団 (DFG)
発行年	2023年
予算	(言及なし)
期間	3年間
対象	自然科学または医学・獣医学の学位を有し、博士号取得後6年以内（育児・介護期間を考慮）、または博士号取得見込みの研究者

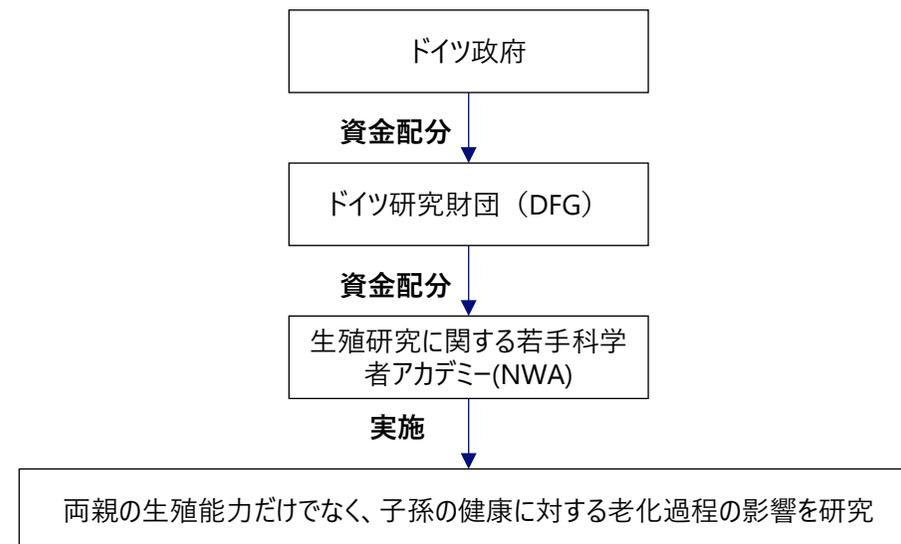
#### 【公募要領の項目】

- 目的
- 若手人材育成アカデミーの手続き
- 応募基準と締め切り
- 詳細情報

#### 概要

- DFG Young Investigators Academy FertilAGEは、ドイツ研究振興協会（DFG）の助成を受け、生殖研究における早期キャリア研究者を支援することを目的としている。
- このプログラムでは、病理学的変化や体外式生殖補助法などの生殖補助技術を含め、生殖能力と子孫の健康に影響を与える老化プロセスに焦点を当てている。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | ドイツ3件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ
プログラム名	FAPESP - BMBF Call for Proposals 2025 on Bioeconomy
公示機関	ドイツ側：連邦教育研究省（BMBF） ブラジル側：サンパウロ研究財団（FAPESP）
発行年	2024年
予算	（言及なし）
期間	3年間
対象	大学、大学以外の研究機関、研究業務を行う州・連邦機関、 営利企業、特に中小企業（SME）

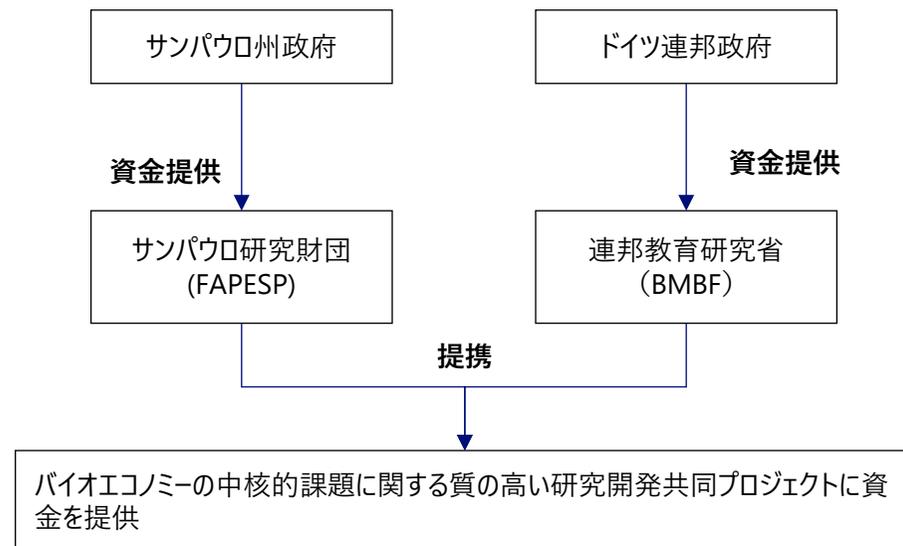
#### 【公募要領の項目】

- 資金調達のための法的根拠
  - 有効期間
  - 一般的な資金要件
  - 助成金の範囲／金額
  - 累積額
- 資金調達の目的
- 寄付の目的
- 法的根拠
- 資金提供の受領者
- 助成対象
- 特別な資金提供の要件
- 助成金の種類と範囲、金額
- その他の資金調達に関する規定
- 手続き
  - 事業提唱者の関与、申請書類、その他の書類、電子申請システムの利用
  - 二段階申請プロセス
  - 遵守すべき規定

#### 概要

- FAPESP-BMBF Call for Proposals 2025は、サンパウロ（ブラジル）、ドイツの研究者を対象に、バイオエコノミー分野における共同研究プロジェクトを募集。
- この募集は、質の高い共同研究を通じて、持続可能なバイオベースの経済システムを推進することに焦点を当てている。
- トピックとしては、代謝工学、合成生物学、システム生物学などのバイオテクノロジー的アプローチが重要な役割を果たす、付加価値製品のための持続可能なバイオマスの産業利用が含まれる。
- このイニシアチブは、バイオテクノロジー、AI、IoTなどの先端技術を活用し、サンパウロとドイツのパートナーシップを強化することを目的としている。
- 参加資格は両地域の高等教育・研究機関の研究者で、FAPESPとBMBFが具体的なガイドラインを提示する。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | フランス1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	Call for projects: "Clinical investigation networks, medical devices and in vitro diagnostic medical devices"
公示機関	フランス国立研究機構 (ANR)
発行年	2023年
予算	40万～50万ユーロ
期間	5年間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>フランスの研究機関（公立または私立の非営利）またはそのグループ</li> <li>医療機関（公立または私立の非営利）</li> </ul>

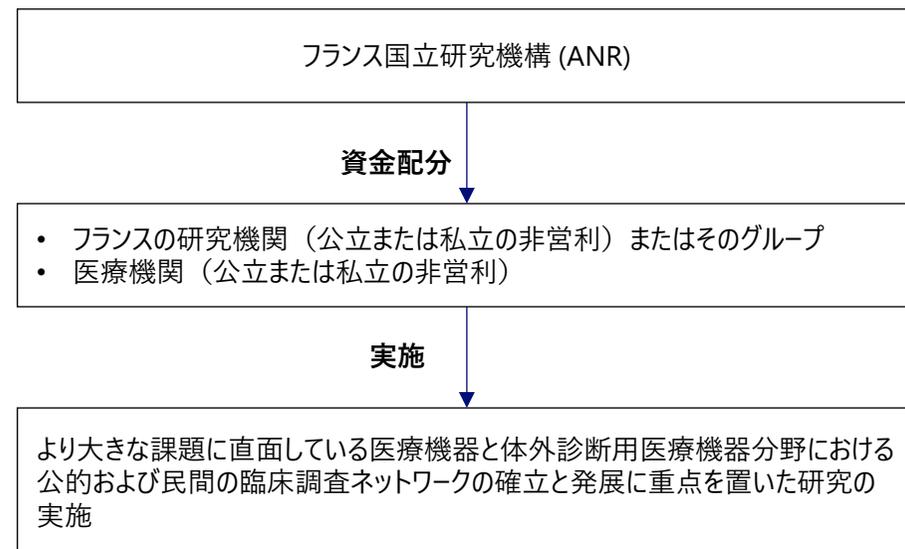
#### 【公募要領の項目】

- 背景と目的
  - ・ フランス2030年投資計画
  - ・ 概要
- プロジェクト募集の目的
  - ・ 期待されるプロジェクト
  - ・ 主な特徴
  - ・ パートナー
- 提案されたプロジェクトの審査
  - ・ 選考方法
  - ・ 審査基準
  - ・ 評価基準
- 資金調達に関する一般規程
  - ・ 資金調達
  - ・ コンソーシアム契約
  - ・ オープンサイエンス
- 預託金の条件
  - ・ ファイル一式の内容
  - ・ 提出手順
  - ・ 提出のヒント

#### 概要

- 本プロジェクト：「臨床試験ネットワーク、医療機器、体外診断用医療機器」の募集は、生物学と健康革新の分野でフランスのリーダーシップを回復することを目的とした2030年健康革新計画の一環である。
- このイニシアチブは、健康危機と欧州の新規制の導入に伴い、より大きな課題に直面している医療機器と体外診断用医療機器分野における公的および民間の臨床調査ネットワークの確立と発展に重点を置いている。これらのネットワークは、CEマーキング前後の臨床試験を支援し、官民間の協力を促進することを目的とする。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | フランス2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	Call for projects: "Innovations in biotherapies and bioproduction"
公示機関	フランス公共投資銀行 (BPI)
発行年	2023年
予算	8億ユーロ
期間	12~48か月間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業（大企業・中小企業を問わない）</li> <li>研究機関（連携機関）</li> <li>公益団体、その他</li> </ul>

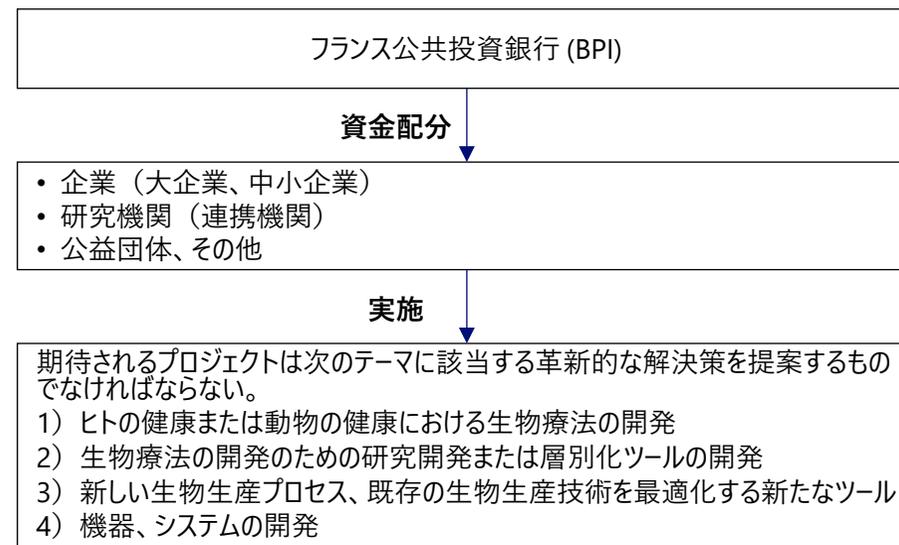
#### 【公募要領の項目】

- 概要
- 背景と目的
  - ・フランス2030年投資計画
  - ・促進戦略
- 期待されるプロジェクト
  - ・候補プロジェクトのタイプ
  - ・プロジェクトリーダーのタイプ
  - ・専攻基準とプロセス
  - ・応募資格
  - ・選考基準
  - ・選考プロセス
- 資金調達の内容と条件
  - ・活動に対する援助
  - ・非営利活動に対する援助
  - ・臨床試験の資金調達に関する具体的な取り決め
  - ・対象となる費用と経費
  - ・国家への返還条件
- プロジェクトの実施、資金配分、モニタリング
  - ・締結
  - ・プロジェクトのモニタリングと資金配分
  - ・守秘義務とコミュニケーション
  - ・報告条件

#### 概要

- ・ 技術移転を加速させ、イノベーションの絶え間ない流れを確保することにより、生物療法における卓越した研究を促進し、維持することを目的とする。
- ・ 企業、研究機関、またはこれらの企業を支援する研究機関、最大4人のパートナーからなるコンソーシアムなどのパートナーを持つ企業が主導する共同プロジェクトは、12か月から48か月の期間を目安に、テーマ1と2のプロジェクトでは最低400万ユーロ、テーマ3のプロジェクトでは最低200万ユーロの支出を基本とする。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | EU1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	EU
プログラム名	Biotechnology-Driven Low Emission Food and Feed Production Systems
公示機関	欧州イノベーション会議 (EIC)
発行年	2024年
予算	5,000万ユーロ
期間	(言及なし)
対象	持続可能な食品・飼料生産のためのバイオテクノロジー・イノベーションに注力する中小企業、大学、学術機関、研究機関

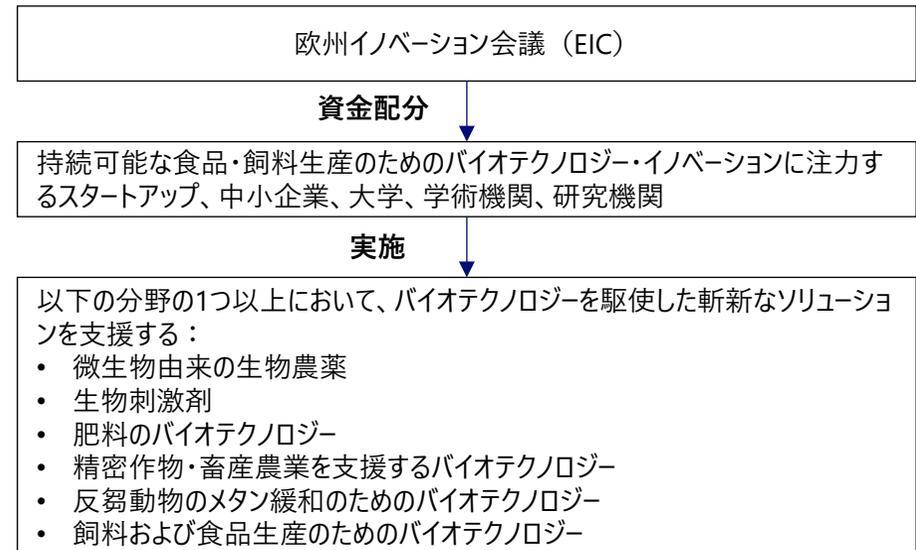
#### 【公募要領の項目】

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめに</li> <li>○ EICパスファインダー</li> <li>○ EICトランジション</li> <li>○ EICアクセラレーター</li> <li>○ EIC Strategic Technologies for Europe Platform (STEP)</li> <li>○ スケールアップコール</li> <li>○ ビジネス加速サービス</li> <li>○ EIC賞</li> <li>○ その他のアクション</li> <li>○ アネックス</li> </ul> | <p>追加事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 背景と範囲</li> <li>○ 具体的な目標</li> <li>○ 期待される成果と影響</li> <li>○ インフォ・デイの録画を見る</li> <li>○ EICワークプログラム2025</li> <li>○ 応募方法</li> </ul> |
|---|---|

#### 概要

- バイオテクノロジーを活用して農業慣行を変革し、温室効果ガスの排出を削減すること。
- また、欧州の農業食品セクターを強化し、EUグリーン・ディールやFarm-to-Fork戦略などの戦略的イニシアティブに貢献するため、学术界、産業界、その他の利害関係者間の協力を支援することを目的とする。
- プロジェクトメンバーの条件は、家畜からのメタン排出、非効率的な肥料使用、資源の浪費といった課題に取り組む革新的なソリューションを拡大するため、スタートアップや中小企業を対象とする。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | EU2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	EU
プログラム名	Joint Transnational Call for research proposals (JTC 2023)
公示機関	TRANSCAN-3 & European Commission
発行年	2023年
予算	国・地域の規則に従う
期間	最長3年間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術研究グループ（大学またはその他の高等教育・研究機関）</li> <li>臨床／公衆衛生部門の研究グループ（病院／公衆衛生機関および／またはその他の医療環境および医療機関の研究グループ）</li> <li>企業の研究グループ（国や地域の資格規定による）、特に中小企業に重点を置く。</li> </ul>

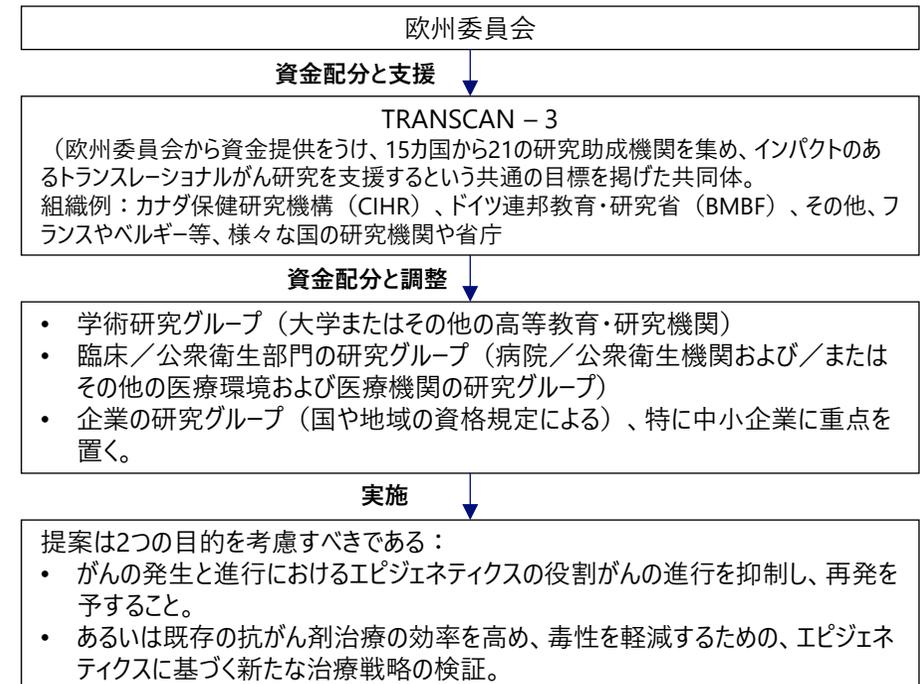
#### 【公募要領の項目】

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| ○ モチベーション              | ○ 未参加国の参加プロセス                 |
| ○ 募集の目的                | ○ 事前提案の適格性チェックと第一段階評価         |
| ○ 応募方法・応募資格            | ○ 未参加国の参加プロセス本提案の適格性確認と第2段階評価 |
| ○ 募集スケジュール             | ○ 資金調達の決定                     |
| ○ 共同提案の提出              | ○ 財務および法的問題                   |
| ○ 募集実施委員会              | ○ 報告と普及                       |
| ○ 評価基準                 | ○ 男女平等                        |
| ○ 採点                   | ○ 連絡先および詳細情報                  |
| ○ 事前提案の適格性チェックと評価の第一段階 |                               |

#### 概要

- ・ がんとエピジェネティクスのより深い理解に基づく新たなアプローチの開発を通じて、現在のがんの発見、診断、予後、治療の有効性を改善することを目的としたプログラム。
- ・ 参加条件は、本募集に参加するすべての国・地域からの少なくとも3つの異なる国の出身者で構成された研究チームでなければならない。
- ・ 資金提供は、コーディネーターおよび個々のプロジェクト・パートナーは、プログラムに参加している国・地域の資金提供団体から資金提供を受け、国・地域の資格規定に従う。資金提供率は、国・地域の規則に従い、最大で申請資金の100%までとなる。

#### 構成図



### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | オランダ1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	Value from Biomass: Efficient and responsible production of chemicals, materials and energy from biomass in a societally relevant context
公示機関	オランダ研究評議会 (NWO)
発行年	2019年
予算	279万ユーロ
期間	6年間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>教授、准教授、助教、および同等の職位にある研究者は、以下の条件を満たせば応募できる:             <ul style="list-style-type: none"> <li>オランダの大学、大学医療センター、NWOおよびKNAWの研究所、その他リストアップされた研究センターなど、指定された機関のいずれかに給与所得者として勤務すること</li> </ul> </li> </ul>

#### 【公募要領の項目】

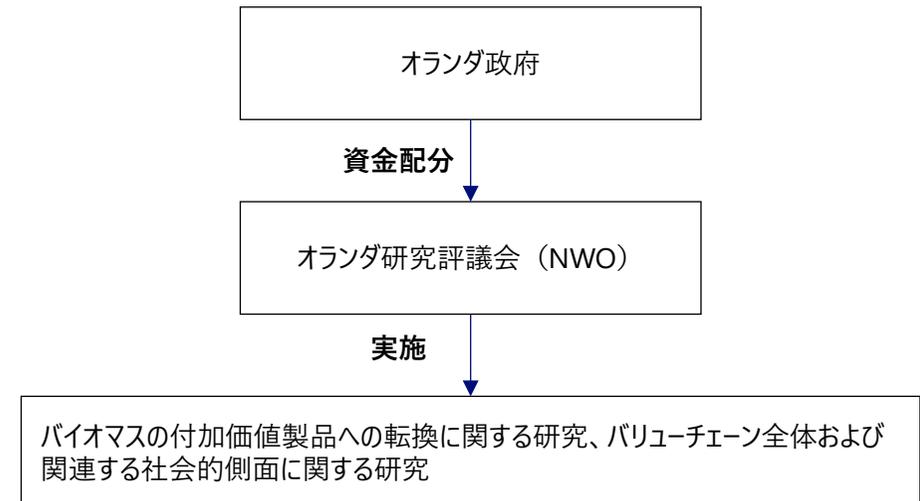
- はじめに
  - ・ 背景
  - ・ 利用可能な予算
  - ・ 提案募集の有効性
- 目的（募集の範囲）
  - ・ はじめに
  - ・ バイオマスから価値への転換
  - ・ バイオマス転換
  - ・ 責任あるイノベーション（MVI）
- 応募要項
  - ・ 応募対象
  - ・ プロジェクト・コンソーシアム、民間および公的パートナー
- ・ 申請対象
- ・ 申請書の提出時期
- ・ 申請書の作成
- ・ 交付条件
- ・ 申請書の提出
- 評価手順
  - ・ 評価手順
  - ・ 評価基準
- 連絡先およびその他の情報
- 付属文書
  - ・ 知的財産権（IP）と知識移転プロジェクト協定
  - ・ 現物出資

出所：オランダ研究評議会（NWO）

#### 概要

- ・ バイオマスからの価値イニシアティブは、オランダ科学研究機構（NWO）の科学領域および社会科学・人文科学領域が主導し、化学、エネルギー、バイオベース経済などのトップセクターが参加する共同プログラムである。
- ・ 特にバイオマスの価値ある製品への転換に関する基礎研究を通じて、化石原料に依存した経済から持続可能な代替資源に基づく経済への転換を推進することを目的としている。

#### 構成図



バイオマスの付加価値製品への転換に関する研究、バリューチェーン全体および関連する社会的側面に関する研究



### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | オランダ2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	Perspectief round 2024/2025
公示機関	オランダ研究評議会 (NWO)
発行年	2024年
予算	2600万ユーロ
期間	6年
対象	科学者、企業、社会組織は、コンソーシアムを通じて、新技術に関する包括的な研究プロジェクトを適用することができる

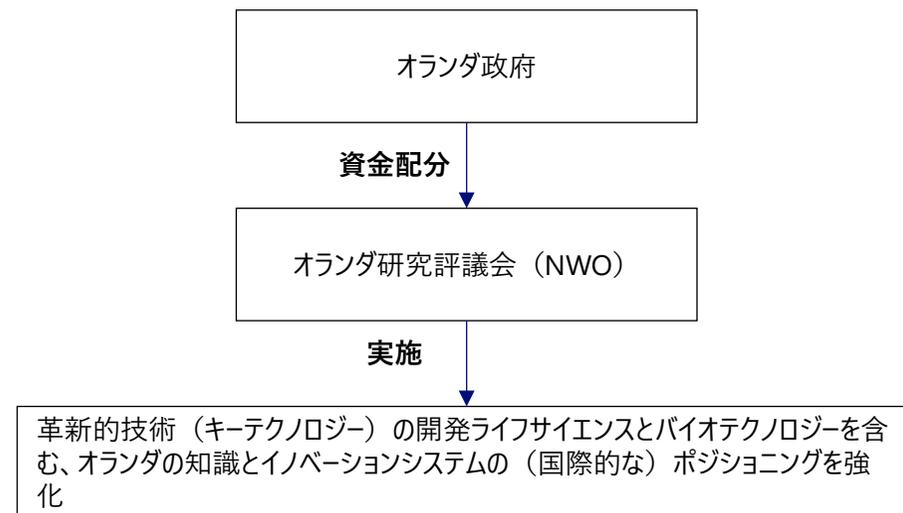
#### 【公募要領の項目】

- はじめに
  - ・ 背景
  - ・ 予算
  - ・ 提出期限
- 目的
  - ・ プログラムの目的
  - ・ 社会的インパクト
- 応募条件
  - ・ 応募対象
  - ・ 申請対象
  - ・ 申請書の作成と提出
  - ・ 提出条件
  - ・ 交付の条件
- 査定手順
  - ・ サンフランシスコ宣言 (DORA)
  - ・ 手続き
  - ・ 評価基準
- 補助金受領者の義務
- 連絡先およびその他の情報
  - ・ 連絡先
  - ・ その他の情報
- 附属書
  - ・ 予算モジュールの説明
  - ・ 知識の活用 インパクト・プランのアプローチ
  - ・ 共同資金の計算例
  - ・ 技術と社会の準備レベルの説明

#### 概要

- ・ プログラムは、応用工学研究を促進し、イノベーション・チェーンを強化し、オランダのミッション主導型イノベーション政策に沿った新技術の開発を通じて社会的インパクトを高めることを目的としている。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | オーストラリア1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア、インド
プログラム名	Indo-Australian Biotechnology Fund Collaborative Research Projects Round 15
公示機関	オーストラリア側：オーストラリア政府産業・イノベーション・科学省 (DIIS) インド側：インド政府バイオテクノロジー局(DBT)
発行年	2023年
予算	50万～100万豪ドル
期間	3年間
対象	オーストラリアとインドの研究機関、官民企業、大学、州・準州が出資する、医療バイオテクノロジー分野に取り組む研究機関

#### インド

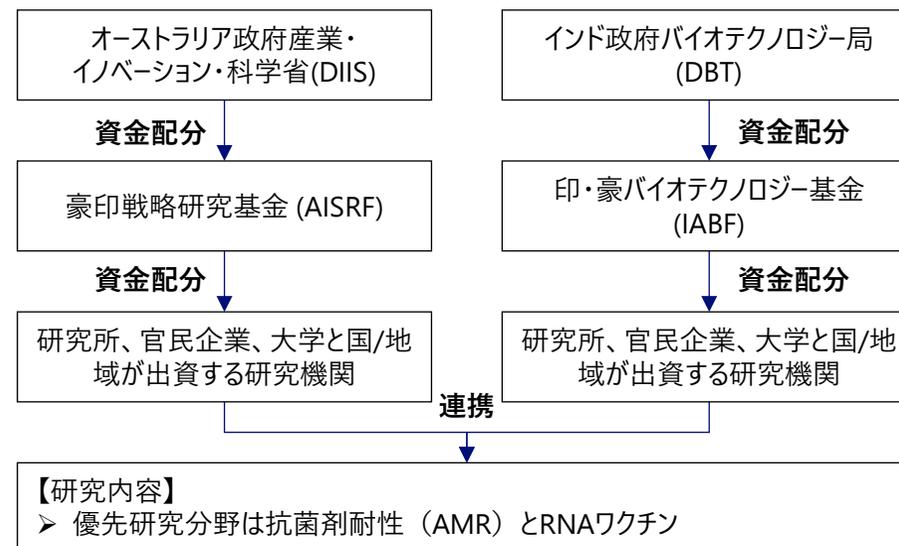
##### 【公募要領の項目】

- 背景
- 公募の目的
- 応募可能な人物
- 助成金ガイドライン
- 提案内容
- 申請を検討するための条件
- 助成金評価
- 評価方法
- 資金調達
- 知的財産権
- 決定条件
- 助成金の条件
- 連絡先
- 補助金のスケジュール

#### 概要

- インド・オーストラリア・バイオテクノロジー基金(IABF)は、インドのバイオテクノロジー省(DBT)とオーストラリアの産業・イノベーション・科学省(DIIS)が共同で運営し、医療バイオテクノロジー分野における共同研究を奨励している。
- 第15ラウンドでは、特に抗菌薬耐性 (AMR) とRNAワクチンの研究を対象とし、社会的に重要な関連性のある科学的解決策の推進を目指している。イノベーションにつながり、グローバルヘルスの課題に貢献できる基礎研究と応用研究の両方に焦点を当てる。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## バイオテクノロジー | オーストラリア2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア、インド
プログラム名	Indo-Australian Biotechnology Fund Collaborative Research Projects Round 14
公示機関	オーストラリア側：オーストラリア政府産業革新科学省(DIIS) インド側：インド政府バイオテクノロジー局(DBT)とその公共部門であるバイオテクノロジー産業研究支援協議会(BIRAC)
発行年	2021年
予算	50万～100万豪ドル
期間	3年間
対象	オーストラリアとインドの研究機関、官民企業、大学、州・準州が出資する、医療バイオテクノロジー分野に取り組む研究機関

#### インド

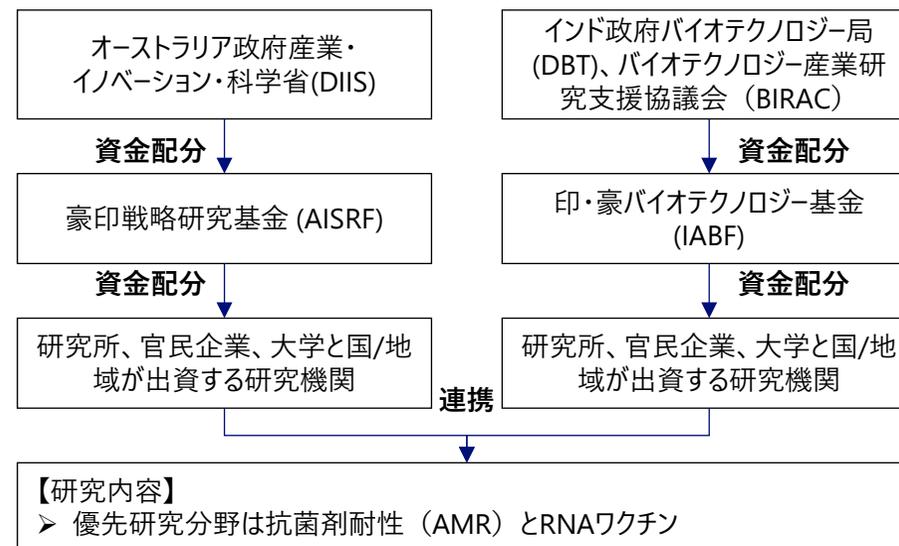
##### 【公募要領の項目】

- 背景
- 知的財産権
- 公募の目的
- 決定条件
- 応募可能な人物
- 助成金の条件
- 助成金ガイドライン
- 連絡先
- 提案内容
- 補助金のスケジュール
- 申請を検討するための条件
- 助成金評価
- 評価方法
- 資金調達

#### 概要

- インド・オーストラリアバイオテクノロジー基金(IABF)は、インド政府バイオテクノロジー省(DBT)とオーストラリア政府産業革新科学省(DIIS)の共同イニシアティブである。
- 第14ラウンドでは、DBTに加え、同省の管轄機関であるBIRACも加わり、学术界と産業界の双方に資金を提供する。応募資格は、インドとオーストラリアのコンソーシアムで、研究機関、企業、研究機関である。申請は、科学的メリット、革新性、方法論、組織能力、提案されたプロジェクトのインパクトに基づいて評価される。

#### 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | 米国1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Expanding Capacity in Quantum Information Science and Engineering (ExpandQISE)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)
発行年	2024年
予算	想定予算：2,000万米ドル トラック1：1件につき最高80万ドル（3年間） トラック2：1件あたり最高500万ドル（5年間）
期間	最長3～5年間
対象	量子分野で活動する研究機関

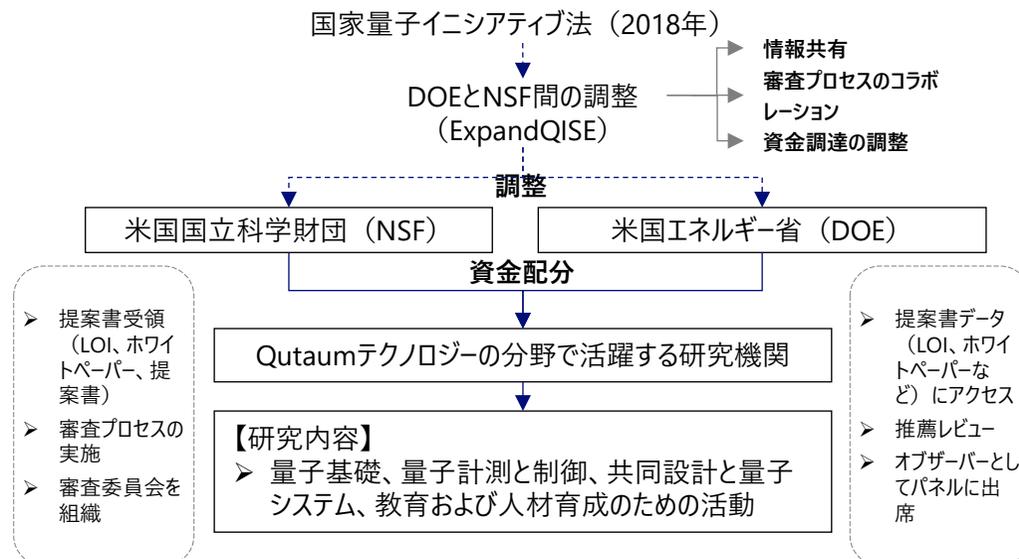
## 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- イントロダクション
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ 提案書作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF向け提案書のプロセスおよび審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

## 概要

- 量子情報科学・工学（QISE）の研究能力の向上と参加者の拡大を目指す。QISE研究にまだ十分に組み込んでいない研究機関を支援し、持続可能な研究・教育プログラムの構築を支援することを目的とする。
- 2018年国家量子イニシアチブ法に沿ったもので、国家研究能力を強化し、資金の重複を避け、QISEにおける人材パイプラインを強化するために、米国エネルギー省（DOE）と調整したもの。
- 重点分野ExpandQISEプログラムでは、物理学、工学、コンピューターサイエンスなどの分野の専門家を集め、QISE研究を推進する。プロポーザルは、次の分野のうち少なくとも1つに焦点を当てなければならない：量子基礎、量子計測と制御、共同設計と量子システム。
- また、教育および人材育成のための活動も含まれていなければならない。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | 米国2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	米国
プログラム名	Quantum Leap Challenge Institutes (QLCI)
公示機関	米国国立科学財団 (NSF)
発行年	2024年
予算	総資金2億～3億ドル ・ 各研究所は年間200万ドルから750万ドルを最長6年間受け取ることができる
期間	最長6年間
対象	量子分野で活動する研究機関

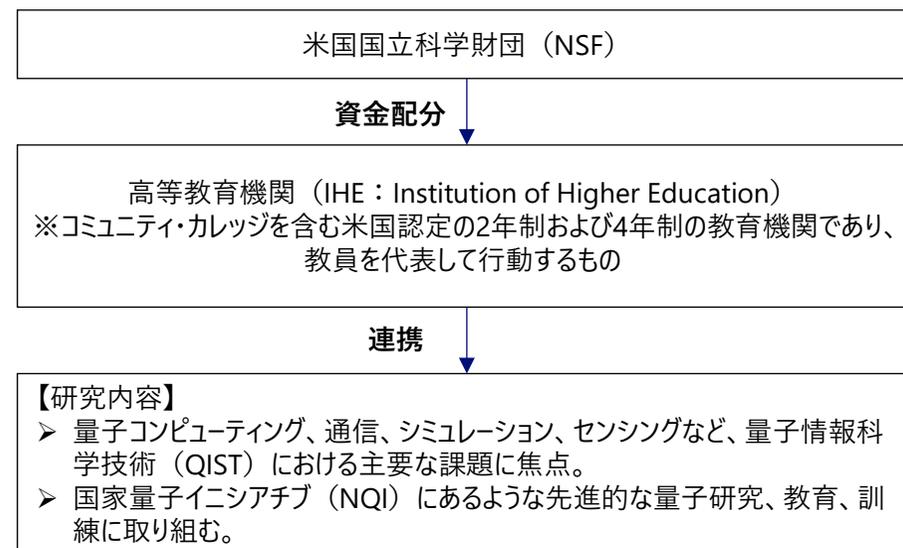
## 【公募要領の項目】

- プログラム要件の概要
- イントロダクション
- プログラム概要
- 受注情報
- 参加資格
- 提案書の作成と提出に関する指示
  - ・ 提案書作成要領
  - ・ 予算情報
  - ・ 期日
  - ・ Research.gov/Grants.gov の要件
- NSF向け提案書のプロセスおよび審査手順
  - ・ メリット・レビューの原則と基準
  - ・ 審査と選考プロセス
- 受注管理情報
  - ・ 受注のお知らせ
  - ・ 受注条件
  - ・ 報告要件
- 代理店連絡先
- その他の情報

## 概要

- ・ 多様な科学的、技術的、教育的取り組みを機関や分野を超えて組み合わせることによって、ブレークスルーを起こすことを目的としている。共同研究を促進し、教育や人材育成を行い、産業界や国際的なパートナーと連携する。
- ・ ネットワーキング、計算、シミュレーション、センシングなどの量子技術の発展に焦点を当てた学際的研究グループに資金を提供。これらの研究所はまた、研究、トレーニング、新しいカリキュラムを通じて、熟練した人材の育成を支援する。
- ・ 量子科学への過去の投資を基礎として、理論、実験、産業界とのコラボレーションに触れる機会を提供する。NSF の他の QIST イニシアチブと連携し、現在進行中の研究と人材育成に貢献する。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | 英国1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	EPSRC quantum technologies career acceleration fellowships
公示機関	英国研究・イノベーション機構（UKRI）
発行年	2024年
予算	1,400万 英ポンド
期間	3～5年間
対象	英国の若手研究者

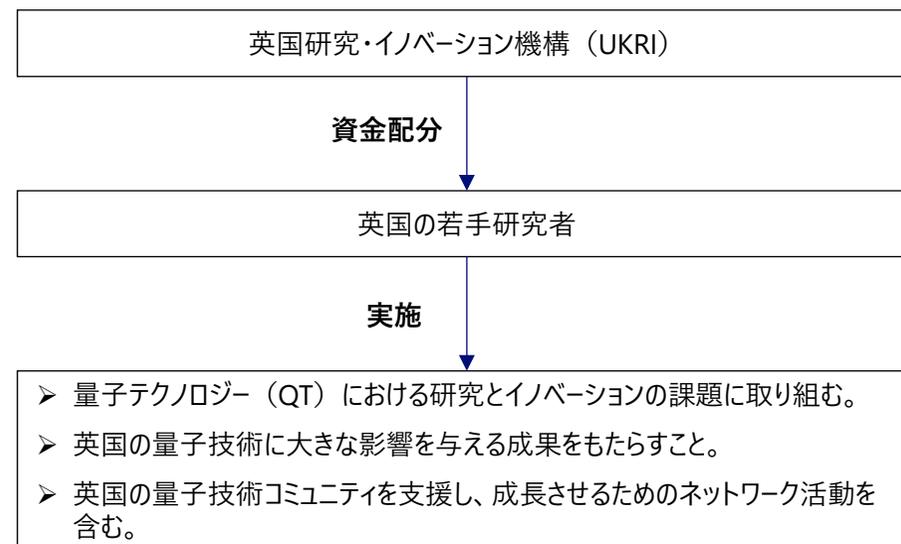
## 【公募要領の項目】

- |                   |              |                   |
|-------------------|--------------|-------------------|
| ○ 参加条件            | ○ 申請方法       | ○ 補足情報            |
| ・ 応募資格            | ・ 締め切り       | ・ 背景              |
| ・ 応募資格のない方        | ・ 個人のデータ     | ・ COVID-19による研究中断 |
| ・ 再応募             | ・ 要約         |                   |
| ・ 平等、多様性、インクルージョン | ・ コア・チーム     |                   |
| ○ 公募対象            | ○ 評価方法       |                   |
| ・ コンテキスト          | ・ 査定プロセス     |                   |
| ・ 資金提供の目的         | ・ 評価の原則      |                   |
| ・ 期間              | ・ 評価基準       |                   |
| ・ 利用可能な資金         | ○ 連絡先        |                   |
| ・ 助成対象            | ・ 申請に関するサポート |                   |
| ・ 助成対象外           | ・ お問い合わせ先    |                   |
|                   | ・ 機密情報       |                   |

## 概要

- ・ フェローシップ賞は、世界をリードするポジションを目指す高い潜在能力を持つ ECRのキャリアを加速させることを目的としている。
- ・ この賞の目的は以下の通りである。
  - 優秀な ECR が自身の研究プログラムを主導し、量子技術（QT）分野における独立した研究実績をさらに発展させるために、そのキャリアを加速させる。
  - 意欲的で斬新かつ創造的な質の高い研究プログラムを実施するフェローに資金を提供することで、英国の国際的な競争力を高める。
  - この研究分野における世界的リーダーの個人的かつ専門的なキャリア開発に資金を提供することで、英国の量子技術分野の人材を育成する。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | 英国2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	Quantum Missions pilot: Quantum Computing and Quantum Networks
公示機関	Innovate UK (英国研究・イノベーション機構下の評議会)
発行年	2024年
予算	950万ポンド
期間	8～12か月間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業（大企業・中小企業問わない）</li> <li>学術機関（単独での指導・活動は不可）</li> <li>慈善団体、非営利団体</li> <li>公的機関</li> <li>研究・技術機関（RTO: Research and Technology Organisations）</li> </ul>

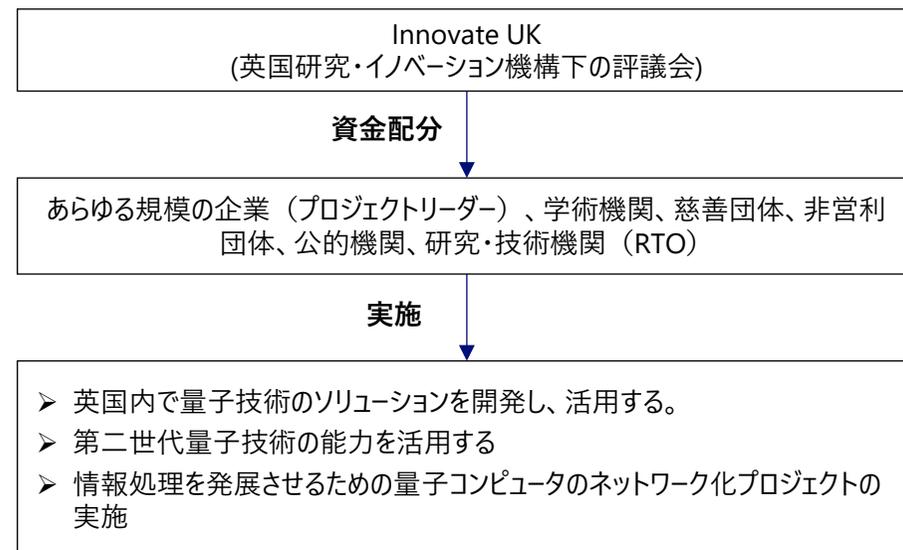
## 【公募要領の項目】

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金概要</li> <li>・ 資金タイプ</li> <li>・ プロジェクト規模</li> <li>・ アクセシビリティとインクルージョン</li> </ul> </li> <li>○ 応募条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去の申請</li> <li>・ 補助金管理</li> <li>・ 資金調達</li> </ul> </li> <li>○ スコープ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご提案内容</li> <li>・ 具体的なテーマ</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究カテゴリ</li> <li>・ 助成対象外プロジェクト</li> <li>○ 日付 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加方法</li> <li>・ 開始前</li> <li>・ プロジェクト詳細</li> <li>・ 応募に関する質問</li> <li>・ 財務状況プロジェクトへの影響</li> <li>・ 評価</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補足情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 背景と詳細情報</li> <li>・ 研究・開発・革新合理化スキーム情報</li> <li>・ 説明会の記録とスライド</li> <li>・ 申請が成功した場合</li> <li>・ 不合格の場合</li> <li>・ プロジェクトパートナーを探す</li> <li>・ Innovate UK Business Growthによる中小企業支援</li> <li>・ イノベーションの保護</li> <li>・ データの共有</li> <li>・ お問い合わせ</li> </ul> </li> </ul> |
|--|--|--|

## 概要

- この公募の目的は、量子コンピューティング（QC）および量子ネットワーク（QN）技術を加速させ、その能力を向上させ、商業化と普及を妨げる技術的障壁を取り除くことである。
- 参加者は、これらの領域における具体的な技術的課題や限界を特定し、それらに対処するための革新的なプロジェクトを提案することが求められる。
- QCプロジェクトでは、ハードウェア開発に重点を置く必要があり、先進的な量子コンピューティングのテストベッドの構築や既存のテストベッドの大幅な改良を含む可能性がある。量子コンピュータをネットワーク化し、情報処理を進展させるなど、両テーマが交差するプロジェクトが特に奨励される。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | 英国3件目

## 研究開発プログラムの概要

国	英国
プログラム名	Japan-UK Joint call for Quantum Technologies for Innovation
公示機関	日本側：科学技術振興機構（JST） 英国側：工学・物理科学研究会議（EPSRC）（英国研究・イノベーション(UKRI)傘下の評議会）
発行年	2025年
予算	（英国）150万ポンド、（日本）1件当たり3億7,000万円
期間	最長5年間
対象	日英の研究者、大学、独立行政法人、公益法人、等

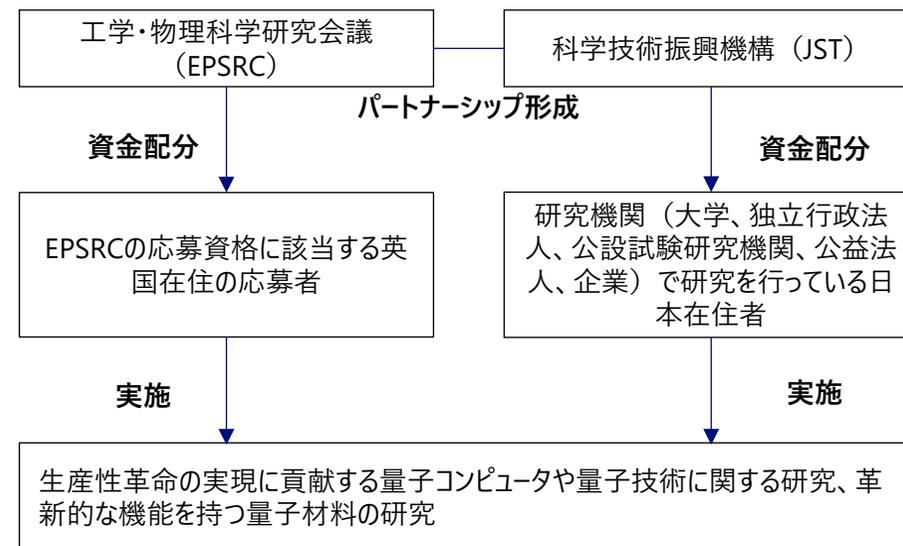
## 【公募要領の項目】

- 参加条件
  - ・ 応募資格
  - ・ 応募資格のない方
  - ・ 海外からの応募者
  - ・ 再応募平等
  - ・ 多様性、インクルージョン
- 公募対象
  - ・ 目的
  - ・ 募集テーマ
  - ・ 募集範囲
  - ・ 期待される成果
  - ・ 期間
  - ・ 募集資金
  - ・ 期待される成果
  - ・ 助成対象（英国からの申請者のみ）
  - ・ 助成対象外（英国からの申請者のみ）
  - ・ スキルと才能の支援（英国の申請者のみ）
- ・ 信頼される研究 & イノベーション（TR&I）
- ・ JSTの安全な研究とリスク管理責任あるイノベーション
- 応募方法
  - ・ 日本からの応募者のみへの適用
  - ・ UKRIファンディングサービス（英国からの申請者のみ）
  - ・ 参考文献
  - ・ 人工知能
  - ・ JSTファンディングサービス（日本からの応募者のみ）
  - ・ 応募締切
  - ・ 個人情報
  - ・ 機微情報
  - ・ 成果の公表
  - ・ 概要
  - ・ コアチーム
  - ・ 日本からの応募者
- ・ 応募に関する質問
- 評価方法
  - ・ 査定プロセス
  - ・ 評価の原則
  - ・ ピアレビューにおける生成的AIの活用
  - ・ 共同基金とのデータ共有
  - ・ 評価分野
  - 連絡先
    - ・ 申請に関するサポート
    - ・ お問い合わせ先
    - ・ 機密情報
    - 補足情報
      - ・ 背景
      - ・ 研究とイノベーションへの影響
      - ・ COVIDによる研究の中断
      - ・ 19補助金追加条件（GAC）

## 概要

- ・ 本プログラムは、量子技術の開発に焦点を当てた国際協力を促進することを目的としている。
- ・ 以下の1つ以上の分野に関連する提案が奨励されるが、これに限定されるものではない：
  - 超高速・超並列情報処理を可能にする量子通信・量子コンピューティングの研究
  - 既存の技術を超える精度のセンシングや計測などの量子技術の開発
  - 高性能材料を用いた革新的量子エレクトロニクススの創出

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | イタリア1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	イタリア、イスラエル
プログラム名	Italy-Israel Scientific Research Program CALL FOR JOINT PROJECT PROPOSALS For the Years 2024-2026
公示機関	イタリア側：イタリア外務・国際協力省（MAECI） イスラエル側：イスラエル革新・科学技術省（MOST）
発行年	2024年
予算	最大資金110万ユーロ
期間	3年間
対象	エレクトロニクス・量子技術、精密光学、健康な土壌のための技術、水技術の分野で研究活動を行うイタリアの国公立・私立大学、イタリアの法律に基づく国公立・私立（非営利）研究機関・センター、および、イスラエルの認定高等教育機関、研究機関、民間企業の下請け業者

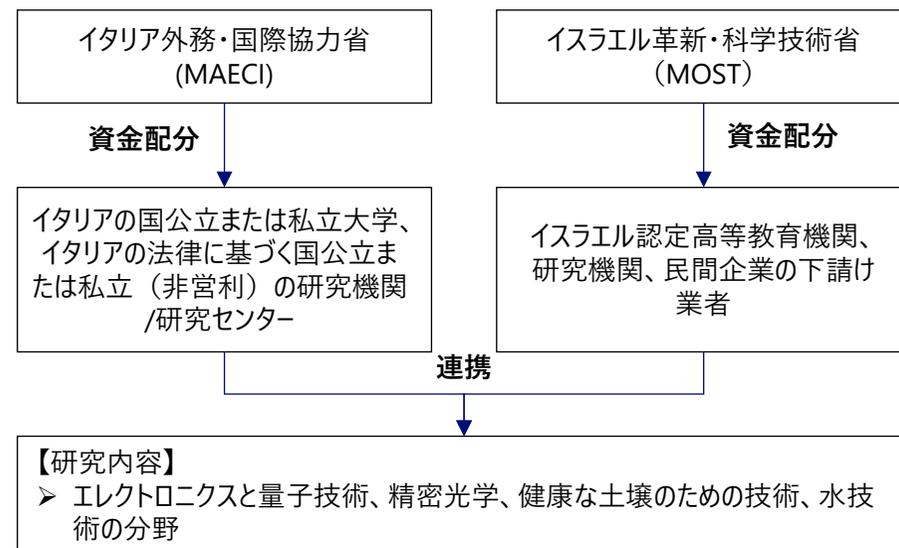
## 【公募要領の項目】

- 主な協力分野
- 協力形態
- プロジェクトの資金レベルと期間
- 参加資格
- 提案書の提出
- 積立費用
- 資金調達の更新
- 共同プロポーザルの書き方
- プロポーザル審査
- 結果の通知
- 契約、支払い、報告書
- 雑則
- 追加情報

## 概要

- 当該プログラムの目的は、研究ネットワークの構築、協力関係の強化、知識交換の促進によって、イタリアとイスラエルの科学技術協力の発展を支援すること。
- 共同研究では、次世代重力波検出器、健康な土壌のための技術（新規肥料、土壌移植、土壌マイクロバイオームなど）、飲料水処理、工業用水・下水処理、海水淡水化などの水技術など、フロンティア応用のための精密光学、エレクトロニクス、量子技術などの主要な協力分野に沿ったものでなければならず、基礎科学または技術移転に焦点を当てたものでなければならぬ。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | イタリア2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	イタリア
プログラム名	Atom, molecular platform for quantum technologies
公示機関	国立量子科学技術研究センター（NQSTI）
発行年	2024年
予算	119万ユーロ
期間	2年間
対象	量子科学技術の分野で活動している公的または民間の研究機関

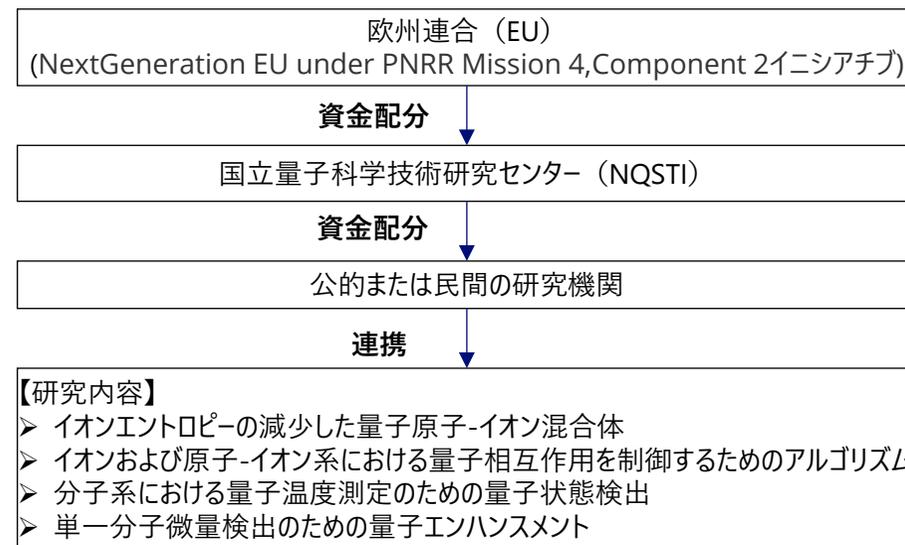
## 【公募要領の項目】

- 申請の目的と範囲
- はじめに
- 募集の目的
- 財務基金
- 参照の法的根拠
- 一般要件
- 対象者
- 介入の範囲
- 介入の特徴
- 財政的側面、期間、実施条件
- 介入の資格要件
- 対象経費
- 認められる譲歩
- 付加性
- プレゼンテーションと評価方法
- 義務、契約、手続き
- 手続きの責任者
- データ処理
- 知的財産
- 通知の変更
- 参考文献と添付ファイル

## 概要

- 当該プログラムは量子科学技術の分野で活動し、NQSTIの目標達成に関連する専門知識を提供する公的機関や民間団体との研究活動を支援し、協力を促進することを目的としている。
- 量子科学技術の研究と協力を支援するもので、以下のようなプロジェクトに資金を提供する：
  - イオンエントロピーの減少した量子原子-イオン混合体
  - イオンおよび原子-イオン系における量子相互作用を制御するためのアルゴリズム
  - 分子系における量子温度測定のための量子状態検出
  - 単一分子微量検出のための量子エンハンスメント

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | カナダ1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	カナダ、英国
プログラム名	NSERC - UKRI call for proposals on quantum technologies
公示機関	カナダ側：カナダ自然科学・工学研究評議会（NSERC） 英国側：英国研究・イノベーション（UKRI）の工学・物理科学研究評議会（EPSRC）、科学技術施設評議会（STFC）
発行年	2024年
予算	カナダの学術チームに年間5万～25万カナダドル 英国の資金総額は400万ポンド
期間	2年間
対象	量子センシングと量子通信の分野で活動するカナダの大学研究者と英国の学術研究機関の研究者

## 【公募要領の項目】

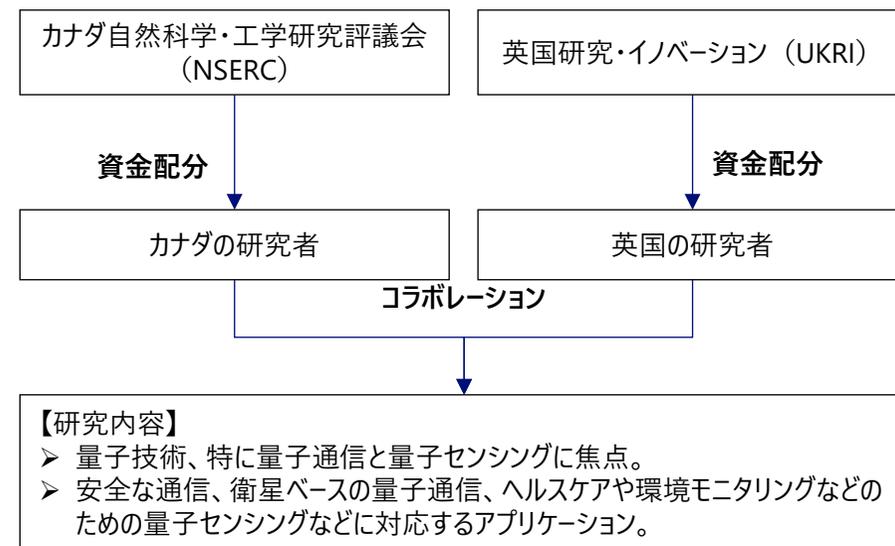
- |  |                  |   |
|--|------------------|---|
| ○ 事業概要   | ○ 審査             | ○ NSERCへの変更の連絡  |
| ○ 調査内容   | ○ 参加資格           | ○ 助成金の延長  |
| ○ 応募条件   | ○ 財務評価           | ○ 情報源   |
| ○ 研究の保護<br>(Safeguarding Your Research Portal) | ○ 資金調達決定         | ○ 申請書類等   |
| ○ 資金提供について                                     | ○ 資金調達とプロジェクトの開始 | ○ 応募方法および資料   |
| ○ カナダでの適用経費                                    | ○ 賞状、諸条件         | ○ 補足ガイドライン  |
| ○ 応募方法   | ○ 資金の送金と開始日      | ○ 申請条件  |
| ○ 公平性、多様性、インクルージョン                             | ○ 研究契約と知的財産      | ○ 採択 (Award)  |
|  | ○ 研究プロジェクト期間中    | ○ 追加情報  |
|  | ○ NSERCへの協力      | ○ 三機関による財務管理<br>(Tri-agency financial administration) |
|  | ○ 進捗状況の報告        | ○ 連絡先   |

出所：カナダ自然科学・工学研究評議会（NSERC）よりNRI作成

## 概要

- 量子技術、特に量子通信と量子センシングにおけるカナダと英国の研究者の共同研究を促進することを目的としている。
- 上記分野における課題への取り組みとアプリケーションの探求に重点を置く。想定されるアプリケーションには、安全な通信、衛星ベースの量子通信、ヘルスケアや環境モニタリングなどのための量子センシングなどがある。
- 提案は、両国の国家量子ミッションに沿ったものでなければならない。これらの重点分野以外の提案は除外される可能性がある。
- 英国の場合は資金提供機関は英国政府の国際科学パートナーシップ基金（ISPF）で、科学技術革新省（DSIT）が管理している。UKRIは、英国を代表する研究・イノベーション機関のコンソーシアムにおける主要な実施パートナーの1社として関与している。
- カナダの場合はNSERCが資金提供機関である。

## 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | カナダ2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	カナダ、米国
プログラム名	NSERC-National Science Foundation – Collaboration on quantum science and artificial intelligence
公示機関	カナダ側：カナダ自然科学・工学研究評議会（NSERC） 米国側：米国国立科学財団（NSF）
発行年	2021年
予算	NSERCのアライアンス助成金：年間2万～100万カナダドル
期間	1～5年間
対象	人工知能と量子科学の分野で研究活動を行うカナダを拠点とする研究者、米国を拠点とする研究者

#### NSERC（カナダ）

##### 【公募要領の項目】

- 概要
- 背景
- 応募可能な人物
- 応募方法
- プロジェクトの資金と期間
- 評価
- 利用条件
- リソース

#### NSF（米国）

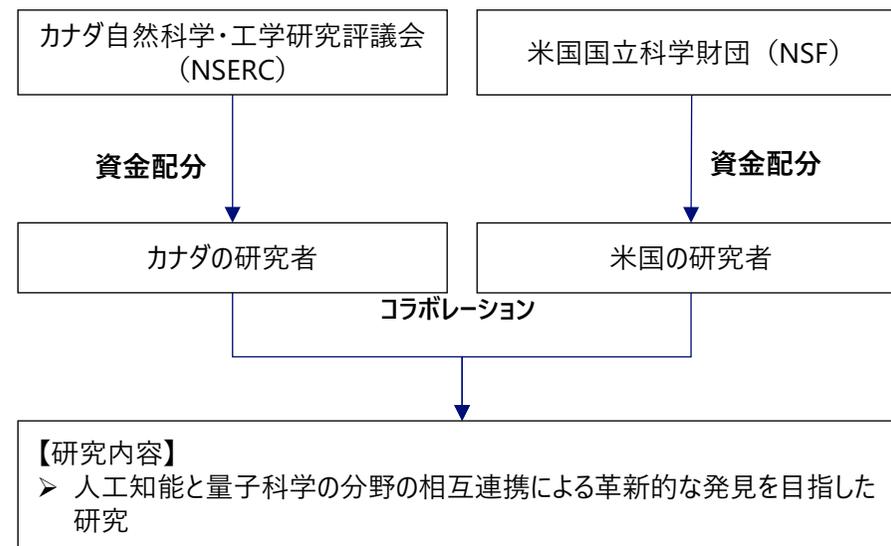
##### 【公募要領の項目】

- 提案書の準備と提出
- 資金調達の決定
- 締め切り
- ガイドライン
- 追加資料
- 受注後の考慮事項

#### 概要

- 当該プログラムは、特に人工知能（AI）と量子科学の分野で、相互の関心分野における米国とカナダの協力を強化するために設立したものである。
- 当該イニシアチブは単年度のプログラムではなく、アーカイブ化されるまで有効。
- 当該プログラムの目的は以下のとおり。
  - 国際的な研究協力の障壁を減らす。
  - 米国とカナダの研究者による共同提案の提出を促進する。
  - AIや量子科学における革新的な発見を支援する。
  - NSFを主導機関とする合理的な審査プロセスの確保。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | ドイツ1件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ
プログラム名	Japanese-German Joint Call for Proposals on “Quantum Technologies”
公示機関	ドイツ側：ドイツ研究振興財団（DFG） 日本側：科学技術振興機構（JST）
発行年	2024年
予算	165 万ユーロ
期間	5年間
対象	ドイツの研究機関で働く、あらゆる分野の有資格研究者（原則として博士号保持者）

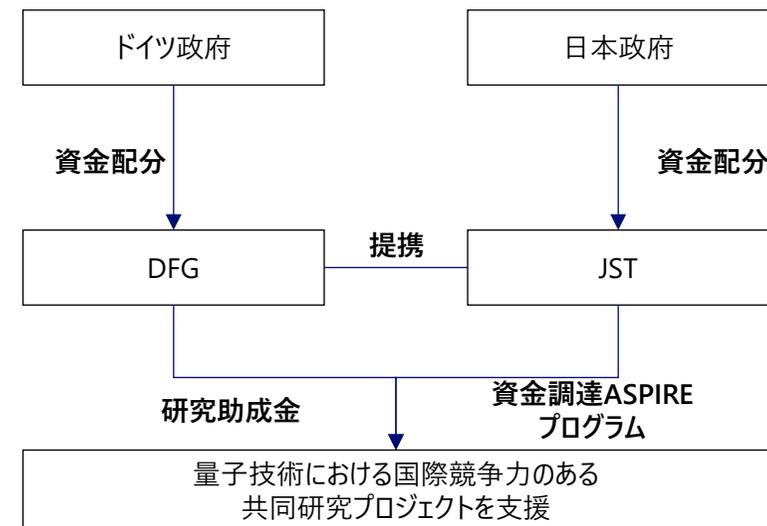
#### 【公募要領の項目】

- 研究分野
- プロジェクト提案書の提出
- 成果の通知
- 適正な研究実施
- 公平性と多様性
- その他の情報
- 連絡先

#### 概要

- この共同公募により、JSTとDFGは日独間の科学研究における協力関係を促進するために協力する。
- 本公募は、日独両国の新たな重点分野である量子テクノロジー分野における二国間研究プロジェクトを対象とするものである。
- JSTとDFGに提出されたプロポーザルは共同で評価され、採択されたプロジェクトは両機関によってそれぞれ支援される。
- 日本を拠点とする研究チームはJSTのASPIRE（Adopting Sustainable Partnerships for Innovative Research Ecosystem）プログラムを通じて、ドイツを拠点とする研究チームはDFGの標準研究助成金（「Sachbeihilfe」）を通じて支援される。

#### 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | ドイツ2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	ドイツ
プログラム名	Quantum International – International Cooperation in Quantum Technologies
公示機関	連邦教育研究省（BMBF）（ドイツ） + 国際パートナー1社
発行年	2024年
予算	少なくとも10万ユーロ
期間	3年間
対象	大学、研究・科学機関、および同様の組織

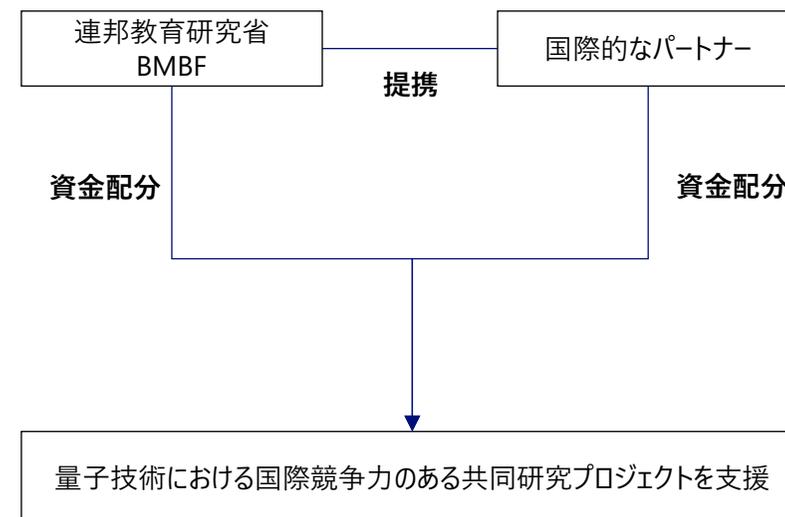
#### 【公募要領の項目】

- はじめに
- 資金調達の対象
- プロジェクト資金調達のための特別な前提条件
- 手続き

#### 概要

- ドイツは、欧州内外の価値あるパートナーとの、対等なパートナーとしての国際協力の強化を目指している。そのため、ドイツ連邦教育研究省は、量子技術に関する国際的なプロジェクト提案を定期的に公募している。
- プロジェクト資金提供のための特別な前提条件は以下の通りである：通常、2～3カ国が参加し、各国は国内のパートナーに資金を提供する。BMBFはドイツのパートナーに資金を提供する。資金はパートナー間で均等に配分されることが理想であり、1つの参加国のパートナーに70%以上の資金が配分されることはない。

#### 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | フランス1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	French Quantum Sensors Call for Projects
公示機関	フランス国立研究機構（ANR）
発行年	2023年
予算	50万～80万ユーロ/件
期間	36～48か月間
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 研究所、学術研究チーム</li> <li>• フランスの大学</li> <li>• 産業団体</li> <li>• 科学技術パートナー</li> </ul>

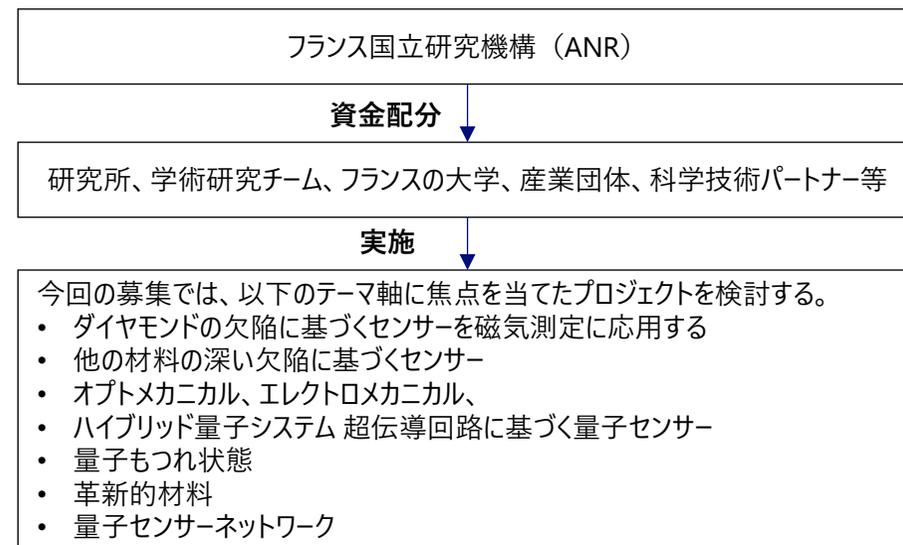
## 【公募要領の項目】

- 背景と目的
  - コンテキスト
  - 量子センサープロジェクト募集の目的と特徴
  - 量子センサープロジェクト募集のテーマ軸
- 期待される提案の特徴
  - 提案の特徴
  - コンソーシアムの特徴
  - ANRのリソースの特徴
- 審査プロセス
  - 預託条件
  - 応募資格
  - 評価と結果
- 資金の手配
  - 資金提供プロジェクトの科学的モニタリング
  - プロジェクトを提出する研究者のコミットメント
  - 倫理と科学的誠実性
  - 男女平等
  - 科学出版物研究データ、ソースコード、ソフトウェア
  - 科学・技術・産業文化の振興
  - 遺伝資源および伝統的知識へのアクセス
  - 国家の科学的・技術的ポテンシャルを保護する装置
- 持続可能な開発目標  
GDPRおよび文書通信に関する規定
- 個人データ
- 文書の通信

## 概要

- この公募は、ダイヤモンドの格子欠陥に基づく量子センサー、磁力測定への応用、他の材料（SiC、Si、GaN、hBN）の欠陥、オプトメカニカル、エレクトロメカニカル、ハイブリッド量子システム、その他を対象とする質の高い研究プロジェクトに資金を提供することを目的とする。
- 構成メンバーの条件として、各プロジェクトは、少なくとも1つの研究機関や知識普及機関を含む、最低2つのパートナーで構成されなければならない。

## 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | フランス2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	フランス
プログラム名	NSF-French National Research Agency (ANR) Quantum Information Science and Engineering
公示機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国国立科学財団 (NSF)</li> <li>・ フランス国立研究機構 (ANR)</li> </ul>
発行年	2023
予算	米国：60万米ドル フランス：明記されていないが、ANRはフランスを拠点とする研究者に資金を提供する。
期間	最長48カ月
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NSFの助成対象機関に所属する米国の研究者</li> <li>・ ANRの助成金対象機関に所属するフランスの研究者</li> </ul>

#### ANR (フランス)

##### 【公募要領の項目】

- 概要米国との協力の背景と目的
- 研究優先順位
- プロポーザルの提出
- 応募資格
- 評価
- 資金提供規定
- カレンダー

#### NSF (米国)

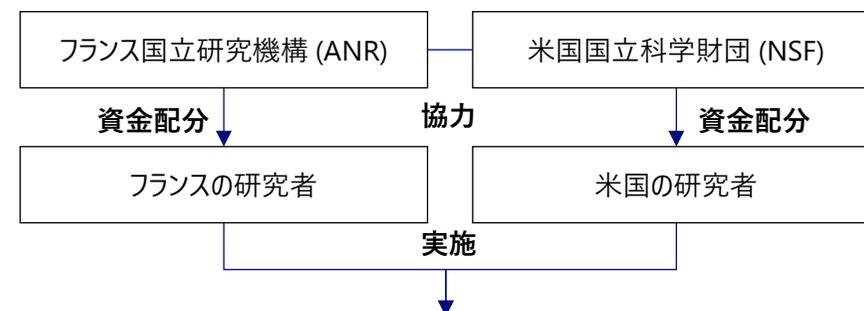
##### 【公募要領の項目】

- プロポーザルの準備と提出
- 提出期限
- ガイドライン
- 追加書類
- メリット審査
- 資金調達の決定
- 受賞後の考慮事項
- データ保護

#### 概要

- ・ 量子科学技術基盤を強化するために、高付加価値で高い知識・技術基盤を開発することを目的とする。
- ・ また研究開発やイノベーション・プロジェクトに内在するリスクをカバーするために、欧州の資金源に加えて国の資金源を利用する必要がある革新的なプロジェクト・リーダー、特に新興企業、スタートアップ企業、革新的な中小企業を支援する。

#### 構成図



プロジェクトは量子技術に焦点を当て、科学的テーマに対応する：

- ・ 凝縮物質と希薄物質の物理学
- ・ 生物の生化学と化学
- ・ 生体高分子の構造と構造-機能関係の特性評価
- ・ 遺伝学、ゲノミクス、RNA
- ・ 分子・細胞神経科学 - 発生神経生物学
- ・ バイオメディカルイノベーション
- ・ デジタル技術の基礎：情報技術、自動化、信号処理
- ・ 量子テクノロジー
- ・ 数学
- ・ 感染症と環境
- ・ センサー、イメージャー、計測機器
- ・ ヘルスケア技術



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | EU1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	EU
プログラム名	HORIZON-JU-Chips-FPA-QAC-1
公示機関	欧州委員会および半導体共同事業体 (Chips JU)
発行年	2024年
予算	5,000万ユーロ
期間	言及なし
対象	研究機関、大学、研究技術機関（RTO）、産業界

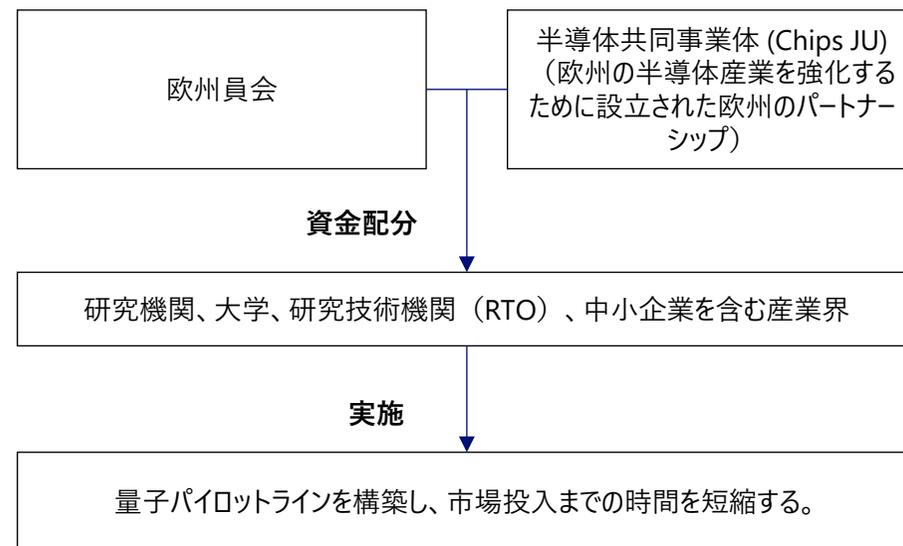
## 【公募要領の項目】

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ○ 一般情報       | その他             |
| ○ トピックの説明    | ○ コンテキスト        |
| ○ トピックの更新    | ○ 期待される成果       |
| ○ トピックの条件と文書 | ○ スコープ          |
| ○ 予算概要       | ○ 参加資格          |
| ○ サポートを受ける   | ○ STEPおよび主権シール  |
|              | ○ 募集に適用される特定の規定 |
|              | ○ その他の一般規定      |

## 概要

- 本募集では、量子チップの製造が可能な新しいパイロットラインの開発、または既存のパイロットラインを量子チップの製造に適応・拡張するための提案を募集する。
- 本公募の目的は、革新的な量子チップ開発のための戦略的かつ野心的な研究開発イニシアチブを確立、調整、実施し、その後パイロットラインを構築し、展開することである。またChips JUと産業界、研究機関、量子技術機関のコンソーシアムとの間の安定的かつ構造化された長期的パートナーシップを確立するパートナーシップ協定（FPA\_Framework Partnership Agreement）を通じて実施される2つ以上のパイロットラインを支援することも目的とする。
- 提案には、学术界、中小企業や新興企業を含む産業界、既存の量子イニシアチブを統合する強固な協力体制を示すことが求められる。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | EU2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	EU
プログラム名	Quantum Flagship Program FET Flagship on Quantum Technologies - FETFLAG-03-2018
公示機関	欧州委員会
発行年	2018 – 2021 (ランプアップ期間)
予算	20億ユーロ
期間	各プロジェクト期間：3年間 プログラム期間：10年間
対象	欧州の研究者、業界大手

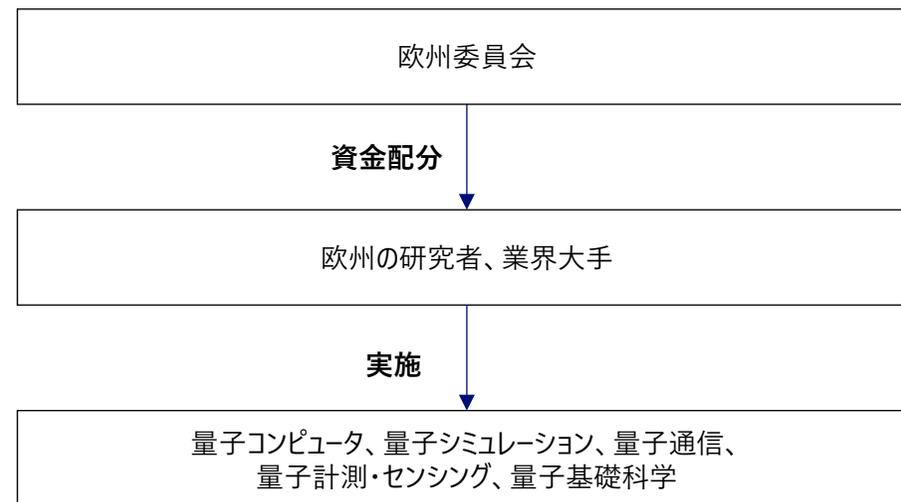
## 【公募要領の項目】

- 一般情報
- トピックの説明
- トピックの更新
- トピックの条件と資料
- 予算概要
- 提出開始
- トピックQ&A
- サポートを受ける
- 最新情報
- このトピックで資金提供されたプロジェクト

## 概要

- 量子フラッグシップ・プログラムは、機能する量子コンピュータの構築、超安全通信システムの開発、量子センシング技術の飛躍的進歩など、解決不可能な研究課題に取り組む。
- 本フラッグシップの目的は、知識、技術、オープンな研究インフラを提供する欧州のエコシステムを構築し、欧州で世界をリードする知識集約型産業を発展させることである。
- 同プログラムは、Horizon 2020研究枠組み計画の下、21カ国から20のプロジェクトに資金を提供している。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | オランダ1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	Quantum Delta NL Cross-border projects for Europe
公示機関	Quantum Delta NL
発行年	2023年
予算	1,000万ユーロ
期間	4年間
対象	オランダの中小企業、大企業、SURF（オランダの教育・研究機関のIT協同組合）が応募できる

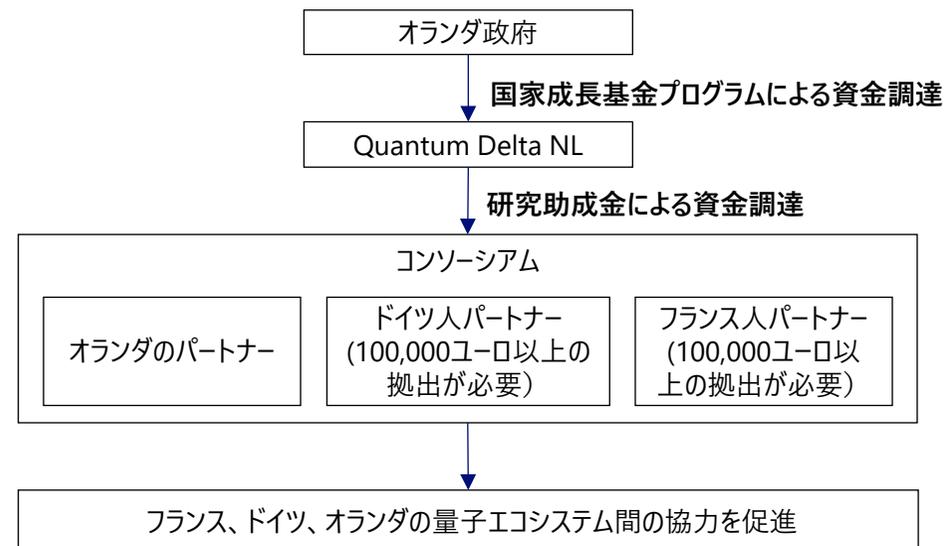
## 【公募要領の項目】

- 背景
- 予算とスケジュール
- 目的と範囲
  - ・ソフトウェア開発
- 期間
- オランダの助成金申請対象者
- 費用適格性
  - ・人件費
  - ・その他費用
- 締切提案
  - ・国内応募
- 提案評価
  - ・入場可能性チェック
  - ・ランキング
  - ・最終選考
- 寄付条件
  - ・支払
  - ・報告
  - ・共同研究契約と知的財産
  - ・倫理的側面
  - ・マニフェスト

## 概要

- Quantum Delta NL は、量子技術に焦点を当てた国家成長基金プログラムである。Quantum Delta NL（QDNL）は、オランダの量子産業の成長を促進し、欧州のエコシステムの成功に貢献することを目的としている。
- この提案募集は、フランス、ドイツ、オランダの量子エコシステム（およびすべての欧州パートナー）が、破壊的な可能性を秘めた高付加価値の知識や技術構成要素を開発する欧州の取り組みに参加することを旨とし、協力を促進することを目的としている。

## 構成図



## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | オランダ2件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オランダ
プログラム名	Eureka Call Applied Quantum Technologies
公示機関	Eureka ( 団体 )、オランダ企業庁 (RVO) (オランダ)
発行年	2025年
予算	150万ユーロ
期間	3年間
対象	量子応用技術分野のプロジェクト提案を行う企業および知識機関

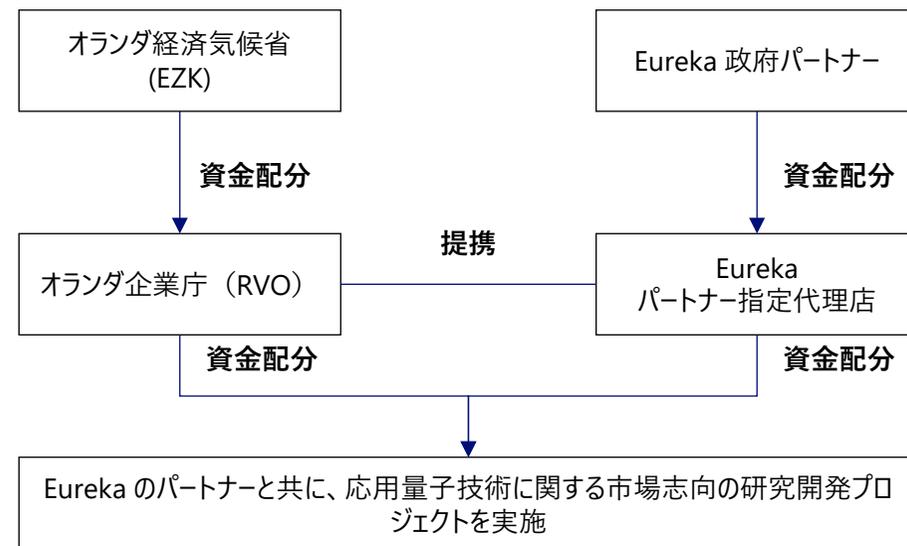
## 【公募要領の項目】

- 参加国
- 目的
- 対象
- テーマ
- 予算と補助金の上限
- 参加条件
- 募集に関するウェビナー
- プロジェクト提案書の提出
  - ・ 国際Eureka申請
  - ・ オランダでの申請
  - ・ 相手国での申請
- 依頼後
- プロジェクトの進捗状況
- 判定依頼
- 詳細情報

## 概要

- Eureka call Applied Quantum Technologiesは、Eureka参加国であるベルギー（ワロニアおよびフランダース）、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、イスラエル、リトアニア、オーストリア、シンガポール、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、トルコ、オランダ、英国のイニシアティブである。
- 経済気候省（EZK）傘下のオランダ国立企業局は、この公募により、オランダの企業や研究機関が、上記の国々の革新的なパートナーとともに、量子技術の応用に関する市場志向の研究開発プロジェクトを実施することを奨励している。プロジェクト参加者は、参加各国政府から財政支援を受ける。この呼びかけにより、参加国は経済成長と経済的、戦略的、社会的問題の解決策を刺激したいと考えている。

## 構成図





## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | オーストラリア1件目

## 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア
プログラム名	Critical Technologies Challenge Program Round 2
公示機関	オーストラリア産業科学資源省(DISR)
発行年	2025年
予算	359億2,400万豪ドル
期間	最長 6か月間 (第1段階のフェージビリティ補助金の場合) 最長 15か月間 (第2段階の実証試験補助金の場合)
対象	オーストラリアの産業界のパートナーまたは研究機関

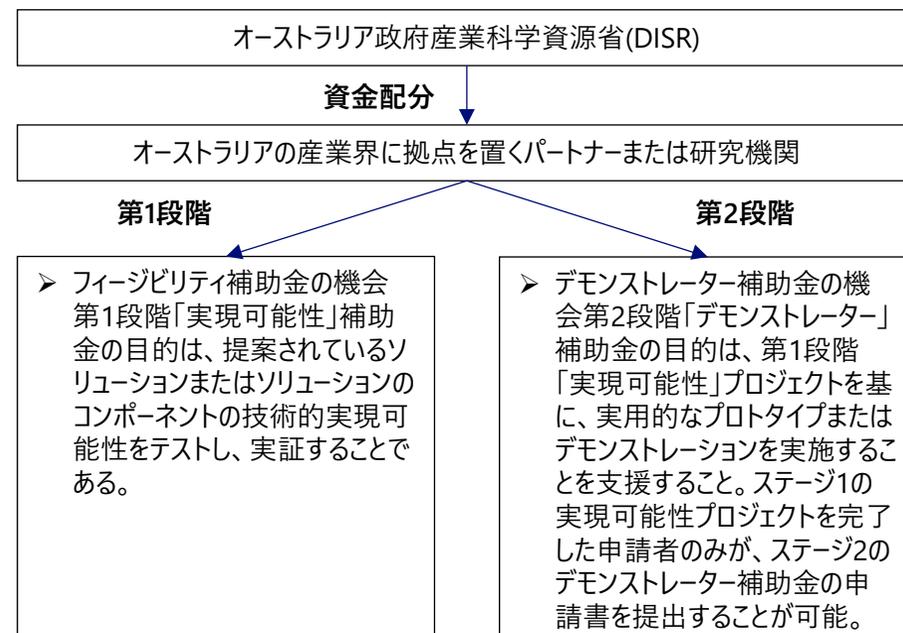
## 【公募要領の項目】

- はじめに
- 助成プログラムについて
- 課題
- 助成金額と助成期間
- 応募資格
- 助成金の用途
- 審査基準
- 申請方法
- 補助金の選考プロセス
- 申請結果の通知
- 補助金の採択
- 補助金の発表
- 補助金活動のモニタリング
- 信頼性
- 用語集

## 概要

- クリティカル・テクノロジー・チャレンジ・プログラム (第2ラウンド) は、量子技術や先端技術を用いて国家的課題に取り組むコンソーシアムにとって重要な機会である。
- このプログラムでは、4つの主要課題、すなわち、侵入害虫、疾病、貨物検査の検出を改善することによるバイオセキュリティの強化、先住民の健康状態の改善と医療技術へのアクセスの向上、輸送ルート、物流、サプライチェーン・オペレーションの最適化、エネルギー・ネットワークの性能、持続可能性、セキュリティの強化に焦点を当てている。

## 構成図





### 3. 各国公募要領の整理・比較 | 1)各国の公募要領調査結果

## 量子関連技術 | オーストラリア2件目

#### 研究開発プログラムの概要

国	オーストラリア
プログラム名	Australian Centre for Quantum Growth program
公示機関	オーストラリア産業科学資源省(DISR)
発行年	2023年
予算	最大1,850万ドル
期間	4年間
対象	大学、研究センター、量子関連企業

#### 【公募要領の項目】

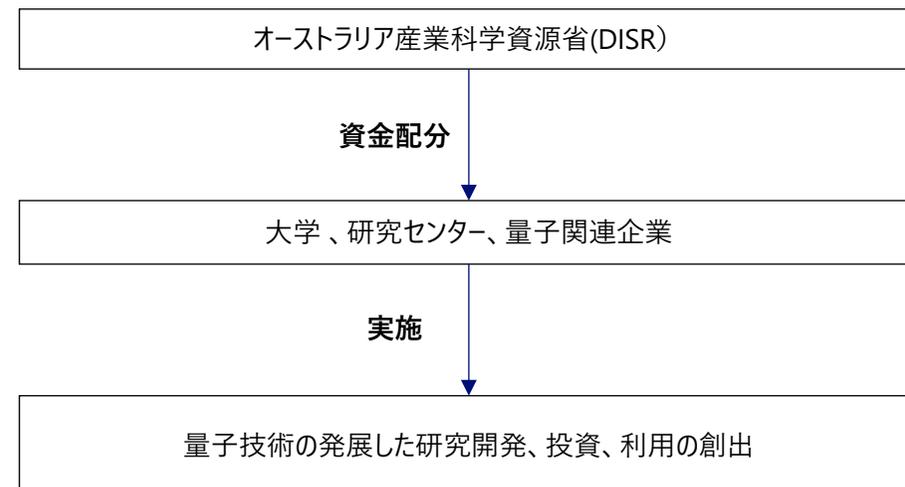
##### ガイドライン

- はじめに
- 助成プログラムについて
- 参加資格
- 助成金の用途
- 応募方法
- 補助金選考プロセス
- 申請結果の通知
- 補助金申請の成功
- 助成金の発表
- 補助金活動のモニタリング方法
- 信頼性
- 用語集

#### 概要

- 産業の成長を促進し、共同研究を支援し、世界の量子リーダーとしてのオーストラリアの地位を強化するために、産業成長活動を行うセンターを設立するための資金を提供する。
- このプログラムは、研究開発の連携と調整を強化し、産業界主導のソリューションに焦点を当てることで、豪州の量子産業の成長を加速し、豪州の国際競争力を高める。

#### 構成図



## 3-2. 比較結果

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | プロジェクト参加者に関する要件

## 参加者

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>各研究者は、各年度の締切日までに提出されたプロポーザルに、PI（主任研究員）、共同主任研究員（co-PI）、プロジェクト・ディレクター（PD）、シニア／キーパーソン、またはコンサルタントとして、2件まで参加することができる。</li> <li>共同研究計画には、共同主任研究員（co-PI）、シニア／キーパーソン、コンサルタントの役割を含めなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームの適格なメンバーが、提案書中の主担当者として指名されなければならない。これは主任研究員である必要はない。この担当者が入札を提出し、申請中および採択後の RAi UK とのすべての連絡窓口となる。</li> <li>PI（主席研究者・管理者）の条件は、英国に居住し、条件の少なくとも1つを満たしていることが必要となる。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>各国に主任研究者（PI）が必要： <ul style="list-style-type: none"> <li>米国：研究代表者（PI）はNSFを通じて申請。NSFの資格要件を満たしていること。</li> <li>イタリア：研究代表者（PI）はMUR経由で申請</li> </ul> </li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任研究者（PI）についての明確な言及はないが、申請にはプロジェクト・マネージャーとAIに精通した主要な人材が必要。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト・コーディネーターは、共通のプロジェクト開始日を定め、プロジェクト活動の実施、資金、知的財産権（IPR）を管理し、プロジェクトの完了やコンプライアンスに不利となる可能性のある紛争を回避するために、コンソーシアム契約を作成する責任を負う。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>フランスとカナダの研究者は、共同で科学プロジェクトを準備しなければならない。それぞれの国のチームは、国内の科学コーディネーターを任命しなければならない。コーディネーターは、カナダの場合はPA（主申請者）、フランスの場合はPI（主任研究員）となる。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募者は、プロジェクトを成功裏に実施するためのノウハウ、資格、リソースを有し、与えられた役割に貢献できる者でなければならない（同程度の規模と性質のプロジェクトにおける十分な経験を含む）。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンソーシアムは、少なくとも1名の主申請者（提案されたプロジェクトリーダー）、1名の共同申請者（技術的なプロジェクトリーダー）、1名の協力パートナーおよび／または共同出資者で構成されなければならない。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のオーストラリア人パートナーが参加する共同申請も、主任申請者がプロジェクトの主要な推進者であり、申請資格がある場合に限り認められる。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | プロジェクト参加者の所属機関に関する要件

## 所属機関

米国

- 米国で認定された高等教育機関（IHE）であること。
- 独立系研究所、博物館、専門学会などの非営利・非学術団体であること。

英国

- プロジェクト・パートナーは、英国内外の産業界、学術界、第三セクター、政府機関（EU域内のパートナーを含む）であること。

イタリア

- イタリア人PIは、適格研究機関に所属していなければならない。

カナダ

- 営利事業（少なくとも2年間営業し、カナダで法人化され、少なくとも1人のフルタイム労働者を雇用している）。
- 非営利団体（大学、ビジネスアクセラレーター、先住民組織、自治体、州企業）。
- カナダを拠点とするPAは、NSERC、SSHRC、またはCIHRの資金を受給できる研究者でなければならない。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 経営難に陥っている企業は、ANRの資金援助を受ける資格がない。
- NSERCの資格要件を満たす大学の研究者は、共同申請者または共同研究者として参加することができる。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | プロジェクト参加者の履歴書の提出の要否

履歴書	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 明確な記載はないが、補足資料としてプロジェクト担当者とパートナー機関のリスト、シニア／キーパーソンとその専門知識の記載を義務付けている。</li> </ul>
	英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 申請者は、Résumé for Research and Innovation (R4RI)の書式を使用し、プロジェクト・リーダーが持っている関連スキルの範囲と、該当する場合は、チーム（プロジェクトおよびプロジェクトを共同でリードする研究者、技術者、専門家、パートナーなど）が持っているスキルの範囲と、それが提案された研究の実現にどのように役立つかをアピールする必要がある。</li> </ul>
	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 明確には要求されていないが、能力と専門性が評価基準となる。</li> </ul>
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ プロジェクトを管理する主要人物の資格と経験を含む説明。</li> <li>➤ 経営陣の詳細を記した事業計画書。</li> </ul>
	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 略歴書（プロジェクト責任者のもの、1パートナーにつき1ページ以内）を添付すること。</li> </ul>
	フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ コーディネーターおよびパートナーの科学マネジャー全員の履歴書（1パートナーにつき2ページ以内）を添付することが求められる。</li> </ul>
	EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 申請書とともに、オーストラリアとインド双方のプロジェクト・マネージャーおよびその他の主要担当者の履歴書（CV）を提出しなければならない。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 研究実施場所に関する制限

## 研究場所

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 具体的な記載なし。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 研究機関、知識普及機関、大企業、中小企業、ベンチャー企業の研究室およびチームであって、プロジェクトに関連する研究開発業務がフランス国内で実施されるものを対象とする。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 研究対象技術に関する制限

対象技術

米国

- 人間を対象とするプロポーザルには、被験者保護計画を含めなければならない。
- 脊椎動物を含むプロポーザルは、脊椎動物計画を含めなければならない。
- 提案書には、研究データの保存とアクセスに関する詳細なデータ管理・共有計画を含めなければならない。

英国

- ①責任あるAIを活用した組織と経済の実践、②AIの持つ問題（なプライバシー、偏見、アクセシビリティ、労働者の権利、AIの悪用等）に対処し、利益を最大化する、③国際的な文脈におけるAI法、ガバナンス、規制の明確化を推進し、国際商取引に確実性をもたらす方法を探る。

イタリア

- 動物／人間を含むプロジェクトには、倫理承認とEU規制の遵守が必要。

カナダ

- 明確な技術的制限はないが、アプリケーションに関する規定は存在：AIのプライバシーおよびデータセキュリティに関する規制を遵守、AIの商業化プロジェクトに関する技術質問書を提出。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | デューデリジエンスの実施について

## デューデリジエンス

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>Trusted Research and Innovation (TR&amp;I) は、UKRIの作業プログラムであり、パートナーシップを可能な限りオープンにし、必要なセキュリティを確保することで、活発で協力的な国際部門で働くすべての人々を保護することを目的としている。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>資金調達の承認前にデューデリジエンスが行われる。</li> <li>プロジェクトは、資金提供を受ける前に、倫理的、財政的、組織的なコンプライアンスを満たさなければならない。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>デューデリジエンスは、資金調達の承認前に実施され、セキュリティ・リスク評価を含む。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>本プログラムにおけるカナダ・フランス間のプロジェクトの評価は、ANRのみが実施する。主導機関モデルにより、フランスの科学コーディネーターがカナダ・フランスの研究チームを代表して一つの共同提案書をANR（主導機関）に提出し、ANRによる審査プロセスを経る。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトは、EUの政策的関心や優先事項（環境、社会、安全保障、産業・貿易政策など）を遵守しなければならない。</li> <li>プロジェクトは、EUの価値観および評判に関する欧州委員会の方針も尊重しなければならない（能力開発、政策支援、意識向上、コミュニケーション、普及などを含む活動など）。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>デューデリジエンスは申請時に発行機関によって行われる。</li> <li>申請書に関連する資金に見合う価値を有するかどうかを評価する際、発行機関は次を考慮する：申請者に関して実施するデューデリジエンス・プロセスにおいて、当社が特定した国益、財務、法的／規制、ガバナンス、その他の問題またはリスク。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 情報管理に関する要件

管理体制 (情報・財務・知財)

情報

米国

- クラウドコンピューティングリソースは、CloudBankを通じてパブリッククラウドプロバイダーに要求可能。
- NSFの研究データ共有方針への準拠を概説しなければならない。
- 提案書には、研究データの保存とアクセスに関する詳細なデータ管理・共有計画を含めなければならない。

英国

- 資金提供申請書の作成に生成AIツールを使用することは許可されているが、注意が必要。

イタリア

- 具体的な記載なし。

カナダ

- クラウドコンピューティングリソースは、CloudBankを通じてパブリッククラウドプロバイダーに要求可能。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- データ管理セクションは提案書の一部であり、研究者は研究開始前に、収集したデータをどのように整理・分類し、一般に公開するかを検討することが求められる。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 財務管理に関する要件

## 財務

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- RAI UKは、申請者に対し、フルタイムのプロジェクト・マネージャーを雇用するなど、プロジェクト管理やその他の事務的支援にコストをかけ、これらの業務をプロジェクト・リーダーに依存しないことを強く奨励する。
- RAI UKは、すべてのKeystoneプロジェクトが独立した諮問委員会を設置し、運営することを期待している。

イタリア

- イタリアの機関は、プロジェクト費用の払い戻しのための財務書類を提出しなければならない。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- ANRの公募に応募するパートナーへの資金配分の基準と手続については、ANRの財務規則に定義されている。
- 資金調達に関する規定は、「補助金授与に関する規定」に記載されている。

EU

- 採択された後、資金を配分するプロジェクトとして適切かどうかの審査が入る。
- プロジェクトにおいて資金の余りが出た場合、つまり収入 + EU補助金の余剰が経費を上回った場合は、最終的な補助金の金額から差し引かれる。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 知的財産の管理に関する要件

知財

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- プロジェクトはオープンソース、オープンデータ、オープンイノベーションのガイドラインを遵守することが求められる。

イタリア

- 研究成果は、相互の合意および知的財産権契約なしに公表または商業利用することはできない。

カナダ

- 知的財産 (IP) 戦略を申請書に盛り込む必要がある。
- 知財関連費用は資金提供の対象となる。

ドイツ

- 助成金受領者が研究プロジェクトの成果を科学雑誌に論文として発表する場合、一般の人々が電子的に無料でアクセスできるような方法 (オープンアクセス) で行われなければならない。

フランス

- プロジェクト提案書は、コンソーシアムの補完的な性質と、プロジェクト全体を通じてパートナー間の効果的な協力関係を明確に示すものでなければならず、次のものが該当する：共同して定義された目的、スキルとタスクの共有、リスク、結果、知的財産の共有 (該当する場合はコンソーシアム契約の枠組み内)。

EU

- 知的財産権 (IPR)、その背景と成果、アクセス権および使用权 (第16条および附属書5)：採択者は、知的財産権 (IPR) を含むあらゆるデータ、ノウハウ、情報を、互いに、また他の参加者に提供しなければならない。

オランダ

- 知的財産 (IP) に関しては、NWOのIPポリシーが適用される。プロジェクト参加者が複数の雇用主に雇用されている場合、当事者は、これらの個人の著作権および知的財産権がプロジェクト成果の公表を妨げないようにする必要がある。

オーストラリア

- 申請者は、知的財産 (IP) の取り決めに関する詳細を申請書に記載しなければならない。これには、プロジェクトにおける知的財産の使用と、プロジェクトによって発生する知的財産の所有権、およびオーストラリアの利益を保護するための戦略の両方が含まれる。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | プロジェクト実施中の体制変更について

## 体制変更

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 研究者は、研究チームに変更があった場合、資金提供機関に報告しなければならない。

カナダ

- 申請者は定期的に財務報告書と進捗報告書を提出しなければならない。資金調達、ガバナンス、またはマネジメントの変更は、PrairiesCanに報告する必要。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 発行機関は、申請者の組織や事業活動に重要な変更があった場合、特にそれがプロジェクトを完了し、事業を継続し、支払うべき債務を支払う能力に影響する場合は、その旨を通知しなければならない。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | プロジェクトに関する文書等の保管年数の規定

管理体制 (情報・財務・知財)	年数	米国	➤ 具体的な記載なし。
		英国	➤ 具体的な記載なし。
		イタリア	➤ 具体的な記載なし。
		カナダ	➤ 具体的な記載なし。
		ドイツ	➤ 具体的な記載なし。
		フランス	➤ 資金提供されたプロジェクトは、実施期間中および終了後2年間、ANRによる科学的モニタリングの対象となる。
		EU	➤ 具体的な記載なし。
		オランダ	➤ 具体的な記載なし。
		オーストラリア	➤ 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 人工知能 (AI) | 違反時の対応に関する規定

違反時	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロジェクトが合意された条件を満たさない場合、NSFは授与を打ち切り、資金を回収することができる。</li> </ul>
	英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資金提供の条件が満たされない場合、MURは資金を取り消すことができる。</li> </ul>
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資金援助が取り消されたり、減額されたりすることもある。返済が必要な場合、支払いが遅れると利息がかかる。</li> <li>▶ 報告や資金提供の条件に従わない場合、資金提供の資格を失う可能性がある。</li> <li>▶ 研究者が国家安全保障政策に従わない場合、資金提供が取り消される可能性がある。</li> </ul>
	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コンプライアンス違反（不適切な実施、義務違反など）があった場合、最終的な助成金額が減額されることがある。</li> </ul>
	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 連邦は、補助金契約に違反した場合、補助金資金を回収することができる。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | プロジェクト参加者に関する要件

参加制限事項・審査

参加者	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任研究員（PI）の配置が必要だが、研究チームの要件について特に言及はない。PIと研究チームは明確に定義されなければならない。</li> </ul>
	英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトを指揮し、UKRIとのコミュニケーションを調整するプロジェクト・リーダー（主任研究員）が必要である。</li> <li>国際的な研究機関に所属するプロジェクトリーダーは、この公募に応募することはできない。ただし、国際的な研究者が共同研究リーダー（国際）として応募することは可能である。</li> </ul>
	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>主任研究員（PI）の配置が必要。イタリア側PIは、イタリア国籍またはEU国籍を有し、イタリアに合法的に居住し、公的または私的（非営利）研究機関に所属していなければならない。</li> </ul>
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト・チームには、NRCから資金援助を受ける資格を有する組織の申請研究代表者がいなければならない。</li> <li>各共同研究組織から主任研究員が特定され、プロジェクトの成果物を達成するための役割が明確に定義される。</li> </ul>
	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各共同研究プロジェクトは、ドイツと英国のチームで構成されなければならない。それぞれの国のチームは、それぞれの助成機関に申請する資格を有する主任研究員1名が率いなければならない。</li> </ul>
	フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加機関・企業は欧州との繋がりがあることを証明する必要がある。</li> <li>完全版の提案書を提出する際は、経営難に陥っている会社は参加資格がない。</li> </ul>
	EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>各コンソーシアムは、科学的管理（管理、報告、知的財産権問題など）およびJCSとのすべての連絡を担当するコーディネーターによって構成されるべきである。</li> </ul>
	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロポーザルには、少なくとも主申請者1名と共同申請者1名が協力することが必要である。両者の専門性は明らかに補完的でないといけない。</li> </ul>
	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーストラリアとインド双方の主任研究員（PI）（プロジェクト・マネージャー）の配置が必要。</li> <li>評価基準には、プロジェクトを遂行するための能力、キャパシティ、リソースの評価が含まれ、これには適切なスキルと経験を持つ人材へのアクセスを確認することが含まれる。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | プロジェクト参加者の所属機関に関する要件

参加制限事項・審査

所属機関

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 申請できるのは、米国の高等教育機関（IHE）と非営利団体のみ。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 適格な研究機関に雇用されていること。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Horizon Europe規則で定められている条件と、特定の募集やテーマで規定されているその他の条件を満たしていれば、設立地に関係なく、非加盟の第三国や国際機関（国際的な欧州研究機関を含む）の法人を含む、いかなる法人にも参加資格がある。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ オーストラリアの応募資格は、企業、非営利団体、公的資金による研究機関（PFRO）、共同研究センター（CRC）、州・準州政府機関・団体であること。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## バイオテクノロジー | プロジェクト参加者の履歴書の提出の要否

## 履歴書

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- 申請者は、Résumé for Research and Innovation (R4RI) フォーマットを使用し、関連する幅広いスキルと、それが提案された研究の実現にどのように役立つかをアピールすること。

イタリア

- 各国の主任研究員（PI）の経歴の添付が必要。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- プロポーザルには、DFGガイドラインに従ったフォーマットで、応募者全員の履歴書の提出が必要。
- 履歴書には、個人情報、資格および経歴、補足的経歴情報、研究体制における活動、初期キャリア段階における研究者の監督、科学的業績、学術的功績、その他の情報、データ保護、任意データ処理への同意が含まれるものとする。

フランス

- 申請者は個人情報も提出する必要がある。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 応募者は、応募書類の一部として、オーストラリアとインド双方のプロジェクト・マネージャーおよびその他の主要担当者の履歴書（CV）を提出しなければならない。

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | 研究実施場所に関する制限

参加制限事項・審査

研究場所	米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究は、片方の国または両方の国（イタリアとイスラエル）で実施可能。これらの活動の計画は提案書に記載しなければならない。</li> </ul>
	カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究プロジェクトはドイツ国内で実施されなければならない。</li> </ul>
	フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張や人的交流も対象活動として含まれており、物理的な協力が期待できることを示している。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | 研究対象技術に関する制限

参加制限事項・審査

対象技術

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バイオセーフティおよびバイオセキュリティ規制を遵守しなければならない。</li> <li>➢ バイオセキュリティと輸出規制に関する米国の規制を遵守すること。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 軍事技術またはデュアルユース技術（民生および軍事への応用）を含む研究提案は受理されない。動物実験を伴うプロジェクトは倫理承認が必要。人間を対象とするプロジェクトは、指令536/2014/ECを遵守しなければならない。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 分野別に対象すべき研究領域は指定されているが、セキュリティ上の制限ではない。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | デューデリジエンスの実施について

参加制限事項・審査

デューデリ  
ジエンス

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ デュアルユース研究（民生用と軍事用の両方を含む）を含むプロジェクトは、緩和戦略を含まなければならない。</li> <li>➢ リスク軽減計画はプロジェクト提案書に盛り込まれ、資金援助の承認前に検討されるべきである。</li> <li>➢ 資金提供の承認前に、メリット・レビューとバイオセキュリティチェックを受ける。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ UKRIのTR&amp;I原則は、UKRIが資金を提供する組織に対して、国際協力のデューデリジエンスに関して期待することを定めたものである。従って、申請者はTR&amp;Iに準拠していること、そして潜在的なリスクにどのように対応するのかを明らかにすることを求められることがある。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 研究パートナーシップのための国家安全保障ガイドライン該当する場合、NSERCの資金提供決定は、研究パートナーシップのための国家安全保障ガイドラインに従って、カナダの国家安全保障に対する潜在的リスクを考慮する。</li> <li>➢ 研究提案は国家安全保障上のリスクに基づいて評価され、資金提供の条件として追加的な緩和措置が求められる場合がある。リスクが高く、十分に軽減できないと判断されたパートナーシップは、連邦政府の資金援助を受けられない。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 資金提供機関による適格性チェック（すなわち、提案された研究が参加機関の責任範囲および公募の範囲に適合するかどうか、提案された研究者および機関が各機関の資金提供適格性要件を満たしているかどうかをチェックする）。</li> <li>➢ 提案については、資金提供団体による正式なチェック、少なくとも2名の外部専門家による査読等が行われる。</li> <li>➢ 研究者は、特にデュアルユース研究（生物学、サイバーセキュリティ、AI研究など）において、自分の研究が悪用されるリスクを評価すべきである。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 著しい環境破壊を引き起こすプロジェクトは審査の対象外とされる（DNSH 規則の適用）。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ デューデリジエンスの結果、候補者がまだ投資対象として成熟していないと判断された場合は、一部の助成金と共に、限られた指標で再検討されることがある。</li> <li>➢ 機密情報および／または安全保障上重要な情報が含まれるプロジェクトは、資金供与を承認するための安全保障評価プロセスを経なければならない、特定の安全保障規則が適用される場合がある。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 最終承認前に、申請者および主要職員の財務、法務、ガバナンス、国家安全保障上のリスクを評価する。</li> <li>➢ 申請者は、輸出規制、外国からの干渉、技術移転に関するリスクを評価・管理し、機密性の高い研究データや知的財産の保護を確保しなければならない。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | 情報管理に関する要件

管理体制  
(情報・財務・知財)

情報

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 研究機関は、研究データの安全な取り扱いを確保し、望ましくない知識の移転を防止しなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 資金提供申請書の作成時に生成AIツールを使用できるが注意が必要。詳細は「応用と評価政策における生成AI」に記載。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 交換された情報はすべて秘密保持され、指定された用途にのみ使用され、それ以外の用途には事前の書面による同意が必要。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ プロジェクト内で収集されたデータのライフサイクルを記述した研究データ管理計画の存在を確認しなければならない。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ データ管理セクションは研究計画書の一部であり、研究者は、研究プロジェクトのデータ管理に関する質問に答えなければならない。従って、研究開始前に研究者は、収集したデータを自由に利用できるようにするために、どのように順序付け、分類しなければならないかを考えるよう求められる。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ガバナンス、セキュリティ、知的財産権に関する詳細な計画を含むこと。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | 財務管理に関する要件

管理体制  
(情報・財務・知財)

財務

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際的なプロジェクト共同代表者が国際機関で実施する作業の費用も申請できる。対象となる費用の100%が資金提供される。ただし、高所得国、インド、中国からの当該経費の合計が、申請した総資金の30%を超えてはならない。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間売上高、財務バランスシート、管理費についての詳細を求めており、財務監視が必要であることを示唆しているが、財務管理の専門部署を明確に要求しているわけではない。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算の執行レベル、資金提供された業務の進捗状況、スケジュールの遵守状況など、プロジェクトの実施状況を監視するため、少なくとも年に1回進捗確認会が開かれる。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | 知的財産の管理に関する要件

管理体制  
(情報・財務・知財)

知財

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ データ管理・共有計画に知的財産権への配慮や、一般への普及に関する制限も含めること。</li> <li>▶ データ管理・共有計画に従い扱われなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 研究によって開発されると考えられる知財については、各パートナーと議論の上、アクセスできる条件を定める必要がある。</li> <li>▶ また、成果物は「理事会および審査会の成果」において、UKRIから公表される。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 知的財産は、補助金の正式な受理前に、プロジェクト・パートナーが署名した協力協定によって規制されなければならない。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 研究プロジェクトに関与するすべての組織の知的財産権および義務を定義した研究協定を締結し、ベストプラクティスに従うことを推奨する。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ パートナースhipで実施される資金提供プログラムでは、プロジェクトにおける各パートナー機関の権利と義務を規定するコンソーシアム契約を（親契約：本プログラムの契約締結後、12か月以内に）締結する必要がある。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ すべてのEIC受益者は、EICプロジェクトによって生み出された知的財産を、関連性のない第三国の事業体に移転することが提案されている場合、その旨を当機関に通知することが、助成金契約に定められている。</li> <li>▶ 複数の参加者が共同で新たな知的財産権を生み出す作業を行った場合、参加者は、知的財産権の創出への貢献や知的財産権問題に関する欧州委員会のガイドラインを考慮し、知的財産権の所有権の割り当てについて参加者間（CA）で合意するものとする。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 知的財産（IP）に関しては、NWOのIPポリシーが適用される。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 知的財産権（IP）を申請書に明確に定義しなければならない。</li> <li>▶ 申請者は、知的財産の管理、商業化、衡平な分配について、パートナーとのプロトコルまたは契約を確立しなければならない。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | プロジェクト実施中の体制変更について

管理体制  
(情報・財務・知財)

体制変更

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナダ人研究チームに変更が生じた場合、および国際共同研究者がプロジェクトから離脱した場合、NSERCまたはSSHRCに通知しなければならない。この場合、申請者はNSERCまたはSSHRCと、プロジェクトの当初の目標を達成する能力への影響や、プロジェクトの修正または終了が必要かどうかについて話し合う必要がある。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金受領者は、主要人物の交代、所有権や組織の大幅な変更、潜在的な利益相反、セキュリティ上のリスクを直ちに報告しなければならない。</li> </ul>

3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

バイオテクノロジー | プロジェクトに関する文書等の保管年数の規定

管理体制  
(情報・財務・知財)

年数

米国

➤ 研究機関は、プロジェクト終了後少なくとも3年間はリスク軽減の記録を保存しなければならない。

英国

➤ 具体的な記載なし。

イタリア

➤ 具体的な記載なし。

カナダ

➤ 具体的な記載なし。

ドイツ

➤ 具体的な記載なし。

フランス

➤ 具体的な記載なし。

EU

➤ 具体的な記載なし。

オランダ

➤ 具体的な記載なし。

オーストラリア

➤ 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## バイオテクノロジー | 違反時の対応に関する規定

管理体制  
(情報・財務・知財)

違反時

米国

- 報告書を提出しなかった場合、将来の資金援助承認が遅れる可能性がある。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 具体的な記載なし。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- DFG行動規範の遵守は、DFG研究助成金の受給資格を得るための前提条件である。ガイドラインの実施に失敗した機関は、DFGの資金援助を受けることはできない。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 補助金違反は、連邦による資金回収または終結につながる可能性がある。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | プロジェクト参加者に関する要件

## 参加制限事項・審査

## 参加者

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主任研究員（PI）は米国を拠点とする高等教育機関（IHE）において、終身雇用、フルタイムの有給の研究職もしくは教職に就いていなければならない。</li> <li>▶ シニア／キーパーソンとして、参加全機関のPI、共同研究者（Co-PI）を含めること。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 応募者は、少なくともフルタイムで50%相当を費やすプロジェクト・リーダーを持つ必要がある。</li> <li>▶ 英国の応募者は、EPSRCの助成対象となる英国の研究機関に所属していること。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 国際共同プログラムにおいては、それぞれの国の研究者責任者（PI）が主導しなければならない。また、イタリア人PIは、イタリア国籍またはEU国籍を有し、合法的にイタリアに居住していなければならない。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ カナダチームを率いるカナダ人主任研究員（PI）が必要。また、機密性の高い技術分野で研究を行う場合、指名された役割（申請者、共同申請者、共同研究者）を持つ各研究者は、証明書を提出しなければならない。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本およびドイツの各チームは、主任研究者（PI）が率いる。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 共同提案において、各コンソーシアム・パートナーには、（科学的な）リーダーが指名する必要がある。このリーダーは、パートナーの目標を指導し、このパートナーとANRとの連絡窓口となる。リーダーは、プロジェクト全体の科学的活動を調整するために、プロジェクト・コーディネーターの役割も担わなければならない。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 共同提案において、コンソーシアムは、3つの異なるEU諸国から最低3人のパートナーで構成される。</li> <li>▶ 参加は、加盟国、アイスランド、ノルウェー、イスラエルに設立された法人に限定される。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主任研究者は、オーストラリア企業番号（ABN）を有し、物品サービス税（GST）の登録を受け、オーストラリアで法人化された事業体でなければならない。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | プロジェクト参加者の所属機関に関する要件

## 参加制限事項・審査

## 所属機関

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 提案書を提出できるのは、米国を拠点とする高等教育機関（IHE）のみ。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 公的／私的研究機関の基準を満たしていること。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 参加者は、国家安全保障ガイドラインを遵守し、安全保障上のリスクをもたらす組織に所属していないことを確認しなければならない。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ DFGからの資金提供は、「優れた研究実践を守るための行動規範」に規定されているガイドラインを、法的拘束力のある方法で自機関の規定に導入している機関にのみ授与される。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ プロポーザルの本申請に先立ち、関心表明書（EOI）を提出しなければならない。EOIは、主幹事機関の機会を得るための適格性を判断するために使用される。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 参加資格のある国の企業であっても、参加資格のない国に支配されている企業は、その関与がEUの戦略的資産、利益、自律性、安全保障を損なわないことを証明する保証をホスト国から提供されない限り、参加することはできない。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 申請資格がない： ナショナル・リドレス・スキームのウェブサイトに掲載されている「スキームに加入していない、または加入する意向を示していない機関」のリストに含まれている場合。職場男女平等法（2012年）を遵守していない従業員100人以上の雇用主。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | プロジェクト参加者の履歴書の提出の要否

## 履歴書

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要人員のリストもしくは略歴の提出が必要。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 申請者は、Résumé for Research and Innovation (R4RI)の書式を使用して、関連するスキルの範囲と、それらが提案された業務の遂行にどのように役立つかをアピールする必要がある。また、具体的な業績や過去の貢献など、この業務を遂行する能力を証明するものを記載することも可能である。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要研究者の履歴書の提出が必要。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主要人物の略歴と経歴の詳細が必要。ただし量子通信や量子センシングに焦点を当てたプログラムでは、すべてのカナダ人共同申請者に個人情報フォームの提出を求めるというケースも見られた。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロポーザルには、各申請者の学歴と最も重要な科学的成果のリストを添付すること。</li> <li>▶ 学歴には、当該申請者の最も重要な出版物または発表された業績のリストを記載すること。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ パートナーの科学責任者の履歴書（1パートナーにつき1ページ以内）を提案書に添付すること。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 助成金提案における各申請者の運営能力を判断するため、提案された研究活動および／またはイノベーション活動の実施を主に担当する人物の履歴書（CV）またはプロフィールが必要である。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 主導組織と各コンソーシアム組織の主要担当者ごとの履歴書（最大4ページ）。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 研究実施場所に関する制限

研究場所	米国	➤ 具体的な記載なし。
	英国	➤ 具体的な記載なし。
	イタリア	➤ 具体的な記載なし。
	カナダ	➤ 具体的な記載なし。
	ドイツ	➤ 具体的な記載なし。
	フランス	➤ 具体的な記載なし。
	EU	➤ 具体的な記載なし。
	オランダ	➤ 具体的な記載なし。
	オーストラリア	➤ 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 研究対象技術に関する制限

## 参加制限事項・審査

対象技術

米国

- 量子技術に関連する研究セキュリティの懸念を強調。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 具体的な記載なし。

カナダ

- プロジェクトに機密技術の研究が含まれる場合、研究者全員が証明書を提出し、所属を確認しなければならない。また、研究技術に民間組織が関与する場合は、リスク評価書が必要となる場合がある。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- EUの資産、利益、自律性、安全保障を守るためには、EU以外の技術への依存は避けなければならない。EUは、その優位性を強化する一方で、その目標を脅かしかねない弱点やリスクの高い依存関係を特定し、対処すべきである。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | デューデリジエンスの実施について

## 参加制限事項・審査

デューデリ  
ジエンス

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロポーザルは、資金提供の承認を受ける前に、メリットとコンプライアンスの審査を受ける。</li> <li>▶ インスティテュートは、その設立、運営、目標達成において遭遇する可能性のある主要なリスクを特定することが求められている。これらのリスクを軽減するためのコンティンジェンシープランを策定し、課題に効果的に対処できるようにしなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ UKRIの助成金申請者は、提案するプロジェクトが、UKRIのTR&amp;I（Trusted Research &amp; Innovation）に対するアプローチと期待にどのように準拠し、潜在的なリスクと、それに比例してリスクを軽減するために実施する管理体制や方法を明らかにするよう求められる場合がある。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロジェクトの選定プロセスには、国の省庁（MAECIとMOST）と合同小委員会による評価が含まれ、国の戦略的目標と安全保障上の配慮を満たすプロジェクトのみが承認されるようになっている。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資金提供の承認前に実施し、研究セキュリティ方針が遵守されていることの確認が行われる。また、組織の方針や国家安全保障上の利益との整合性を確保するために、パートナーに対するデューデリジエンスを実施しなければならない。</li> <li>▶ プロジェクトに機密技術の研究が含まれる場合、研究者全員が証明書を提出し、所属を確認しなければならない。また、研究技術に民間組織が関与する場合は、リスク評価書が必要となる場合がある。</li> <li>▶ リスク評価書は、国家安全保障機関による評価のために、緩和策とともに提出されなければならない。軽減できない高リスク要因があるプロジェクトは、資金提供を拒否される可能性がある。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ANRは、防衛・国家安全保障事務総局の勧告に従い、技術的潜在能力保護システム（PPST）対策を実施するよう、受益者に強く求める。また、ANRにプロジェクトを提出する前に（すべての募集と手段が対象）、申請者は、そのプロジェクトの適格性を確認するため、所属の安全保障・防衛担当官、または所属施設内でPPSTの適用を担当するサービスに連絡するよう求められる。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ EUの付加価値への貢献、欧州の経済安全保障との整合性を明確に証明できる組織からのユーザーのみにアクセスを認める。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 本補助金の対象となる活動には、外国に関係のあるパートナーや職員が関与する可能性がある。提案されている活動に影響を与えたり、その活動から利益を得たりする可能性のある、プロジェクト参加者と外国の関係者との間のそのような関係は、すべて報告されるべきである。このような関係には、外国の所有権やスポンサーシップ、外国政府、軍隊、政党、その他の組織とのつながり、外国のタレント・プログラムの会員などが含まれる。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 情報管理に関する要件

管理体制  
(情報・財務・知財)

## 情報

米国

- 各研究機関は、職員の役割と責任を明確にした指導・管理体制を持たなければならない。
- データ管理・共有計画では、知的財産および専有情報の管理方法について詳述しなければならない。

英国

- 提案書には、収集したデータの管理および共有方法の詳細を記載しなければならない。

イタリア

- プロジェクト開始前に、データ・セキュリティおよび知的財産保護に関する契約の概要を説明する必要がある。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- Horizon2020の活動から得られたすべての科学出版物には、オープンアクセスが認められなければならない。関連する場合、プロポーザルは、参加者がプロジェクト中に生成および／または収集した研究データをどのように管理するかについての情報も提供する必要がある。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- オーストラリアの輸出管理制度は、国防・戦略物資リスト（DSGL）に記載されている物品や技術の海外移転を制限している。
- パートナー組織が機密データを含むデータをどのように管理、保護、共有しているかを把握する。パートナー組織の情報管理は必要な基準を満たしている必要がある。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 財務管理に関する要件

管理体制  
(情報・財務・知財)

## 財務

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 財務に大きな変更があった場合は、必ず報告しなければならない。
- EUの財務追跡要件に従わなければならない。また、支払いはコンプライアンス検証の対象となる。
- 財務監査と検証が、最終的な支払いの前に行われる。

カナダ

- 具体的な記載なし。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 申請書では、直近の会計年度の数字の詳細が要求され、ANZSICコードでは財務監督の必要性が示唆されているが、財務管理の専門部署を明確に要求しているわけではない。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 知的財産の管理に関する要件

知財

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ データ管理・共有計画では、知的財産および専有情報の管理方法について詳述しなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ セキュア・イノベーション・キャンペーンは、アーリーステージのテクノロジー企業が知的財産、情報、データを保護するためのガイダンスを提供する。プロジェクトによっては、当該イニシアティブに則る必要がある。</li> <li>▶ EPSRCは独自の研究機関を持たないため、EPSRCが支援する研究や研修から生じる知的資産の管理責任は、助成を受けた組織に委譲される。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロジェクト開始前に知的財産権に関する協力協定を締結する必要がある。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 研究者は知的財産権を保持するが、オープンアクセスおよび知識共有ポリシーの遵守を保証しなければならない。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出版社または出版が承認された原稿は、資金提供の決定または契約の特定の条件に示された条件に従い、著者によりCC-BYライセンスのもと、権利非移転戦略（SNCD）を実施してHALオープンアーカイブに寄託される。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ プロジェクト期間中および終了後の知的財産および成果は、助成金受領者が所有する。これらは、資格のない国や団体が管理、制限、アクセスすることはできない。また、受領者が拠点を置く国の承認なしに、適格国以外に輸出したり、共有したりすることもできない。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Quantum Delta NL が追求する知的財産（IP）方針について、自ら認識する必要がある。受領者は、提案の範囲に適用される限りにおいて、当該知的財産方針を採用することが期待される。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 申請者は、各プロジェクト・パートナーの支援書簡に知的財産（IP）の取り決めの詳細を記載しなければならない。</li> </ul>

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | プロジェクト実施中の体制変更について

## 体制変更

米国

- 具体的な記載なし。

英国

- 具体的な記載なし。

イタリア

- 財務または研究体制に大きな変更があった場合は、必ずプログラム管理機関に報告しなければならない。

カナダ

- 研究チームに変更があった場合は、NSERCに報告しなければならず、資金提供条件が調整される可能性がある。

ドイツ

- 具体的な記載なし。

フランス

- 具体的な記載なし。

EU

- 具体的な記載なし。

オランダ

- 具体的な記載なし。

オーストラリア

- 組織や事業活動に重要な変更があった場合、特にそれがプロジェクトを完了する能力に影響する場合は、その旨を通知しなければならない。氏名、住所、指名された連絡先、銀行口座の詳細、プロジェクト・パートナー、および関連する取り決めに変更があった場合は、必ず報告しなければならない。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | プロジェクトに関する文書等の保管年数の規定

管理体制  
(情報・財務・知財)

年数

米国

➤ 具体的な記載なし。

英国

➤ 具体的な記載なし。

イタリア

➤ 書類はプロジェクト完了後5年間保存しなければならない。

カナダ

➤ 具体的な記載なし。

ドイツ

➤ 具体的な記載なし。

フランス

➤ 具体的な記載なし。

EU

➤ 具体的な記載なし。

オランダ

➤ 具体的な記載なし。

オーストラリア

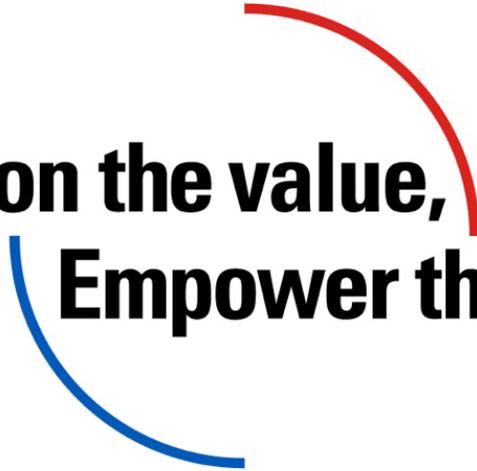
➤ 具体的な記載なし。

## 3. 各国公募要領の整理・比較 | 2)比較結果

## 量子関連技術 | 違反時の対応に関する規定

## 違反時

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 報告書の提出がない場合、将来の資金援助承認が遅れる可能性がある。</li> <li>➢ 受領者は、NSFの規則（45 CFR Part 689）に従い、調査が必要な実質的な研究不正の申し立てがあった場合、NSFに通知しなければならない。</li> </ul>
英国	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
イタリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 不正（マフィア防止法違反など）が発覚した場合の資金提供の取り消し。</li> <li>➢ 不履行の場合、資金は利子とともに回収されることがある。</li> <li>➢ 参加団体は定期的に科学的および財政的な報告書を提出しなければならず、これに従わない場合は資金提供が打ち切られることもある。</li> </ul>
カナダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ NSERCは、プロジェクトが規則に従わない場合、資金提供を終了、一時停止、または条件を変更する権利を有する。</li> </ul>
ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事案によっては、1つまたは複数の知的財産権の侵害、またはANRが定める職業上の行為もしくは倫理の規則違反に対して、財務規則第7条第1項が適用される場合がある。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オランダ	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 具体的な記載なし。</li> </ul>



**Envision the value,  
Empower the change**